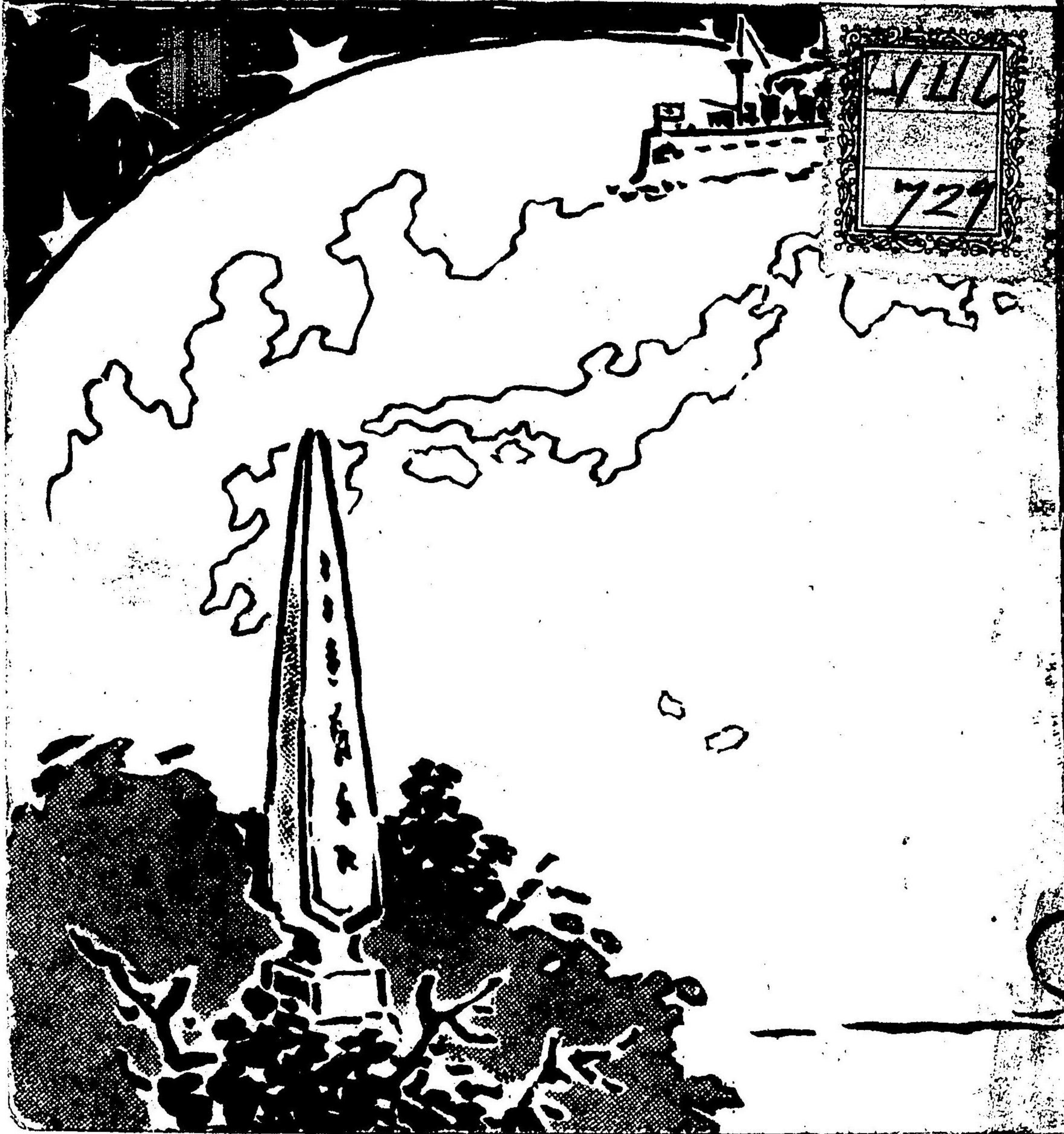


日本地理問答



3 1 0 2 1 9 0 0 0 0

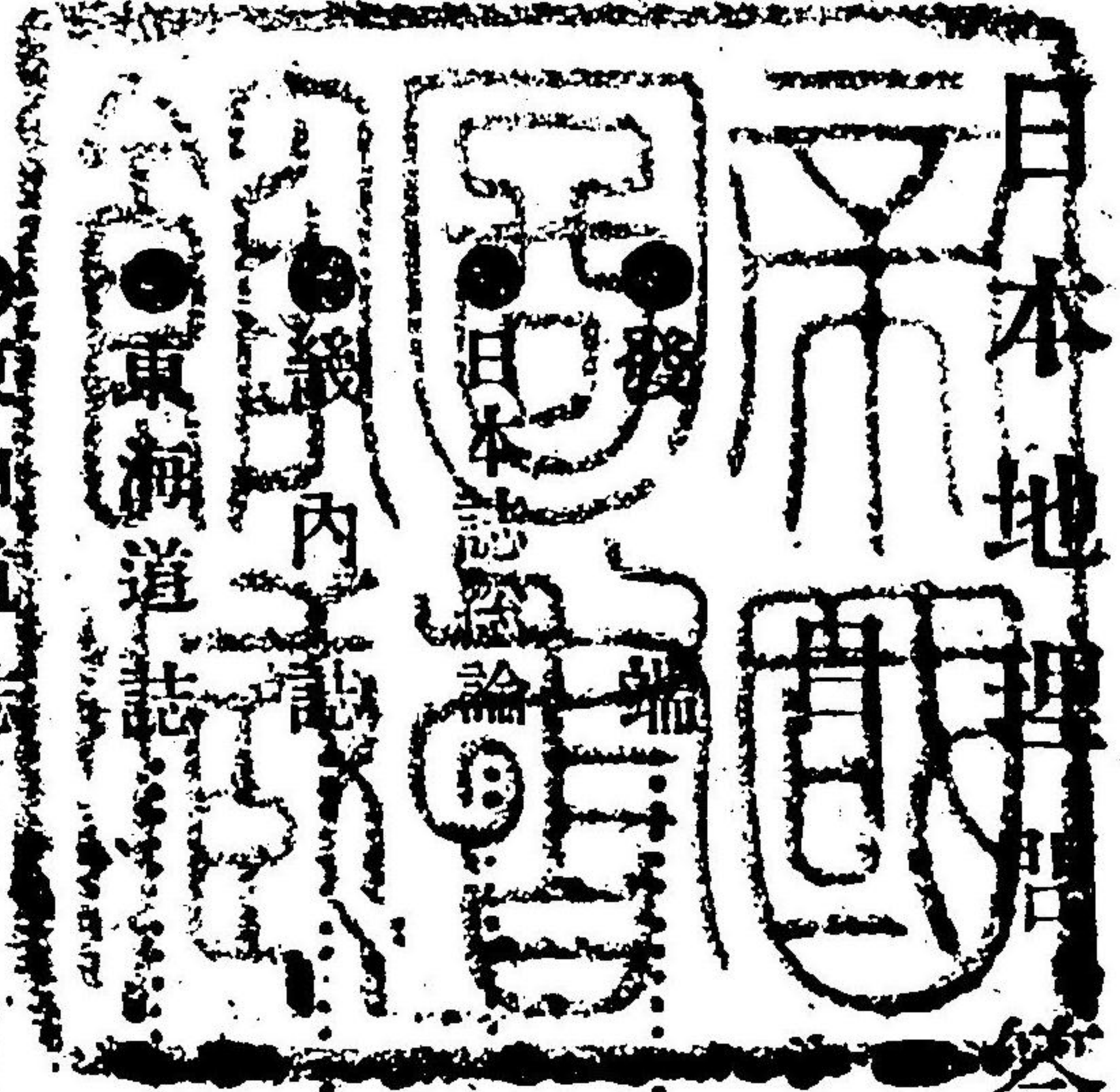
特64-475

日本地理問答

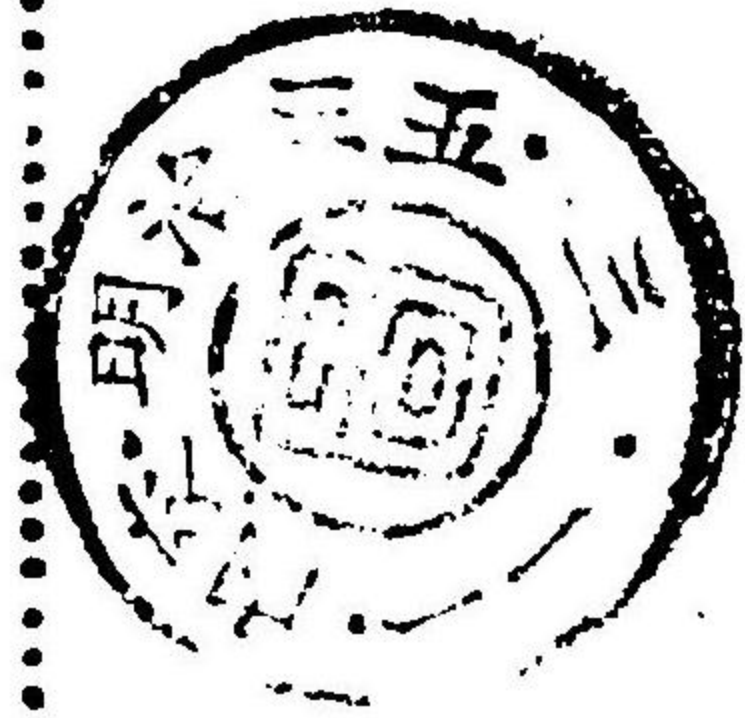
修文館 編

M34.11

特64
475



次



● 日本地理	一
● 日本誌論	九
● 畿内誌	十三
● 東海道誌	三十三
● 東山道誌	七十二
● 北陸道誌	百一
● 北海道誌	百二十六
● 山陰道誌	百四十七
● 山陽道誌	百六十一

- 南海道誌……………百七十七
- 西海道誌……………百九十
- 台灣誌……………二百十六
- 地文地理……………二百廿二
- 人文地理……………二百卅四

日本地理問答目次終

日本地理問答

修文館編纂



- (一) 地球ハ如何ナル形ナリヤ
吾人ノ棲息スル大地ハ、見、平面ノ如クナレドモ、實ハ球形ナリ、
- (二) 地球ノ球形ナル證ヲ擧ケヨ、
今、人アリ、海岸ニ立テテ出帆ノ船ヲ望ムトセヨ、然ルトキハ船ハ漸ク遠
サカレバ、船体ハ海面ニ隠レ、只、櫓ノミヲ顯ハサン、而シテコノ人更ニ
一層ノ高處ニ登リテ望ム時ハ更ニ船体ヲ見ルコトヲ得ベシ
又人アリ、横濱ヲ出帆シ西ヘ西ヘト航スルトキハ遂ニ、又元ノ横濱ニ歸ル
ベシ、コレ大地ノ球形ナル證ニシテ、地球ノ名アル所以ナリ、
- (三) 初メテ大地ノ球形ナルヲ説キシハ誰ゾ、
西曆紀元前二〇〇年ノ頃、埃及アレキサンドリヤノ書籍館長エラトスセニ
リス、月蝕ヲ觀察シテ地球ノ圓体ヲ説キ、西曆第十五世紀ノ末コロシブス

○日本地理問答

亦之ヲ唱へ、後マゼランノ艦隊、世界ヲ一周シテ初メテ世人ニ其ノ然ルヲ
信セラルルニ至レリ、

(四) 地球表面ノ成立ハ如何、

地球ノ表面ハ水陸ノ二部ヨリ成リ、陸ハ水ノ四分ノ一ニシテ水ハ其四分ノ
三ヲ占ム、サテ水ノ多キハ南半球ニシテ陸ノ多キハ北半球ナリ、

(五) 陸トハ何ソヤ、且ツ陸ノ區別ヲ問フ、

地球表面ノ乾燥部ヲ陸トイフ、而シテ大ナルヲ大陸ト云ヒ、小ナルヲ島ト
イフ、半島、岬、及地峽トハ形狀ニヨリテ區別シタル名ニシテ、平原、山
及ビ谷トハ地勢ニヨリテ別テ名ナリ、

(六) 島トハ何ソヤ、且ツ島ノ種類ヲ問フ、

島トハ陸ノ小ナルモノニシテ四面、海ニヨリテ圍マレタルモノヲ云フ、島
ニ二種アリ、陸島トイフハ、大陸ノ近傍ニアルモノ、海島ト云フハ絶海中
ニアルモノナリ、又島彙トハ許多ノ島嶼ノ一群ヲ云フ、

(七) 半島及岬ヲ説明セヨ、

三面ハ海ニ沿ヒ只一面ノミ陸地ニ接スル陸ヲ半島トイフ、又岬トハ陸地ノ

一端ガ海中ニ突出シタル名ナリ山嘴、海角トハ其ノ特ニ隆起セルヲイフナ
リ、

(八) 海岸トハ如何、

陸ガ海ト相接スル所ヲ稱シテ海岸トイフ、而シテ其ノ高潮線トイフハ最滿
ノ潮水ガ海岸ト接シタル線、最低線トイフハ、最干ノ潮水ガ海岸ト接シタ
ル線ナリ、

(九) 地峽トハ如何、

陸地ト半島トヲ連絡スル地ノ狭小ナルトキハ之ヲ地峽トイフ、

(一〇) 平原トハ何ソヤ、

陸地ノ海面ヲ抜クコト高カラザル廣濶ナル地ヲ平原ト云フ、高原又ハ高臺
トイフハ、高ク海面ヲ抜キタル平原ニシテ低原トハ地勢ノ低キモノヲイフ
ナリ、

(一一) 山トハ何ソヤ、

高ク海面ヲ抜ク陸地ヲ山ト云フ、丘陵トハ其小ナルモノ、名ニシテ山彙ト
ハ其ノ群立スルノ謂ヒ、山脈トハ其連脈セルノ謂ヒ、山系トハ其相連リタ

ル數條ノ山脈ガ同一ノ方向ニ亘ルノ謂ヒナリ、

(一二) 火山トハ何ゾヤ、

山ノ一種、蒸氣、灰、溶石等ヲ噴出スルアリ、之ヲ火山トイフ、火山ニ活火山、息火山ノ二種アリ、而シテ火山ハ其ノ頂上、圓錐狀ヲナスヲ普通トス

(一三) 五大洲トハ如何、

地球上ノ國々ヲ大別シタル名ニシテ亞細亞(アシア)洲、歐羅巴(ヨーロッパ)洲、アフリカ洲、亞米利加(アメリカ)洲、大洋洲コレナリ

(一四) 五大洋トハ如何、

地球ノ北ノハテナル北極ノ近傍ナル北氷洋、南極ノ近傍ナル、南氷洋、太平洋、大西洋、及ヒ印度洋ノ五ヲ云フ

(一五) 赤道トハ如何

南北ノ兩極ヨリ等分ノ距離、ニオイテ地球面ノ周圍ニ想像上ノ一線ヲヒキ之ヲ名ケテ赤道又等分線ト云フ、

(一六) 地球ノ大キサヲ問フ、

地球ノ周圍ハ即チ赤道ニシテ其ノ長サ、一万〇二百里許リ、直径三千二百里餘ナリ、南北兩極ノ直径ハ、赤道ヨリ短キコト三分ノ一ナレバ地球ハ稍々扁圓形ナリト云フト雖、其ノ短キコトヲ譬フレハ直径二尺ノ球ニ一分ノ差アル割合ナレハ之ヲ球形ト云フモ可ナルベシ、

(一七) 南、北半球トハ如何、

赤道ヨリ北ヲ北半球トイヒ、南ヲ南半球ト云フ、

(一八) 晝夜ヲ生スル理如何、

走ル瀛車ニ乗リタル人ハ車ノ走ルヲ悟ラズシテ、只樹木等ノ我レニ向ツテ走ルガ如キヲ覺へ、又地球ハ静止シテ太陽ハ東ヨリ西へ廻ルガ如ク見ユ、然レドモ樹木ハ我レニ向ツテ走ルニアラザルナリ、太陽ハ廻轉スルニアラザルナリ、却テ地球ハ南北兩極ヲ軸トシテ東ヨリ西へ、一日一回ノ廻轉ヲナス、之ヲ地球ノ自動又ハ日動トイフ、而シテ地球ノ太陽ニ向ヒタル方ハ晝ニシテ、之ニ反シタル方ハ夜ナリ、

(一九) 四季ヲ生スル理如何、

地球ハ地軸ニヨリテ、自轉シツ、又一年一回ツ、太陽ノ周圍ヲ廻ルナリ之

○日本地理問答

ヲ公轉又ハ年動ト云ヒ、其ノ經過スル通路ヲ軌道ト云フ、軌道ハ楕圓形ナリ地軸ハ之ト交角ヲナシヌレハ北極ガ軌道ノ内方ニ傾斜スルハ北半球ハ地面へ直射スル太陽ノ光線ヲ受ケテ温カナリ、コレ北半球ノ夏ナリ、之ト同時ニ南半球ハ光線ヲ斜ニ受ケテ寒冷ナリ、コレ南半球ノ冬ナリ、而シテ南北ノ兩極ガ、太陽ニ對シテ不偏ノ位置ニアリテ日光ガ赤道ニ直射スルハ北半球ノ春ニシテ南半球ノ秋ナリ、サテ太陽ト地球トノ距離ハ、平均三千七百萬里ナリトツ、

(二一〇) 經度トハ如何

某地ハ某地ノ北、幾何ノ處ニアルカ、某地ハ某地ノ南、幾何ノ處ニアルカ等ヲ精密ニ定メンカタメ地理學上、地球ノ表面ニ假リニ赤道線ヲ引キ、之ヲ三百六十等分シ、其等分点ヨリ南北ノ兩極ニ向ツテ縱線ヲ畫シ、之ヲ經線ト云ヒ、線ト線トノ間ヲ經度一度トイフ、

(二一一) 經度ノ廣サヲ問フ

經度ノ廣サ即經線ノ距離ハ赤道ニオイテ最モ廣ク、兩極ニ近ツクニ隨ヒテ漸ク狭ク極ニ至リテ盡ク、而シテ赤道ニオイテ一度ノ廣サハ大凡一万二百

里(赤道ノ長サ)ノ三百六十分ノ一ニシテ我二十八里餘ニ當ル、

(二一二) 子午線トハ如何、

某地ノ子午線トハ同經度ノ地方ヲ通シタル線ノコトニテコノ線上ノ地ハ正午ノ一時ニ來ルヲ以テ此ノ名アリ

(二一三) 經度ノ起点ヲ問フ、

經線ノ基本トスベキモノハ天然ニ存セズ、ソハ何レノ經線モ皆同様ナレハナリ、故ニ嘗テ米國ワシントン府ニ開カレタル万国子午線會議ニオイテ英國グリニツヤ天文臺ノ子午儀ノ中心ヲ經過スル子午線ヲ以テ經度ノ本初子午線ト定メタリ、カクテ、零度ヨリ東經幾度ト東方ニ數ヘテ百八十度西經幾度ト西方ニ數ヘテ百八十度ニ至ル、

(二一四) 緯度トハ如何、

赤道ヨリ兩極マデ各々九十等分シ、其ノ各々ノ等分点ヨリ赤道ニ並行線ヲ引キタルモノ之ヲ緯線ト云ヒ、緯線ト緯線トノ間ヲ緯度一度ト云フ、

(二一五) 緯度ノ廣サヲ問フ、

緯度ノ廣サハ何處ニテモ貳拾八里餘アリ凡テ經度ニテモ緯度ニテモ一度ヲ

小分シテ六十分トシ、一分ヲ小分シテ六十秒トスルナレバ緯度ノ一分ハ常ニ十七町許リニ當ルベシ、オハユル一海里(一ノット)ハ緯度ノ一分ヲイフナリ

(二六) 緯度ノ起点ヲ問フ

緯度ノ起点ハ赤道ナリ、赤道ヲ零度トシテ北緯幾度ト北方ニ數ヘ南緯幾度ト南方ニ數ヘ各九十度ニ至ル

(二七) 五帶トハ如何、

赤道ヨリ南北各々二十三度半ニ至ルマデノ中間ヲ熱帶ト云ヒ、兩極ヨリ又各々二十三度半ニ至ルマテヲ北寒帶、南寒帶ト云ヒ、熱帶ト寒帶トノ中間ヲ北溫帶、南溫帶ト云フ、

(二八) 東半球、西半球及東洋、西洋トハ如何、

アメリカ洲ノアル半球ヲ西半球ト云ヒ、ヨーロッパ、アジア、アフリカ洲ノアル半球ヲ東半球ト云フハヨーロッパ人ガ西方アメリカヲ發見セシヨリ常ニアメリカヲ西ト稱ヘタレハナリ又東洋トハアジア諸國ノ總稱ニシテ西洋トハヨーロッパ、アメリカノ總稱ナリ

日本誌

(二九) 日本ノ位置ヲ問フ

我が大日本帝國ハ、地球ノ東半球ナルアジア洲ノ東部、太平洋ノ北西隅ニアリテ大小許多ノ島々ヨリ成リ、大ナルモノニ、本州、北海道、四國、九州、臺灣ノ五ツアリ其ノ他、數多ノ島々、東北ヨリ西南ニ亘ル、

(三〇) 日本ノ境界ヲ問フ、

我が帝國ハ東南ハ太平洋ヲ隔テ、米國ニ隣リシ、西北ハ海ヲ隔テ、アジア大陸ニ面ス、詳言セバ、北海道ハオコック海ヲ隔テ、魯領シベリヤニ對シ本州ト九州トハ日本海ヲ隔テ、シベリヤ、韓國ニ對シ、其レヨリ以南ノ諸島ハ支那海ヲ隔テ、支那ニ對スルナリ、而シテ臺灣ノ西南ニハ南洋諸島アリ、

(三一) 日本ノ經緯度ヲ問フ、

帝國ノ極南ハ臺灣南岬ノ南約九哩四ニ當ルヘルレート列岩南端二十一度四十五分、

極北ハ千島ノ阿頼度島ノ北端、北緯五十度五十六分、
極西ハ澎湖列島中ノ花嶼ノ西端、東徑百十九度二十分、
極東ハ千島、占守島ノ東端百五十六度三十二分、

(三三一) 日本ノ標準時ヲ問フ、
東經百三十五度ノ子午線ノ時ヲ以テ中央標準時トシ東經百二十度ノ子午線ノ時ヲ以テ臺灣及澎湖島並八重山及宮古列島ノ標準時ト定メ之ヲ西部標準時トス、

(三三二) 帝國ノ廣袤ヲ問フ、
帝國ノ幅ノ狹キ處ハ三十里、廣キ處ハ百二十里餘アリ、而シテ其ノ延長ハ約一千二百餘里ニ亘ル、

(三四) 帝國ノ周圍及ヒ面積ヲ問フ、
帝國ノ周圍ハ七千四百六十七里ニシテ面積ハ二万七千〇六十二方里アリ、

土地	周圍	面積
本州	二四七五、四六	一、四五七、 ^{方里} 二一
北海道本地	六二八、五一	五〇六一、九〇

九州	一八四六、八六	二六一七、五四
臺灣	三五二、三一	二二五九、九〇
四國	六七五、八一	一一八〇、六七
千島	六一三、二一	一〇三三、四六
琉球	三一五、〇六	一五六、九一
佐渡	五三、三〇	五六、三三
對馬	二〇六、二二	四四、七二
淡路	四〇、八八	三六、六九
隱岐	七五、九七	二一、八九
壹岐	三七、二五	八、六三
澎湖島	七四、七五	八、二〇
小笠原島	七一、五八	四、五〇
總計	七四六七、一七	二、七〇六二、四六

(三五) 帝國ノ屬島數ヲ問フ、
帝國ノ屬島ハ四百八十七個アリ、

(三六) 區劃ノ基礎ハ如何、
本州ヲ初メ多クノ島々ニハ脊梁ノ如ク縱ノ方向ニ連亘スル山岳アリコノ山
○日本地理問答

脈ハ左右ニ枝脈ヲ出シ、其ノ枝脈ト枝脈トノ間ハ溪谷アリテ水ハ大抵之ヨリ流レ下リテ海ニ入ル、故ニコノ山脈、コノ河川ハ天然ノ區劃タリ、

(三七) 帝國ノ國數ハ幾干アリヤ、

琉球及臺灣ヲ除キ、天然ノ地勢ニ基キテ區劃セル國數ハ八十四國アリ、

(三八) 畿内八道トハ如何

昔、山城、又ハ大和ヲ帝都トセラレシ時、之ヲ中心トシテ諸道ノ名ヲ定メラレ今モ尙、其區劃ヲ用ヒラル、サテ、畿内トハ帝都ノ近國トイフコトニテ、山城以下五ヶ國アルヲ以テ又五畿トモイフ、東海道ハ十五ヶ國アリテ畿内ノ東方海岸ニアリ、北陸道ハ日本海岸ノ六國及ヒ日本海中ノ佐渡ヲイヒ、東山道トハ東海、北陸兩道ニ挾マレタル地ニシテ本州ノ北端ニ至ルマデライフ、而シテ東山道ノ内、東海、北陸兩道ニ挾マレタル部分ヲ中山道(ナカセンドー)ト呼ビ其以北ヲ奥羽ト呼ブ、北海道ハ本州ノ北ニアリ、東海、東山、北陸ヲ合セテ之ヲ東北三道ト云ヒ、之ニ北海道ヲ合セテ東北諸國トイフ、山陰道ト山陽道トハ畿内ノ西ニアリテ本州ノ端ニ至リ、一ハ日本海ニ面シ一ハ之ニ反セリ、中國トハ之ヲ合セタル名ナリ、南海道ハ畿内

ノ南ナル紀伊ト淡路ト四國トイヒ、西海道トハ九州及ビ壹岐對馬琉球ヲ云ヒ、南海、西海ヲ總テ西南諸國トイフ、以上ノ外ニ臺灣諸島アリ、

(三九) 國ノ小分ヲ問フ、

國ノ小別ヲ郡トイヒ、郡ノ小別ヲ町村トイフ、市トハ郡ニ屬セザル大市街ノ名ナリ、郡市町村ノ區劃ハ天然ノ地形ニヨルトイハドモ便宜上、溝渠或ハ量尺ヲ以テ定ムルモノ亦多シ、

(四〇) 府縣ノ境界ハ如何、

臺灣ノ三縣ヲ除キ、全國ヲ管轄スルニ三府ト四十三縣トヲ以テス、而レドモ一府縣ハ必ズシモ一國界ト一致セズ、或ハ二國以上ヲ管スルアリ或ハ一國ニシテ二分三分セラル、コトアリ、一國ニ足ラザル場合ハ郡界ヲ以テ區劃ヲ定ム

畿内

山城誌

(四一) 山城ノ境域ヲ問フ、

○日本地理問答

南方、大和ニ接シ東南、伊賀ニ界シ、西南、河内攝津ニ交ハリ西ヨリ北ニ至リテ丹波ニ隣リ東方一帯ハ總テ近江ニ界ス、

(四二) 山城ノ地貌ヲ問フ、

東ニ入りテ西ニ張レル櫛ノ形ノ如シ

(四三) 山城ノ地勢ヲ問フ、

山城ハ山河襟帶、自然ニ城ヲナス、コレコノ國名ノアル所以ニシテ水ハ皆中央ノ平地ニ集マリ、淀川トナル、

(四四) 山城ノ郡名ヲ擧ゲヨ

葛野(カドノ)愛宕(オタギ)乙訓(オトクニ)紀伊(キイ)宇治、久世、綴喜(ツヅキ)相樂(サガラ)

(四五) 京都ハ如何ナル處ゾ、

京都ハ山城ノ中央ノ稍々北ニアリ、桓武天皇、都ヲ茲ニ定メ給ヒシヨリ以來、一千七十余年、皇居ノアリシ地ニシテ、足利氏モ二百余年茲ニ幕府ヲ開キシカバ禁裡ヲ初メ、名所舊蹟、神社佛閣イト多ク、京都府廳、京都帝國大學等茲ニアリ、市街ハ正シク縱横ニ通シ、東西一里南北一里半、之ヲ

上下二京ニ分ツ人口三十万餘アリ、市民ハ概シテ工藝ニ長ク、勤儉ノ徳アリ、冬ハ山風烈シク夏ハ海風ノ涼味ヲ覺ユルコトナシ、

(四六) 西陣トハ如何ナル處ゾ、

西陣ハ京都ノ名産ナル綿、緞子等謂ハユル西陣織ヲ出ス所ナリ、

(四七) 古ノ六波羅ハ今ノ處ナリヤ、

京都市下京區ニシテ南府ハ今ノ三十三間堂方廣寺ノ域内、北府ハ今ノ六波羅密寺ノ域内ニ當ル、

(四八) 東山トハ如何、

東山トハ近江ノ界ナル比叡山ノ山脈ニシテ其腰ニ足利氏ノ別莊ナリシ銀閣寺、又ハ祇園社、清水(キヨミヅ)ノ觀音等アリ、山頂ニハ田村麻呂ノ將軍塚アリ、

(四九) 京都ニ陶器ノ出ツルニ故アリヤ、

花崗石ガ風雨ノタメニ碎クル時ハ陶器製造ニ適スル粘土及ビ清キ砂ヲナスモノナルガ比叡山脈ハ恰モ花崗石ヨリ成リヌレハ東山ノ近傍ヨリ清水燒、粟田燒ノ出ツルモ宜ナリ、又京都ノ砂ノ清クシテ白キモ之カ爲ナリ、

(五〇) 北山ノ名所ヲ舉ゲヨ、

金閣寺ハ足利氏ノ別荘ナリキ、鞍馬(クラマ)山ハ牛若丸ノ成長セシ所ナリキ、而シテ鞍馬山ヨリ發スル川ハ鴨川ニシテ市ノ東邊ヲ貫流ス、

(五一) 西山ヲ説明セヨ、

西山ハ丹波ト界ヲ接スルモノニシテ其嵐山ハ櫻花ヲ以テ、高雄山ハ紅葉ヲ以テ名アリ、

(五二) 大堰(オホキ)川ヲ説明セヨ、

大堰川ハ丹波ヨリ來リ嵐山ノ麓ヲ流レ桂ニ至リテ桂川ト稱シ鳥羽ニ至リテ鴨川ニ會ス、慶長年間、角倉了意ノ開鑿セシ所ナリ、

(五三) 四條河原ノ夕涼トハ如何、

鴨川ハ其ノ水清潔ニシテ而カモ水量少ナク、河床ノ大部分ハ草原若シクハ砂礫ナレバ夏ノ夜、爰ニ床几ヲ並メテ納涼スル士女多シ世ニ之ヲ四條河原ノ夕涼ト云フ、

(五四) 疏水工事トハ如何、

鴨川ノ水、其ノ量少ナキヲ以テ、東山ニ「トンネル」ヲ穿テテ近江琵琶湖ノ

水ヲヒキテ其ノ量ヲ増シ、運漕、灌溉ノ用ニ供シ又以テ發電ノ用ニ供セリ

(五五) 宇治川ヲ説明セヨ、

宇治川ハ近江ノ琵琶湖ヨリ發源シ、宇治、伏見ヲ過ギ、淀ニ至リテ桂川ニ會ス之ヨリ下ニ淀川ノ稱アリ、

(五六) 木津川ヲ説明セヨ、

木津川ハ大和伊賀ノ際ヨリ來リ、笠置山ノ北麓ヲ過ギ或ハ西シ或ハ北シ、木津ヲ經テ八幡ニ至リ淀川ニ會シテ攝津ニ入ル、

(五七) 山城ノ名邑ヲ舉ゲヨ、

鳥羽(トバ)ハ戊辰ノ役ノ戰地ナリ、伏見(フシミ)モ戊辰ノ役ノ戰地ニシテ昔豊臣太閤ノ城キシ桃山ハココニアリ、稻荷山ノ稻荷神社世ニ名高シ、笠置山ハ楠公ガ初メテ天子ニ拜謁セシ處、宇治ハ帝國第一ノ茶ノ産地ニシテ木津モ亦茶ノ産地ナリ、八幡ニ男山八幡宮アリ、八幡ト宇治川ヲ隔テ、山崎アリ、秀吉ノ古戰場ナリ、

(五八) 山城ノ物産ヲ問フ、

茶、白川石、杉、笥、松茸、鮎、鯉、鮒、西陣織、染物、陶器、銅器、鐵

器、漆器、人形、扇、團扇、紅、白粉、

攝津誌

(五九) 攝津ノ境域ヲ問フ、

攝津ハ南、和泉ニ接シ東、河内ニ界シ東北、山城ニ交ハリ、北、丹波ニ連ナリ、西、播磨ニ接ス、

(六〇) 攝津ノ地貌ヲ問フ、

西南、海ヲ受ケテ矩形ヲナシ、南方ハ狭クシテ北方ハ廣ク形、長靴ノ如ク其ノ踵ノ半ニ當ル所ハ大阪ナリ、

(六一) 攝津ノ地勢ヲ問フ、

攝津ノ北方ナル山脈ハ京都西山ノ山嶺キニテ之ヨリ西ニ走リテ、山陰山陽兩道ノ間ヲ界シテ中國山脈ト稱セラレ東ハ東山、北陸兩道ノ間ニ連ナル、攝津ノ前面ハ即チ大阪灣ナリ、

(六二) 攝津ノ郡名ヲ舉ゲヨ、

東成(ヒガシナリ)西成、三島、豊能、河邊(カハノベ)武庫(ムコ)有馬、

(六三) 畿内ノ平野ヲ説明セヨ、

東北ノ山城ヨリ來レル淀川ハ半バハ國ノ東境ニ沿ヒ分レテ安治(アヂ)川、木津川、神崎川、中津川等トナリ、大阪市ヲ過ギ大阪灣ニ入ル其ノ兩岸ハ田野能ク開ケ、村落相連ナル畿内ノ平野トハ之ナリ、

(六四) 大阪ヲ説明セヨ、

大阪市攝津ノ南東部ニアリ昔ノ浪速津(ナニハツ)ノ地ニシテ仁徳天皇ノ都ヲ給ヒシ處ナルガ、天正年中豊臣秀吉、茲ニ城キシヨリ以來、日二月ニ、繁榮ヲ増シテ日本商業ノ要地トナリ、堀リ割ハ縱横ニ通シテ謂ハユル八百八橋ヲ架セラレ、木津、安治川ノ川口ハ入船千艘、出船千艘ノ稱アリ、工場ノ煙突林ノ如ク實ニ煙都ノ稱モ空シカラズ、秀吉ノ城キシ大阪城ハ今第四師團及ヒ其ノ司令部トナリ、市内ニハ中部都督部、府廳、造幣局等アリ市街ノ面積ハ三方里余ニシテ之ヲ四區ニ分ツ、人口八十餘万全國第一稠密ノ地ナリ、人民ハ敏捷ナリ、

(六五) 職業ト風俗トノ關係アリヤ、

工業地ナル京都人ノ勤儉ニシテ緻密ナル、商業地ナル大阪人ノ敏捷ニシテ

潤達ナル、凡テ農業地ノ人民ノ忍耐ニシテ質朴ナルハ職業ト風俗ト相關係
スル所アルヲ知ルベキナリ、

(六六) 大阪ノ交通ハ如何、

大阪ハ關西貨物ノ中心點ニシテ鐵道ハ東海道鐵道京都ヨリ來リテ更ニ神戸
ニ向ヒ、別ニ大和奈良ニ達スル奈良線アリ、京都奈良間ノ線路ヲ横ギリテ
尾張名古屋ニ至レル關西鐵道アリ、南海道ニ至ル南海鐵道アリ、丹後舞鶴
ニ至ル阪鶴鐵道アリ、船舶ハ山陰山陽、南海、西海ノ沿岸ヲ航シ更ニ臺灣
支那、朝鮮ニ向ヒテ航路ヲ延長シ、河運ハ淀川ヲ上下シテ伏見ニ至リ以テ
京阪間ヲ連絡ス、而シテ他日築港成就ノ日ハ吃水深キ外舶モ容易ニ茲ニ泊
スルヲ得テ一層ノ繁華ヲ見ルナルベシ、輸入稅ヲ掌ル處ヲ稅關ト云フ、

(六七) 阪鶴鐵道ヲ説明セヨ、

阪鶴鐵道ハ大阪ト丹後舞鶴トヲ連絡スルモノニシテ神崎(カンザキ)川ノ河
口ナル尼ヶ崎ニオイテ、大阪ヨリ神戸ニ至ル鐵道ノ一線ヲ分チテ北ニ向フ
モノコレナリ、コノ線ハ池田川ニ沿ヒテ、伊丹(イタミ)池田、有馬口等ヲ
過ギテ丹波ニ入ル、

(六八) 山陽鐵道ヲ説明セヨ、

山陽鐵道ハ神戸ニオイテ京阪ノ線ニ接續シ之ヨリ山陽道ニ向フ、

(六九) 神戸市ヲ説明セヨ、

神戸市ハ湊川ヲ以テ神戸兵庫ノ二部ニ分ル、湊川ハ平日ハ殆、水ナク而カ
モ一タビ出水スレバ被害甚ナカラザレバ近時、流路ヲ兵庫ノ西ニ轉セシメ
タリ、神戸ハ貿易場トシテ横濱ニ亞ギ人口十八万余ヲ有シ、兵庫縣廳ココ
ニアリ、湊川神社ハ楠正成ヲ祭レル處ニシテ、著名ナル神戸牛ハ中國ヨリ
爰ニ集ルモノナリ、輸物ノ主ナルハ茶、米、マツチ、樟腦等ニシテ輸入
物ノ主ナルハ綿糸、綿花、石油、砂糖等ナリ、兵庫ハ古、務古ノ水門、和
田ノ泊ノ稱アリキ、

(七〇) 楠公ノ古戰場タル湊川ハ今ノ何處ニ當ルカ

延元元年、楠正成ガ足利尊氏、直義ノ水陸軍ヲ防ギタル湊川ハ神戸市舊ハ
部郡湊村ノ邊ナリ、

(七一) 和田岬ハ何人ノ築キシ處ト云フカ、

昔、平清盛、此岬ヲ築キ港中ノ船ヲシテ風波ノ險ヲ避ケシムト云フ、

(七二) 須磨浦

須磨浦ハ攝津ノ西境、鐵拐(テツカイ)山ノ麓ニアリテ月ノ名處ナルノミナ
ラズ、空氣ハ清潔ニシテ氣候ハ温和ナレバ世界屈指ノ療病地ナリ、此ノ地
ハ源義經ガ逆落シセシ古戰場ナリ、

(七三) 攝津ノ名邑ヲ擧ゲヨ、

山城ノ國境ナル櫻井楠公父子訣別ノ處ナリ、有馬ハ温泉ヲ以テ名アリ、日
本酒ヲ以テ名高キハ伊丹(イタミ)西ノ宮、御影(ミカゲ)アリ、西宮、御影
等五郷ノ酒ヲ總稱シテ灘酒(ナダザケ)ト云フ、其外、天王寺、平野、住吉
高槻、富田、茨木、吹田(スヰタ)池田、三田等アリ、

(七四) 御影石ノ產地ヲ問フ、

御影ノ北ナル花崗石質ノ武庫(ムコ)摩耶(マヤ)山ヨリ出ツル石材ヲ御影石
ト云フ、蓋シ名ヲ地名ニトレルナリ、

(七五) 物産ヲ問フ、

綿、茶種、花崗石、煙草、牛、鯉、鮒、寒天、種油、酒、池田炭、有馬竹
細工、硝子、草、

和泉誌

(七六) 和泉ノ境界ヲ問フ、

和泉ノ國ハ北、攝津ニ接シ東ヨリ南ニ至ルマデ河内、紀伊ニ接シテ弓様ヲ
ナシ、西方一帶、大阪灣ヲ擁ス、

(七七) 和泉ノ地貌ヲ問フ、

南北ニ長ク東西ニ短シ例ヘハ舟ヲ欵ツガ如シ、

(七八) 和泉ノ地勢ヲ問フ、

和泉ハ東南、紀伊ニ界スル所謂紀泉山脈ニシテ、其余ハ皆平坦、諸水ハ直
チニ大阪灣ニ注グ、

(七九) 和泉ノ郡名ヲ擧ゲヨ、

泉北、泉南、

(八〇) 堺市ヲ説明セヨ、

堺市ハ大阪市ヲ去ル僅ニ三里大和川ノ河口ニアリ、鐵器及緞通ヲ以テ有名
ナリ、足利氏ノ頃ハ一ノ外國貿易港ニシテ繁華ノ地ナリシガ、大阪ノ開ケ

タルト泥沙ノ海底ヲ埋メントニヨリ一時衰微セシモ近來、鐵道ハ大阪ヨリ
開通シタルハ其ノ繁華或ハ回復スベカラシ、

(八一) 和泉ノ物産ヲ問フ、
貝類、鐵器、段通、密柑、

(八二) 和泉ノ名邑ヲ舉ゲヨ、
南海鐵道沿線ノ濱寺公園ハ昔ノ高石濱或ハ高師濱(タカシ)ナリ、岸和田ハ
大津川ノ南海濱ニアリテ殆ト國ノ半ニ位ス、其ノ他湊村、下條、大津、貝
塚、佐野、尾崎等アリ、

河内誌

(八三) 河内ノ境界ヲ問フ、

河内國ハ東ハ大和、南ハ紀伊、西ハ和泉攝津ニ正シク界シ、北、頭角ヲ攝
津山城ノ間ニ挿ム、

(八四) 河内ノ地貌ヲ問フ、

河内ハ南北長ク東西甚狹ク、形、圭ニ似タリ、

(八五) 河内ノ地勢ヲ問フ、

南境ナル山脈ハ紀泉山脈ニシテ東境ニ延長スルハ葛城(カツラギ)山脈ナリ
脈中ニ生駒山(イコマ)信貴山(シギサン)葛城山等アリ、然シテ大和川ハ大
和ヨリ來リテ此ノ山脈ヲ貫キ國中ヲ横截ス

(八六) 郡名ヲ舉ゲヨ、

南河内、中河内、北河内

(八七) 金剛山ノコトヲ記セ、

金剛山ハ葛城山ノ一峰ニシテ國ノ東南隅ニ聳テリ、楠公ノ古戰場タル千早
(チハヤ)ノ城址ハ此ノ山中ニアリ、

(八八) 河内ノ名邑ヲ問フ、

河内ハ小國ナレバ從テ都市ノ著シキモノナシ、四條畷ハ小楠公ノ戰死セシ
所ニシテ四條畷神社アリ、其ノ他牧方、八尾郷國分村、久寶寺村、富田林
アリ、

(八九) 河内ノ鐵道線ヲ問フ、

コノ國ハ大和川ト淀川トノ流域ニ當ルガ故ニ大阪奈良ノ鐵線道ハ大抵大和

川ニ沿ヒテ敷設セラレ關西鐵道ハ大阪ヨリ四條畷ニ至リテ山城木津川ノ流域ニ入ル、

(九〇) 洞峠(ホラガタウゲ)ハ何處ニアリヤ、

河内國北河内郡招提村ヨリ山城國綴喜郡八幡町ニ通スル峠ナリ、

(九一) 河内ノ物産ヲ問フ、
綿、菜種、木綿、寒天、種油、道明寺糲、

大和誌

(九二) 大和ノ境界ヲ問フ、

大和國ハ南方、紀伊ニ斗入シ東ハ伊勢、西ハ河内ニ接シ而シテ北方伊賀、山城ニ交ル、

(九三) 大和ノ地貌ヲ問フ、

地形南北長ク東西稍々短ク東ニ向ヒテ略々凸字形ヲナセリ、

(九四) 大和ノ地勢ヲ問フ、

大和ノ西北部ハ北ハ山城ニ接シ、西ニ葛城山脈ニ隔テラレ南ニ紀泉山脈

アリ其ノ中間ハ大和川及其ノ支流ノ流域ニシテ平地多シ(る)東北部ハ山地ニシテ伊賀ノ名張川ハココヨリ發源スハ南部ハ吉野諸山ニシテ十津川ココニアリ(に)中央部ハ紀泉山脈ト吉野諸山トニ包マレタル地ヲイヒ、吉野川ハココ地方ノ諸水ヲ集成シテ西流ス、

(九五) 紀伊山脈ヲ問フ、

吉野諸山ハ紀伊ヨリ連續ス紀伊山脈コレナリ、脈中、山上ガ嶽ハ畿内中ノ最高ナル山峰ニシテ吉野郡ニアリ、海面ヲ抜クコト、六千二百尺、一ニ大峰ノ名アリ、山脈四方ニ延ヒテ金峰(吉野山)稻村、小篠、國見、七面、釋迦、大日ノ所謂吉野十二峰トナリ大天井、小天井ノ二山ハ其南方ニ分ル、多武峰モ紀泉山脈中ノ一峰ニシテ藤原鎌足ノ廟所ナリ、

(九六) 大和ノ水理ヲ問フ

大和川ノ支流ニ奈良川、富ノ小川、龍田川、飛鳥川、葛城川アリテ其流域ヲ潤シ名張川ハ東北部ニ發源シ、中央部ノ諸川ハ合シテ吉野川トナリ、西流シテ紀伊ニ入り紀ノ川トナル、十津川ハ南部ニ發源シ、南流シテ紀伊ニ入り、北山川ハ國ノ東方、大臺山湖ヨリ發源シ南、紀伊ニ入ル、コノ二川

ハ相合シテ熊野川トナル、

(九七) 大和ノ郡名ヲ擧ゲヨ、
添上(ソウカミ)山邊、磯城、宇陀(ウダ)生駒、高市、南葛城、北葛城、宇治、吉野、

(九八) 奈良ヲ記セ、

奈良ハ大和ノ北境ニアリ、昔平城京ト稱シ又京都ノ南ニ當ルヲ以テ、南都ト云フ、桓武天皇以前七代八十四年間ノ皇都タリキ、而シテ古ノ都ハ今ノ市街ノ西ヨリ郡山ニ亘ルト云フ、東方ナル春日山、三笠山ハ東北部ノ山地ニ接シ春日山ニ春日社アリ、鹿多シ、而シテ謂ハユル南都七大寺亦多ク此ノ際ニアリ、東大寺ノ大佛ハ其名著シ、奈良縣廳茲ニアリ、晒シ布、奈良漬、筆、墨ヲ物産トス、

(九九) 月瀬、吉野ハ何處ニアリヤ、

月瀬ハ天下第一ノ梅ノ名勝ニシテ名張川ガ國ノ極隅ヲ過クル所ニアリ、吉野ハ吉野川ノ沿岸、吉野郷ニアリ、世界第一櫻ノ名所タリ、又南朝三代ノ皇居ノアリシ地ニシテ舊蹟多シ、

(一〇〇) 大和ノ名邑ヲ記セ、

郡山、小泉、龍田、松山、初瀬(ハセ)三輪、柳本、田原本、櫻井、八木、今井、土佐、高田、御所、五條、吉野、下市、

(一〇一) 大和ノ鐵道ヲ記セ、

鐵道ハ京都及ヒ大阪ヨリ奈良ニ通シ、南、櫻井ニ至リ南和鐵道ハ大阪鐵道ノ高田ヨリ岐レテ葛城山脈ニ平行シ御所ヲ經テ五條ニ至リ紀和鐵道ニ連續ス、

(一〇二) 大和ノ物産ヲ問フ、

漆、銅、金剛砂、木材、葛、鮎、奈良晒、奈良漬、月瀬梅醋、大和緋、三輪素麵、

畿内概要

(一〇三) 畿内ノ境域ヲ問フ、

畿内ハ北、北陸道ニ接シ東、東山、東海兩道ニ接シ、西、山陰山陽兩道ニ接シ、東南、南海道ニ交ハリ南方海波ヲ受ク、南北稍々長ク東西稍短ク五

○日本地理問答

國相依ル、

(一〇四) 畿内ノ經、緯度ヲ問フ、北緯三十三度五十分ヨリ三十五度二十分ニ至リ、東經百三十五度十八分ニ起リ百三十六度二十六分ニ至ル、

(一〇五) 畿内ノ面積及人口ヲ問フ、南北ノ延長三十五里、幅員二十五里、面積大凡四百四十五方里、人口二百六十三萬七千人、

(一〇六) 畿内ノ區劃ヲ問フ、五國二十郡トシ行政上ニハ二府二縣アリ

(一〇七) 畿内ノ地勢ヲ述ベヨ 畿内ハ東南北ノ三面ハ山岳ニ圍繞セラレ、僅ニ西南ニ大阪灣ノ一部ヲ開ク即北ニ走レル山脈ハ中國山脈ニシテ、東ニハ比叡、笠置ノ山脈アリ、南ナルハ紀泉山脈及紀伊ノ諸山ナリ、而シテ許多ノ河水ハ概シテ源ヲ連山ノ間或ハ湖水ノ決流ニ發シテ終ニ大阪灣ニ注ギ、其流域ハ所謂畿内平野ヲナセリ、但シ吉野地方ノ水ノミハ流レテ紀伊ニ入ル、又岬角ハ和田岬ト觀音崎

ト相對シテ大阪灣ヲナスアルノミ

(一〇八) 畿内ノ礦山ヲ擧ゲヨ

銅礦ハ大和吉野郡ニ多ク、攝津之ニ亞ク、アンチモニ、金銀、石英、珪石、石炭モ亦處々ニアリ、陶土ハ山城ニアリ

(一〇九) 湖沼ヲ問フ

巨椋池ハ山城ニアリ、巨倉大椋トモ書キ世俗ニハ大池ト云フ、秀吉之ヲ開キテ宇治川ノ水害ヲ防ギントテ、其ノ他山城ニ納所沼、六地藏沼、四谷村沼、一口沼(イモアラヒ)アリ、大和ニ旗尾沼アリ、河内ニ狹山池アリ、

(一一〇) 畿内ノ鐵道如何

東海道鐵道ハ近江ノ大津ヨリ來リ京都ニ至リ山崎、高槻、茨木、吹田ヲ經テ大阪ニ至リ神崎、西ノ宮、住吉ヨリ神戸ニ至リテ山陽鐵道ニ接シ須磨ヨリ山陽道ニ入ル、京都鐵道ハ京都ヨリ丹波國園部ニ達シ、奈良鐵道ハ京都伏見、宇治、長池、木津、奈良、櫛ノ本、丹波市、三輪、櫻井間ヲ連結シ大阪鐵道ハ湊町、今宮、天王寺、平野、八尾、王寺、郡山、奈良間ヲ連結

シ、又王子ヨリ分レテ高田、畝傍、櫻井ニ至ルモノト、天王寺ヨリ分レテ大阪ニ至ルモノトアリ、西成鐵道ハ大阪、福島、安治川口ヲ連結シ、河陽鐵道ハ大阪鐵道ノ柏原ヨリ道明寺、古市ヲ經テ富田林ニ至リ、南海鐵道ハ難波ヨリ起リ、堺、濱寺、岸和田、貝塚、尾崎ヲ經テ紀伊ノ和歌山ニ至リ南和鐵道ハ大阪鐵道ノ高田ヨリ御所、掖上ヲ經テ五條ニ至リ紀和鐵道ニ連絡ス、關西鐵道ハ大阪ヨリ四條畷、長尾ヲ經テ木津ニ至リテ奈良鐵道ニ交又シ、賀茂、笠置ヲ經テ伊賀國ニ入ル、阪鶴鐵道ハ尼ガ崎、神崎、伊丹、池田、生瀬、三田ヲ經テ丹波ニ入ル

(一一一) 畿内ノ名勝、古蹟ヲ舉ゲヨ、

大和ニハ吉野山ノ櫻花及宮跡、月瀬ノ梅花、橿原ノ宮跡、奈良大佛等アリ攝津ニハ須磨ノ浦、住吉(古、墨江)ノ岸、又名古ノ浦(湊川、一ノ谷、福原等アリ)、山城ニハ京都市内外ノ諸勝多ク、河内ニハ金剛山ノ千早及赤阪城趾等アリ、

(一一二) 畿内ノ生業ヲ述ベヨ、

平野ノ地ニ住スルモノハ多ク農業ニ從事シ、西京ノ如キハ工業ノ開ケタル處ニシテ大阪ハ商業ヲ事トス、

(一一三) 畿内ノ人情ヲ問フ

概シテ之ヲ言ヘバ節儉、柔和ニシテ所謂上方風ナルモ、就中京都及東北地方ノ人ハ飲食ヲ節シテモ衣服ヲ裝ルノ習ハシアリ、大阪及其近傍ハ稍々奢侈ノ風アリ

(一一四) 畿内ノ氣候ヲ問フ

大和山城間ノ地ハ稍々寒冷ナルモ、攝津和泉等海岸ノ地ハ温暖ナリ、

東 海 道

伊 賀 誌

(一二五) 伊賀ノ境域ヲ問フ

伊賀ハ東方一帶伊勢ニ界シ、北方一帶近江ニ接シ、西方山城大和ニ界シ、南方ハ大和ニ界ス、

○日本地理問答

(一一六) 伊賀ノ地貌ヲ問フ

南北稍々長ク東西稍々短ク橢圓ノ狀ヲナセリ、

(一一七) 伊賀ノ地勢ヲ問フ

伊賀ハ地勢上ヨリ云へバ寧ロ畿内ニ屬スベキ國ニシテ、四境皆山、而シテ

長田川東南ヨリ西北ニ流レテ木津川トナリ、一水東北ヨリ來リテ之ニ合シ

黒田川ハ大和ヨリ來リ名張川ト合シテ又大和ニ復ル、

(一一八) 伊賀ノ郡名ヲ舉ゲヨ

阿山、名賀、

(一一九) 伊賀越トハ如何

東海道ノ驛路ハ京都ヨリ東山道ノ近江ヲ經テ伊勢ニ至ルヲ以テ、山城又ハ

大和ヨリ伊賀ノ上野ヲ經ルモノヲ特ニ伊賀越エトハ云フナリ、

(一二〇) 伊賀ノ物産ヲ舉ゲヨ、

茶、伊賀燒、

伊勢誌

(一二一) 伊勢ノ境界ヲ問フ

伊勢ハ東南、志摩ニ接シ正南、海ニ臨ミ、西南紀伊ニ界シ、西、大和、伊賀及近江ニ連リ、北、美濃、尾張ニ接ス東ハ即伊勢ノ海ナリ、

(一二二) 伊勢ノ地貌ヲ問フ

北一半ハ甚タ狭ク、南一半ハ漸ク開ケ、殆ト撥ノ如シ、

(一二三) 伊勢ノ地勢ヲ問フ、

東一帶ハ伊勢ノ海ニ枕ミ西部ハ高ク、東部ハ漸ク低ク、近江ノ境ニ藤原岳

釋迦岳、冠ガ岳、鈴鹿山アリ、大和ノ境ニ尾岳、高見山、國見岳諸山アリ

即、西ハ鈴鹿山脈ニシテ南部ハ紀伊山脈ニ連ナレルナリ而シテ美濃ノ境ニ

熊阪峠アリ、近江ノ境ニ鈴鹿峠アリ、昔ノ鈴鹿ノ關以西ヲ關西ト云フ、

(一二四) 伊勢ノ水理ヲ問フ、

河ニ淺毛(アサケ)川、三重川、崎川、高岡川、塔世(トウセイ)川、雲津川

松阪川、櫛田川、藤原川、宮川アリ、皆東流シテ伊勢ノ海ニ朝ス、而シテ

雲津川ハ伊勢ヲ南勢、北勢ニ區別ス、

(一二五) 伊勢ノ郡名ヲ舉ゲヨ、

桑名、員辨(イナベ)三重、鈴鹿、河藝、安濃、一志、飯南、多氣、度會

(一二六) 伊勢ノ市邑ヲ記セ、

四日市、桑名ハ關西鐵道ノ沿線ニアリテ共ニ米穀ノ市場タリ、桑名ノ万古
燒時雨蛤ハ其名世ニ高シ、津ハ又安濃津トモ云ヒ、雲津川ノ南ニアリテ、
三重縣廳ココニアリ、關西鐵道ノ支線ハ此地ニ至リテ參宮鐵道ニ連絡ス、
松坂ハ國學ノ三大入ノ一、本居宣長ノ生地ナリ、宇治山田ニ内宮外宮アリ
外宮ニハ豐受大神ヲ祭り、五十鈴川上ノ宇治ナル内宮ニハ、天照大御神ヲ
祭ル、二見ヶ浦ハ宇治山田ノ東二里ニアリ、

(一二七) 伊勢ノ物産ヲ問フ、

坂稿、
米、茶、苧、麻、伊勢蝦、蛤、海草、眞珠、万古燒、津縹子、染形紙松、

志 摩 誌

(一二八) 境域ヲ問フ、

西伊勢ニ接シ、南東北ノ三方均ク海ヲ受ケ、縱、七八里、横之ニ半バス、

(一二九) 地勢ヲ問フ、

過半ハ紀伊山脈ノ山地ニシテ西境ヨリ出ツル水、兩三派東ヲ指テ馳セ内海
ニ注ク、内海ノ口ヨリ伊勢ノ境ニ至ルマデ地勢微ク西北ニ殺ケリ、内海ヨ
リ南、岸頭波荒シ其東南海角ヲ大王岬ト云フ、

(一三〇) 郡名ヲ舉ゲヨ

志摩、

(一三一) 市邑ヲ述ベヨ

鳥羽ハ國ノ最北ニアリ、東、三河ノ伊良胡崎ニ遙對シ伊勢ノ海ヲ扼ス、此
ノ地西方ニ遠州灘アリ、東方ニ遠州灘アリ、故ニ往來ノ和船必ズ此ニ入り
風定ルヲ待テ後、帆ヲ掲ク、的矢ハ東方、内海ノ中ニアリ、

(一三二) 物産ヲ問フ、

海草特ニ石花菜(トコロナン)、眞珠、

尾 張 誌

○日本地理問答

(一三三) 境域、地貌ヲ問フ、

コノ國ハ其形、匙ヲ側ツカ如シ、東、三河ニ接スルハ柄後、北、美濃ニ接スルハ匙底、西、伊勢ニ接スルハ匙頭ニシテ、匙面ト柄前トハ海灣ニ面ス

(一三四) 地勢ヲ問フ、

此ノ國ノ美濃ト接スル處即匙底ニ沿フテ流ルルハ木曾川ニシテ其ノ流域ナル美濃ト共ニ所謂濃尾平野ノ大部分ヲナス、知多半島ノ東西兩岸ハ遠淺ナリト云フ、

(一三五) 濃美平野ヲ説明セヨ

濃美平野ハ木曾川ノ流域ニシテ延キテ伊勢ニ及ブ殊ニ尾張ハ耕地最開ケ、全面積ニ比シテ多キコト全國第一ナリ、地味肥沃、米、麥、大根ノ名、甚タ高シ

(一三六) 水理ヲ問フ、

木曾川ハ西境ヲ流レ、其ノ東ニ蟹江川アリ、矢田川、龍泉寺川、東ヨリ來リ、名古屋ノ北ニ合流シ枇杷島川トナリ海ニ入ル、宮ノ東ニ山崎川アリ、

鳴海ト桶狭間トノ間ニ天白(テンハク)川アリ、

(一三七) 郡名ヲ舉ゲヨ、

愛知、知多、東春日井、西春日井、丹羽、葉栗、中島、海東、海西、

(一三八) 名古屋市ノコトヲ記セ、

名古屋ハ前ニ大灣ヲ擁シ後ニ大沃野ヲ控ヘ、其附近ニ良港ヲ有スルコト、能ク東京ニ似タリ、市ニ愛知縣廳アリ、人口二十万ヲ有ス、名古屋城ハ徳川義直ノ城キシ所ニシテ今第三師團及ヒ其ノ司令部トナリ、黄金ノ鯉ハシヤチホコ)今猶天主閣上ニ輝ケリ、此ノ地ハ商業地ナルモ亦能ク工業ヲ勵ミ七寶、磁器、名古屋扇、織物等ノ名産アリ、東海道鐵道及ヒ關西鐵道ハ共ニコノ地ヲ過グ

(一三九) 市邑ヲ問フ、

熱田(アツタ)ハ單ニ宮トモ云フ、熱田神社アリ草薙寶劍ヲ奉ズ、半田、武豊ハ共ニ知多半島ニアリテ繁昌ノ港ナリ、此ノ半島地方ハ多量ノ酒及ヒ醬油ヲ産ス、半島ノ頸ニ當レル鳴海ハ戰國ノ頃ノ古戰場ニシテ鳴海纈額(ナ

○日本地理問答

ルミシボリ)ハ其ノ近傍ナル有松ノ産ナリ、瀬戸ハ東北隅、三河續キノ山地ニシテ、陶器業ノ最モ舊キ地ナルヲ以テ陶器ノ一名ヲ瀬戸ト呼ビナスニ至レリ、

(一四〇) 尾張ノ古戰場等ヲ問フ、

此國ハ信長、秀吉ノ生國ナレバ其ノ頃ノ古戰場多ク、桶狭間、小牧、長湫等其名著ハル、知多半島ノ内海(ウツミ)ハ源義朝ノ殺サレシ所ナリ、

(一四一) 物産ヲ擧ゲヨ、

米、麥、藍、綿、大根、海參、海鼠腸、瀬戸焼、七寶焼、鳴海絞、扇、酒醬油、

三河誌

(一四二) 境域ヲ問フ、

南、海ニ臨ミ、東、遠江ニ正接シ北、信濃美濃ニ界シ西、境川ヲ以テ尾張ニ界ス、地形畧々方ナリ、

(一四三) 地勢ヲ問フ、

北方、信濃ノ木曾山脈ニ連リ東方ハ紀伊山脈ノ渥美半島ニ起リタル赤石山脈連亘ス、東南ナル一大長岬ヲ伊良胡崎ト云ヒ、西南、志摩ニ對ス、岬半ノ一角大地ノ角ト對シテ衣ケ浦ヲ包ム、

(一四四) 三河國名ノ起因ヲ問フ、

國中、矢矧(ヤハギ)川、其支流ナル大平川、豊川ノ三川アリコレ此ノ國名アル所以ナリ、

(一四五) 郡名ヲ問フ、

碧海(アヲミ)額田(ヌカタ)東加茂、西加茂、幡豆(ハヅ)寶飯(ホイ)南設(シタラ)北設樂、八名(ヤナ)渥美(アツミ)

(一四六) 岡崎、豊橋ヲ記セ、

岡崎ハ矢作川(ヤハキ)ニ臨ミ、當初徳川家康居城ノ地ナリ、其ノ山入リノ地ヨリハ花崗石ヲ産ス、豊橋ハ衣ケ浦ノ當中ニアリテ豊川ニ沿フ、舊名ヲ吉田ト云フ、第三師團ノ分營アリ、豊橋ヨリ鐵道ハ豊川稻荷ニ至ル、

(一四七) 古戰場ヲ問フ、

○日本地理問答

此ノ國ハ徳川家康及ヒ三河武士ノ本國ニシテ古戰場少カラズ、松平ハ國ノ中心ヨリ稍々西ニアリ、徳川氏ノ出テシ處、小豆阪(アツキザカ)ハ織田信秀ノ今川氏ト戦ヒシ處、長篠(ナガシノ)ハ武田勝頼ノ破レシ處ニシテ其ノ醫王寺山ハ勝頼ノ陣セシ處ナリ、

(一四八) 物産ヲ擧ゲヨ、
藍、綿、花崗石、木材、雲母(キララ)海參、海鼠腸、木綿、

遠江誌

(一四九) 境域ヲ問フ、

南海ニ面シ、東大井川ヲ以テ駿河ニ界シ北、信濃ト連山ヲ界シ、西赤山ヲ分チテ三河ニ界シ北半、山多ク南半、平地多シ、諸水皆南流シテ海ニ入ル

(一五〇) 地貌ヲ問フ、

地勢、北ヨリ南ニ向ヒテ漸ク啓キ箕形ヲナス、

(一五一) 遠江ノ諸山ヲ記セ、

赤石山脈ハ三河ヨリ來リ天龍、大井兩川ノ間ヲ連亘ス、國ノ東北ニ風不入

山、朝日ガ岳、黒法師、春野、大日ノ諸山アリ、東ニ粟ガ岳アリ、南ニ小笠山、高天神アリ、國ノ中央ニ不動、秋葉、大鏡諸山アリ、西北ニ權現、平澤、白倉諸山アリ、西南隅ニ高師(タカシ)山アリ、

(一五二) 諸水ヲ記セ、天龍河ハ信濃ノ諏訪湖ヨリ發源シ西北隅ヨリ蛇行シテ漸ク大河トナリ南流シテ海ニ入り國中ヲ縦斷ス、大井川ハ甲斐ノ極西ニ發源シ直流シテ南ニ馳ス、平時水少ク秋水時ニ至レハ兩涯ノ間、牛馬ヲ辨セメ故ニ海道一ノ大河トス、昔ハ驛夫ノ肩ニヨリテ渡リシ所ナリ、

(一五三) 濱名湖ヲ記セ

濱名湖ハ三河ニ近キ海濱ニアリ、門口甚狹ク中ニ支灣多ク、形、珊瑚樹ニ似タリ、元ハ海水ト通ゼザリシガ明應ノ地震ニ湖口破レ、永正ノ山崩、元祿ノ海嘯ニ由テ陸地陷リテ水底トナリシ所多シ、其切レロヲ今切ト云ヒ海ヨリ漁船ヲ入ルベシ、今ハ鐵橋ヲ架ス、

(一五四) 遠江ノ國名ノ起因ヲ問フ、

遠江ノ名ハ近江琵琶湖ニ對シ濱名湖ニヨリテ名ケシモノナリト云フ、

(一五五) 遠州灘トハ如何

國ノ南ハ渺茫タル太平洋ニシテ志摩ノ大王崎ヨリ伊豆ノ石廊崎マデヲ遠州灘ト云ヒ暴風怒濤ノ恐レアリ御前崎ハコノ洋中ニ向ヲテ斗出ス

(一五六) 郡名ヲ擧ゲヨ

榛原(ハイハラ)小笠、周智(スチ)磐田、濱名、引佐(イナサ)

(一五七) 濱松ヲ記セ、

濱松ハ濱名湖ト天龍川口ノ間ニアリ、國中第一ノ名邑ニシテ家康居城ノ地タリ、

(一五八) 三方ガ原ヲ記セ

三方ガ原(味方原)ハ濱松ノ北ニアリ、武田晴信ト家康トノ古戰場ナリ今ハ茶ノ産地トシテ有名ナリ、

(一五九) 名邑ヲ擧ゲヨ

掛川、横須賀、相良、見附、掛塚、舞坂、

(一六〇) 物産ヲ問フ

茶、石油、椎茸、饅節、

駿河誌

(一六一) 境域、地貌ヲ問フ、

東、相模、伊豆ニ界シ南面海ニ臨ミ伊豆ト一太灣ヲ擁シ西、遠江ト大井河ヲ界ス、北方一帶甲斐ト界シ兩肩ヲ聳カス凹字様ヲナス、

(一六二) 地勢ヲ述ベヨ

前諸國ト同ク北ハ山ヲ負ヒ南ハ海ニ臨メドモ此ノ國ニ至リテハ海岸ノ平土、最モ少ナク隨テ河流急ナリ、遠江ノ一角ハ伊豆ノ一角ト相對シテ駿河灣ヲナス、

(一六三) 富士山ヲ記セ、

富士山ハ凹字ノ東肩ニアリテ甲斐ニ跨リ海面上直立一萬二千尺白雪恒ニ絶エス、我國第一ノ名山ナリ、山頂ノ大洞ハ昔時烟焰ヲ發セシ所ナリト云フ登山ノ道ニハ東ニ須走(スバシリ)アリ南ニ村山アリ、山ノ東腹ナル一附蓋ヲ寶永山ト云フ寶永中ニ起立セシ所ナリ、南ニ足高山アリ、富士ノ麓ニ裾野アリ多ク三椏(ミツマタ)ヲ植ウ、昔、曾我兄弟ガ工藤祐經ヲ撃テ父ノ仇

ヲ報セシハコノ所ナリ、

(一六四) 國中ノ諸山ヲ記セ、

四字ノ西肩ノ東ニ小澤山、大谷崩アリ、西北ニ御室山、諏訪岳、松山アリ、西ニ高根、高尾、笠張、千葉諸山アリ、其ノ東ニ宇津ノ山アリ、静岡ノ北方ニ龍爪(リョウソウ)山アリ其ノ東南海岸ニ久能(クノウ)山アリ、

(一六五) 國中ノ諸水ヲ記セ、

四字ノ正中ヲ流ルルヲ富士川トス富士川ハ甲斐ヨリ來リ富士ノ西ヲ流過シテ海ニ注グ、日本三急流ノ一ニシテ湍流迅疾箭ヲ發ツカ如シ、駿河ノ國名ハコノ川ヨリ得タルモノニテ銳キ河ト云フ意味ナリ、東南ニ狩野川アリ、伊豆ヨリ來リテ海ニ入ル黄瀬川ハ東北ヨリ來リテ狩野川ニ合ス富士川ノ西ニ沖津川アリ、清水港ニ注ク川ヲ巴川ト云フ、静岡ノ西ニ阿部川アリ、西境ニ大井川アリ、

(一六六) 郡名ヲ擧ゲヨ、

駿東、富士、庵原(イハラ)安倍、志太(シタ)

(一六七) 静岡ヲ記セ

静岡ハ昔、駿府(スンブ)又ハ府中ト云ヒ家康ノ退隱地ナリ其ノ久能山ニハ同公ヲ祀レリ、東京、名古屋ノ中間ニ位シ製茶ノ期節ハ商賈、四方ヨリ來リ商況盛ナリ、産物ハ竹器、漆器、寄木細工ナリ、

(一六八) 其他ノ各地ヲ問フ

静岡ノ東ニ沙嘴アリ東北ニ向フ形、象鼻ノ如シ三保(ミホ)松原ト云フ、其内灣ニ清水港アリ良港ノ稱アリ、富士ノ前ノ海邊ナル田子ノ浦ハ三保ト共ニ富士ヲ望ム絶景ノ地ナリ、浮島ヶ原ハ富士川ノ東、富士ノ正南、沼津ノ西ナル沼地ニシテ日本武尊ガ草ヲ薙ギテ賊ノ火ヲ拒キシ所ナリ、富十川ノ西ナル庵原郡ハ好良ナル茶ヲ多量ニ産シ外國貿易場ニオケル標準茶トセラ

(一六九) 物産ヲ問フ

茶、馬、興津鯛、鯉節、漆器、竹細工、紙、

甲斐誌

(一七〇) 境域、地貌ヲ問フ、

國ノ形、南瓜ノ如シ東、相模ニ接スルハ葦ニシテ北方、武藏ニ肩ヲ、信濃

ニ腹ヲ交へ、南方駿河ニ界スルハ又肩腹ニシテ西駿河信濃ノ境ニ接スルハ其ノ附(ハナヲチ)ナリ、

(一七一) 地勢ヲ問フ、

信濃ト共ニ至高ノ所トテ四方山ニテ圍マレ富士ノ山陰ニ在リ、西ニハ赤石山脈アリ北ニハ八ヶ岳(ヤツガタケ)金峰山(キンブツサン)アリ、東ニハ秩父山脈又ノ名、關東山脈アリ、國中過半ノ水ハ富士川ニ會スルモ東部秩父山脈ノ間ノ水ハ桂川トナル笹子峠(サ、コタウゲ)ハ實ニ其分水嶺アリ、

(一七二) 國中ノ諸山ヲ記セ、

東北ニ天目山アリ北境ニ金峰、八ヶ岳アリ西ニ駒ガ岳、鳳凰、白根諸山アリ、西南ニ七面山身延山アリ、身延山ニハ日蓮宗ノ大本山アリ、而シテ東南ニ當リテ富士山兀立ス、

(一七三) 此ノ國ニオケル富士山ヲ記セ、

富士ノ甲斐ニ在ルハ其ノ三分ノ一ニシテ登山ノ路ヲ上吉田ト云フ、岳麓ニ五大湖アリ、東ナルヲ山中池ト云ヒ次ヲ川口ノ湖、西湖、精進湖、本西湖ト云フ、

(一七四) 國中ノ諸水ヲ問フ、

桂川ハ富士、山中ノ湖ヨリ出テ或ハ北シ或ハ東シテ諸水ヲ集メ東、猿橋ヲ過キテ相摸ニ入り馬入川トナル、猿橋ハ奇工ヲ以テ名アリ、荒川ハ正北ヨリ來リ東北ヨリ來ル笛吹川ヲ合セ西南ニ流レテ富士川トナリ北方釜無川南方芦川ヲ合セ漸ク南シテ駿河ニ奔注ス、コノ川ハ急流ナレドモ甲府ニ集リシ産物ヲ南海ノ濱ニ出ス便路ニシテ鰍澤(カワカザハ)ヨリ河口マデ十八里之ヲ五六時間ニ下ルベシ、而カモ之ヲ上ルニハ壯夫數人、船ヲ曳クモ猶數日ヲ費スト云フ、

(一七五) 郡名ヲ舉ゲヨ

東山梨、西山梨、東八代、西八代、南巨摩、中巨摩、北巨摩、南都留、北都留(ツル)

(一七六) 甲府ヲ記セ、

甲府ハ富士川ノ支流、釜無、早、笛吹ノ流域ニシテ其位置恰モ播鉢ノ底ノ如シ、山梨縣廳アリテ市況繁盛、生糸、葡萄酒及ビールヲ産ス、武田信玄ノ城址ハ市ノ北ニアリ、

西北ハ釜無川ニ沿フテ信濃ニ通ズベク、七里岩ハ其ノ左岸ニアリ、東方ハ甲州街道ニヨリテ東京ニ通スベシ又西南ニ駿河街道アリテ御阪(ミサカ)ノ險アリ、

(一七七) 其ノ他ノ地方ヲ説ケ

韭崎ハ甲府ノ西ニアリ其ノ北ヲ新府トス、鵜澤ヨリ川舟ハ駿河ニ通ス、甲州街道ノ勝沼ハ甲州葡萄ノ産地ナリ、笹子峠ノ工事中ナルトシテハ長サ三哩、東洋第一ナリト云フ、

笹子峠ヲ超ユレバ郡内(クシナイ)ニシテ甲斐絹、郡内縞等ヲ産ス、

(一七八) 物産ヲ擧ゲヨ、

繭、生糸、水晶(甲府水晶トテ花崗石質ノ御岳、金峰山ヨリ出ス)葡萄、郡内織、甲斐絹、

伊豆誌

(一七九) 境域ヲ問フ

北ハ駿河ニ接シ鈍角ヲナス東西兩邊、海ニ面シ漸ク殺ギテ南ニ至リ尖頭ヲナス即東海ノ一大炭地ナリ、

(一八〇) 地勢ヲ問フ、

國中ニハ山脈連亘シ山ニ非ラサルハ即水ナリ、山脈ニ東海岸ニ面スル者ト西海岸ニ面スル者トアリ、南ノ盡頭ヲ石廊崎ト云ヒ西ニ繞リテ千貫門アリ

(一八一) 國中ノ山々ヲ記セ、

東北ノ山ヲ日金(ヒガキ)弦卷(ツルマキ)黒岳(クロミキ)ト云フ、其南ニ大室山、大笠山アリ、又其南ニ天城山(アマギ)アリ、有名ナル大山林ニシテ天城炭ヲモ出シ此ノ附近ヨリ伊豆石ヲ出ス、

(一八二) 國中ノ諸川ヲ記セ

天城山ノ際ヨリ東南ニ流ルル水ヲ川津川、稻生澤川ト云ヒ、西南ニ流ルルヲ松崎川、仁科川ト云フ、狩野川ハ東西ニ脈ノ間ナル溪谷ノ水ノ集マリシモノニテ北ニ流レテ駿河ニ入ル、

(一八三) 郡名ヲ擧ゲヨ、

賀茂、田方(タガタ)

(一八四) 市邑ヲ擧ゲテ之ヲ記セ、

下田ハ東海岸ノ南部稻生澤川ノ注グ處ニアル一ノ良港ナリ、韭山、北條、

ハ蛭ガ小島、大場(ダイハ)等ハ狩野川ノ東ニアリ、修善寺ハ北條ノ西南三里ニ、熱海(アタキ)ハ弦卷山ノ東麓ニアリテ共ニ有名ナル温泉地ナリ、特ニ熱海ハ冬季温暖ナルコト本邦屈指ノ地ニシテ其ノ温泉ハ間歇泉トテ定時ニ噴出スル者ナリ、熱海ヨリ相摸ノ小田原へ人車鐵道ノ便アリ、

(一八五) 伊豆七島及八丈島ヲ記セ、

東南海中ナル大島、利島(トシマ)新島(ニヒシマ)式根島(シキネシマ)神津島(カウツシマ)三宅島、御藏島(ミクラ)、ノ七島ヲ伊豆七島ト云フ、大島ニ火山アリ三原山ト云フ、コノ島ハ源爲朝ノ流サレシ地ナリ、其ノ南方ニ八丈島アリ東西七里、南北二里半、八丈竊ノ本場ナリ

(一八六) 小笠原島ヲ記セ、

小笠原群島ハ八丈島ヨリ更ニ東南ニアリ、本州ヲ去ルコト二百餘里、島數總テ二十、其ノ最大ナルモノ父島、母島アリ、父島ハ南北稍々長ク東西之ニ半シ、西北ノ灣中ニ二見港アリ、北至近ノ處ニ兄島、弟島アリ、父島ト遙ニ相對スルハ母島ニシテ南北甚長ク東西甚々短シ、西南ニ沖村港アリ、南方ニ姉島妹島、姪島等アリ、島中、椰子(ヤシ)レモン、鳳梨(アナナス)

巨籠等ヲ産ス、

(一八七) 小笠原島ノ發見者ヲ問フ、

文祿中、豊臣秀吉、小笠原貞頼ヲシテ洋中ノ島嶼ヲ索メ以テ所有トナスベキヲ命ズ、是ニ於テ貞頼、洋中ニ航出シ始テ此地ヲ發見シ因テ島毎ニ其名ヲ命シ總テ之ヲ小笠原島ト云フ

(一八八) 硫黄島列島ヲ問フ、

硫黄島列島ハ又火山列島トモ云ヒ、小笠原島ノ西南ナル三座ノ無人島ヲ云フ、中央ノ島ニハ火山アリ、其ノ東、南ニシテ北緯二十四度十四分、西經百五十四度ノ處ニ南鳥島アリ、

(一八九) 豆南諸島トハ如何、

伊豆七島、八丈島、小笠原群島、火山列島、南鳥島ヲ總稱シタル名ナリ、

(一九〇) 伊豆ノ物産ヲ問フ、

茶、石材、木材、鯉節(伊豆節トテ品等中以上ニ位シ伊豆ノ東海岸ニ産ス)雁皮紙、山葵(ワサビ)、

相摸誌

(一九一) 境域及ビ地貌ヲ問フ、

相摸ハ武藏ノ南ニアリ、東南一角、海中ニ斗出シ安房、上總ノ境ニ對シ海門ノ咽喉ヲリ、南ハ海ニ面シテ相摸灣ヲ擁シ、西ハ箱根ノ諸山ヲ繞ラシ伊豆、駿河、甲斐ト境ヲ接ス、地形冑(カブト)ヲ歛ツガ如シ、

(一九二) 關東及ビ阪東トハ如何、

昔、國ノ西境、箱根峠ニ關所ヲ設ケシヲ以テ之ヨリ以東ヲ關東ト稱ス、而シテ東ニハ一區劃ノ大平野アリ、之ヲ相摸、武藏、安房、上總、下總、常陸、上野、下野トス、關八州又ハ關東トハ是ナリ、阪東トハ關東ト云フニ同シケレドモ箱根ノ北、足柄峠ノ阪ノ東ト云フ意味ナリ、

(一九三) 關東平野及ビ關東山脈ヲ問フ、

關八州ノ平野ヲ關東平野ト云フ、武藏ノ秩父山ヨリ甲斐、相摸ノ間ニ亘レル山脈ハ關東諸國ノ經界ナルヲ以テ之ヲ關東山脈ト云フ、

(一九四) 相摸ノ山ヲ舉ゲヨ、

箱根ノ山頂ニ湖水アリ其ノ上ニ二小山アリ、二子山トイフ、其ノ北ニ當リテ足柄山アリ國ノ南方ニ石垣山、石橋山アリ、中央ニ大山(オホヤマ)アリ

(一九五) 相摸ノ川ヲ舉ゲヨ、

酒匂(サカワ)川ハ足柄ノ北ニ發源シ小田原ノ東ヨリ海ニ入ル、小田原ノ西ニ根武川(ネブ)アリ、馬入川一名相摸川ハ甲斐ニアリテ桂川ト云ヒ國ノ北邊ヲ圍リ終ニ南、海ニ入ル、此ノ川ノ東ニ片瀨川アリ、

(一九六) 郡名ヲ問フ、

三浦、鎌倉、高座(カウザ)、中、足柄上、足柄下、津久井、愛甲、

(一九七) 鎌倉ノコトヲ記セ、

片瀨川ノ東南ニアリ其海岸、東半ヲ由井ヶ濱ト云ヒ、西半ヲ七里ヶ濱ト云フ、六町一里ヲ以テ數ヘシモノナリ、昔時、源賴朝ノ幕府ヲ置キシ所ニシテ京都、奈良ニ次ギテ名所、舊蹟、神社、佛閣多ク氣候温和ナリ、

(一九八) 其他ノ市邑ヲ記セ、

小田原ハ箱根ノ東麓海濱ニアリ梅干ヲ名物トス、三浦半島ノ東濱ニ兩港アリ南ナルハ浦賀ニシテ其栗濱ハベルリ上陸ノ地ナリ北ヲ横須賀ト云ヒ海軍鎮守府アリ、其ノ東ニ斗出セル觀音崎ハ東京灣ノ關門ナリ半島ノ南端ニ城(シヤウ)ガ島アリ、江ノ島ハ鎌倉ノ西ニアリ、潮水退ケハ歩シテ行クヘシ

其ノ他藤澤ニ遊行寺アリ、大磯ハ海水浴ニ名高ク、箱根七湯ハ箱根ニアリ
真鶴崎(マナツルガサキ)ハ頼朝ノ航シテ安房ニ逃レシ所ナリ三崎ニ大學ノ
實驗場アリ、

(一九九) 富士八湖トハ如何、

箱根峠ノ絶頂ニ蘆湖(アシノコ)アリ火山湖ナリ、火山湖トハ噴火口ノ休息
シタル所ニ水ノ溜リタルカ又ハ湧キシ者ナリ、此ノ如キモノ駿河、甲斐ノ
富士ヲ圍リテ他ニ七ツアリ之ヲ合セテ富士八湖ト云フ、

(二〇〇) 物産ヲ擧ゲヨ、

明礬、鯉其ノ他海魚、貝類、根武川石、(安山岩)

武藏誌

(二〇一) 境域及ヒ地貌ヲ問フ、

武藏ハ北、上野、下野ニ界シ東、下總ニ接シ東南、海ヲ隔テテ、上總、安
房ト相對シ、南、相模ニ隣リ、西、甲斐、信濃ニ連ナリ、東西ニ長ク南北
ニ短ク殆ト木葉ノ如シ、

(二〇二) 地勢ヲ問フ、

武藏ハ關東平野ノ一部ヲ占メ、土地平坦、其ノ西方ニ數山アリ、總テ之ヲ
秩父山ト云ヒ關東山脈ヲナス、而シテ前ハ即東京灣ナリ、

(二〇三) 水理ヲ問フ、

秩父山ヨリ出ル河ヲ荒川ト云ヒ下流ハ隅田川ナリ、國ノ北邊ヲ圍リ南シテ
入間(イルマ)川ヲ合セ、東京ヲ通過シテ海ニ入ル昔ハ此川ヲ以テ武藏下總
ノ國境トセリ、其東ニアリテ並ビニ海ニ入ルモノヲ中川ト云フ、又其ノ東
利根川ヨリ分レテ南ニ流ルモノヲ江戸川ト云フ之ヲ總武ノ國界トス、玉
川モ亦秩父山ヨリ發源シ、南方ヲ貫穿シテ東シ海ニ入ル、六郷川(ロクガ
ウ)ハ其下流ナリ、此ノ川、清潔ナルガ故、中途ヨリ引キテ東京ノ水道ニ
供ス此レ等ノ諸川ハ皆平野ノ間ヲ流ルルヲ以テ流勢緩ニ、水量多ク、特ニ
隅田川、江戸川ニハ小蒸氣船ノ往來アリ、

(二〇四) 東京ヲ中心トセル六街道ヲ記セ、

東京ヨリ諸國ニ至ル國道六アリ、一、東海道、相模ヨリ伊豆ニ入り海岸ヲ
經テ西京ニ至ルモノ、二、甲州街道、甲斐ニ入ルモノ、三、中山道、上野
信濃ヲ經テ美濃ニ入ルモノ、四、奥州街道、舊奥州ヲ經テ本土ノ北端ニ至

ルモノ、五、水戸街道、水戸ニ至ルモノ、六、房總街道又ノ名下總街道、
二總ヲ經テ安房ニ至ルモノ是レナリ、

(二〇五) 武藏ノ郡名ヲ舉ゲヨ、

荏原(エバラ)豊多摩、北豊島(トシヨ)、南足立(アダチ)、南葛飾(カツシ
カ)、西多摩、南多摩、北多摩、久良岐(クラキ)橘樹(タチバナ)都築(ツ、
キ)、北足立、入間、比企(ヒキ)、秩父(チチブ)、兒玉、大里(オホサト)
北埼玉(サイタマ)南埼玉、北葛飾、

(二〇六) 東京ノコトヲ記セ、

東京ハ皇居ノアル地ニシテ世界第六位ノ大都會ナリ、東、西、北ハ關東ノ
沃野ニ連ナリ南ハ東京灣ニ臨ム、足利氏ノ時、太田道灌此ノ處ニ城キ、徳
川氏、覇府ヲココニ開キテ二百五十年間ノ繁昌ヲ致シ、明治ノ御代ニ至リ
諸省、諸院、帝國議會、東京帝國大學、東部都督部、近衛師團第一師團等
皆ココニ集マリ、會社、工場、學校、病院、神社佛閣、殆ト算スベカラズ
電信線、電話線ハ蛛網ノ如ク敷設セラレ、電燈、瓦斯燈ハ大路ニ設ケラレ
陸運、海運共ニ能ク備ハリ、實ニ我邦政治、宗教、交通、商業、工業、文

藝、學術ノ中心タリ、市街ハ東西三里南北四里、之ヲ十五區ニ分ツ、公園
ニ上野、淺草、芝、深川アリ、其ノ他遊覽ノ地隅田川ノ左岸ニ向島(ムカ
ウジマ)アリ、又飛鳥山、龜井戸、瀧ノ川アリ工業ノ著シキモノハ蒔繪、
籠甲細工、錦繪、綿糸、西洋紙、ビール、裝飾品其ノ他工藝品、器械等ト
ス、

(二〇七) 東京天文臺ノ緯經度ヲ問フ、

北緯三十五度四十一分、東經百三十九度五十分、

(二〇八) 横濱ノコトヲ記セ、

横濱ハ東京ノ西南十里ニアリ、神奈川縣廳ノアル所、海路ニヨリテ東京ヲ
出入スルモノハ必ス此ニ發着ス郵船ハ全國ニ定期航海ヲナシ、外國航路ハ
ココヲ發着点トシテ東ハ米國ニ至リ、西ハ神戸ヲ經テ支那、韓國、露領浦
捕及ビ西洋ニ至ル、輸出入品ハ茶、生糸、石油、砂糖、機械諸雜貨ニシテ
我國最盛ノ貿易港ナリ、南ニ斗出シタルヲ本牧ト云フ、

(二〇九) 名邑ヲ問フ、

八王子ハ甲武鐵道ノ沿線ニアリ養蠶ト絹布トニ有名ナリ、川越、及青梅(

アウメ)モ鐵道線路ニ沿ヒ、青梅ハ綿、川越ハ甘藷ノ産アリ、浦和ハ埼玉縣廳ノアル所、之ヨリ大宮ノ近傍ハ二子縞ヲ産ス、熊ヶ谷ハ熊谷直實ノ墳墓ノ地、川口ハ鑄物、大森ハ海苔及梨實ヲ産ス其ノ他、品川、新宿、王子板橋、千住等皆、昔ヨリ名ヲ知ラレシ土地ナリ、

(二一〇) 物産ヲ問フ、

茶、繭、生糸、米、大麥、大豆、烟草、果物、海苔、秩父絹(秩父山ノ近傍ヨリ)八王子織、雙子縞、銅器、鐵器、漆器、硝子、紙、錦繪、

安房誌

(二一一) 境域ヲ問フ、

安房ハ本州ノ東南隅ニアリ、北ハ上總ニ接シ東西南三方海水ヲ環ラス、

(二一二) 國中ノ山河ヲ説ケ、

小河十余流、三面皆海ニ向フテ注グ東流スルモノ加茂川、曾呂川、丸山川アリ西流スルモノ湊川、佐久間川、保田川アリ西北ニ高山アリ鋸山ト云ヒ山嶺鋸齒ノ如ク、山上十國ヲ見ルベシト云フ、其ノ東ニ横根峠、花立峠、清水山、岩光山アリ、

(二一三) 郡名ヲ問フ、

安房、

(二一四) 市邑ヲ記セ、

小湊(コミナト)ハ日蓮上人ノ誕生地ニシテ隨テ房總ニハ日蓮宗昌ナリ、北條、館山ハ共ニ氣候温和、遊人多シ共ニ里見氏ノ遺跡アリ、南端ニ野島崎アリ、

(二一五) 物産ヲ問フ、

鱒其ノ他海魚、海草、房州沙、

上總誌

(二一六) 境域ヲ問フ、

上總ハ南、安房ニ界シ東、太平洋ニ面シ西、武藏ト海ヲ隔テ、一大灣ヲナシ北、下總ニ界スル處、西南ヨリ曲折シテ東北ニ至ル、

(二一七) 地勢ヲ問フ、

地形、南ニ廣クシテ北ニ狹シ、國中小丘原野多ク、其ノ土ハ塗泥ニシテ、天雨フレバ殆ト行クベカラズト云フ、西濱ノ富津崎ハ海門ノ咽喉ニシテ東

濱ノ大東崎ヨリ下總ノ足川ニ至ル一帯ハ九十九里ケ濱ト云ヒ關西及ヒ支那ニ輸出セラルル干鰯(ホシカ)ハ爰ヨリ出ヅ、

(二二八) 國中ノ諸山ヲ記セ、

西南ニ鹿野山(カノウ)、鬼涙山、アリ東南ニ小野峰、澤山、元清澄(モトキヨスミ)大石アリ、皆鋸山ト相連絡ス、

(二一九) 諸水ヲ記セ、

大多喜川ハ東南ヨリ發源シ北流シテ大多喜ニ至リ東ニ折レテ海ニ入ル、其ノ北ニ一ノ宮、白龜、栗山ノ諸川アリ、西流スルモノニ湊小糸、久留里、養老、村田ノ諸川アリ、久留里川ハ元清澄山ノ東邊ニ出テ水源ヤヤ遠シ

(二二〇) 郡名ヲ問フ、

君津、夷隅(イヌミ)、市原、長生(ナガフ)山武(ヤマブ)

(二二二) 市邑ヲ説ケ、

木更津(キサラツ)ハ東京灣沿岸ニアリ、コノ國第一繁昌ノ地ニシテ小汽船ハ東京ニ發着セリ、房總鐵道ハ九十九里ケ濱ニ向ヒテ架セラル、

(二二三) 物産ヲ問フ、

鰯其ノ他海魚、鰹節

下 總 誌

(二二三) 境域ヲ問フ、

下總ハ南、海水ヲ控ヘ武藏上總ヘ連テテ環ノ狀ヲナス東南、上總ニ矩接シ、以テ東北、海ニ距ル北ハ利根川ヲ以テ常陸ト界シ西ハ武藏ニ接ス西北隅ニ餘地アリ其形、恰モ人拳ノ如シ、

(二二四) 地勢ヲ問フ、

此ノ國ハ關東平野ノ部分ニシテ舉國山岳ナク河沼多シ特ニ古來有名ノ牧場ニシテ武藏ニ近キ小金原(コガチガハラ)習志野(ナラシノ)ハ今開墾セラレテ農産物ノ多量ヲ出ス、

(二二五) 湖沼ヲ記セ、

印幡沼ハ國ノ正中ニアル大湖ニシテ、南北七里、東西一里、南方ノ水多ク之ニ會注ス、西ニ手賀沼アリ、東ニ長沼アリ皆印幡沼ノ五六分ノ一ニ過ギズ、

(二二六) 利根川ヲ記セ、

○日本地理問答

利根川ハ東海道第一ノ大河ニシテ俗ニ阪東太郎ト云フハ是レナリ、源ヲ上野文珠山ニ發シ上野武藏ノ國境ヲ貫キ下總ノ關宿ニ至リテ支流江戸川ヲ分チ本流ハ南東ニ流レ鬼怒川(キヌガハ)小貝川ヲ合シ下總ノ取手ニ至リコトヨリ正東ニ流レ多クノ小流及印幡沼等ノ水ヲ併セ常、總ノ境ヲナシツ、銚子港ヨリ海ニ注グ、全長七十一里河口ノ幅一里ニ達シ關宿(セキヤド)マデハ小汽船ヲ通スベシ江戸川ハ總武ノ國界ヲナシ行徳ヲ經テ東京灣ニ注グ、

(二二七) 郡名ヲ問フ、

千葉、東葛飾(カッシカ)印幡、(インバ)香取(カトリ)匝瑳(サフサ)海上(ウナガミ)結城(ユツキ)猿島(サシマ)北相馬(サウマ)

(二二八) 市邑ヲ記セ、

千葉ニ千葉縣廳アリ東京灣ニ臨ミ、鐵道ノ便アリ、佐倉ハ維新前ニ西洋流ノ理學、武術ヲ輸入セラレ著名ノ學者ヲ出シ又佐倉宗吾ト佐倉炭トニテ名高シ、江戸川ノ沿岸ニハ醬油ニ名高キ野田、味淋ニ名高キ流山(ナガレヤマ)塩ニ名高キ行徳(ギヤウトク)アリ、結城ハ拳形ノ地ノ北隅ニアリ紬、木綿ヲ産ス、古河(コガ)ハ其ノ西隅ニアリ關宿ハ其ノ手頭ニ當ルベシ、銚

子ハ利根ノ河口ニアリ、銚子縮ヲ産シ又漁利アリ、銚子節ハ産額頗ル多シ其東端ヲ犬吠崎(イヌボウガサキ)トス、佐原ノ酒モ名アリ、

(二二九) 物産ヲ問フ、

馬、鹽、味淋、醬油、佐倉炭、銚子縮、結城木綿、鯉節、

常陸誌

(二三〇) 境域地形ヲ問フ、

南、下總ニ界シ東、太平洋ニ面シ、北、磐城ニ界シ、西下野ニ隣リ、畷々長方形ヲナス而シテ其西南ノ地、西方ニ凹出シ以テ下總ノ拳形ノ地ト相錯ハレリ、東南一角、海中ニ伸出ス、

(三三一) 地勢ヲ問フ、

東南水郷多ク、西北山村多シコレ南方ハ利根川ノ流域ニシテ關東平野ノ一部ヲ爲シ、北ハ阿武隈(アブクマ)山脈ニ連リ、關東ノ東北端ヲナセハナリ

(三三二) 諸山ヲ記セ、

阿武隈山脈ノ陣頭ニアルハ筑波山(ツクバヤマ)ニシテ東京ヨリ之ヲ望メバ富士ト相對スルガ如シ其ノ北ニ蘆穂山(アシオサン)加波山(カバサン)アリ

又北、下野ノ鳥ノ子山アリ其ノ北隅ニ八溝山(ヤミツヤマ)アリ、其ノ南ニ男躰山、月折山(ツキノラレヤマ)アリ、月ノ折ノ下ニ袋田ノ温泉アリ、北方海岸ニ高鈴、神御子諸山アリ、真弓山ハ寒水石ヲ産ス、

(二二三三) 水理ヲ問フ、

小貝川ハ下野ヨリ來リ西南凹字ノ地ニ從フテ回リ、利根ニ會ス、利根ニ近ク霞ケ浦アリ、筑波山ヨリ落ツル水ハ皆之ニ集リ、更ニ利根川ニ注グ、其ノ大キサ琵琶湖ニ次ギ日本第二ノ湖ト云フ西ニ向ヒテ三泌アリ、コノ湖ハ地變ニヨリテ入海ノ湖トナリシ者トシ坤位ニ當リテ牛久(ウシク)沼アリ、小流之ニ入り又之ヲ出ツ、霞浦ト湖海ノ間ニ北浦アリ、南北甚ダ長ク南北甚ダ狭シ、其ノ水ハ又利根ニ入ル、北浦ノ北ニ涸沼(ヒヌマ)アリ次ニ千波沼(センバ)アリ兩所ノ水ハ共ニ那珂川(ナカ)ニ合ス那珂川ハ下野ニ發源シ常陸ヲ横斷ス、久慈(クシ)川ハ盤城ヨリ發源シ南ニ馳セテ月折、男体、金沙(カナサ)山ノ西ヲ過ギ那珂川ノ北ニ至リテ海ニ入ル、最北ニ大北川アリ

(二二三四) 郡名ヲ問フ、

東茨城(イバラキ)西茨城、那珂、久慈、多賀(タガ)鹿島(カシマ)行方(ナ

マカタ)新治(ニヒバリ)筑波(ツクバ)稻敷(イナシキ)眞壁(マカベ)

(二二三五) 市邑ヲ説ケ、

水戸市ハ那珂川ノ南岸ニアリ、茨城縣廳アリ鐵道アリ、モト徳川三家ノ一ナル水戸家ノ舊城地ニシテ光圈、齊昭、東湖等ノ明君賢相ヲ出シシ所ナリ弘文館、偕樂園等ノ遺跡アリ、那珂湊ハ那珂川口ニアリ、石岡、土浦ハ霞ケ浦ニ接シ酒、醬油ヲ産シ、土浦ノ西北ニ笠間アリ笠岡ノ西南ニ下館(シモタテ)アリ土浦ヲ合セテ鼎足ヲナス、太田ハ光圈穩棲ノ地ニシテ煙草ノ名産アリ、盤城ノ境上ナル勿來關(ナッコノセキ)ハ地勢頗ル險ニシテ八幡公ノ舊址アリ、鹿島ニ鹿島神社アリ其ノ前面ノ海ハ鹿島灘アリ、

(二二三六) 物産ヲ舉ゲヨ、

煙草、蕎麥、綿、漆、大理石、海魚、

東海道概略

(二二三七) 境域ヲ問フ、

東海道ハ西南畿内及南海道ニ接シ東南、太平洋ニ面シ北方一帶、東山道ト相依附ス、

(二三八) 經緯度ヲ問フ、

北緯二十四度十四分南島ニ起リ三十六度五十六分ニ至リ東經百三十六度十四分ヨリ百四十一度八分ニ至ル、

(二三九) 延長幅員人口ヲ問フ、

東西百二十里、南北三十里餘面積二千六百五十八方里、人口九百八十四万人、

(二四〇) 區劃ハ如何、

天然ノ地形ニヨリ十五國ニ分チ、邦政上ヨリ一府八縣ニ分ツ、

(二四一) 地勢ヲ問フ、

東海道ハ東西ニ延長シテ南北ニ短少ナリ前ハ海ニ臨ミ後ハ山ヲ負ヘリ、西端ナルハ伊賀伊勢志摩ニシテ南東隅ナルハ常陸ナリ、中央及ビ南西ハ群山ノ連亘スルアレドモ其ノ他ハ概シテ平地ニ富ム、

(二四二) 山脈ヲ問フ、

伊勢ニハ紀伊山脈、鈴鹿山脈アリ、三河ニハ木曾山脈アリ駿河ニハ赤石山脈アリ甲斐ニハ關東山脈、常陸ニハ阿武隈山脈アリ富士帶火山脈ハ南琉黃

島ニ起リ北、甲斐ヲ經テ越後ニ至リ本州ヲ横斷ス、山脈ヲ欠クハ濃尾平野ト關東平野トナリ、

(二四三) 海岸線ヲ問フ、

南方、太平洋沿岸ハ屈曲甚多ク志摩ト三河トノ間ハ伊勢ノ海ヲナシ其中間ニ尾張ノ知多半島アリ、遠江ノ海岸ハ御前崎突出シ伊豆半島ト駿河灣ヲ擁シ、伊豆半島ノ東ハ相模灘ニシテ三浦半島ト房總半島トハ相對シテ東京灣ヲナス、大東崎以北ハ彎形ヲナシ犬吠崎ニ至ル、

(二四四) 氣候ハ如何、

氣候ハ概シテ温和ニシテ寒暖其ノ宜キヲ得タリ、而シテ地勢ハ南受ケニ加フルニ黒潮ノ暖流ニ浴スルヲ以テ伊勢ノ二見ヶ浦ヨリ伊豆ノ館山ニ至ルマテ避暑、避寒ノ養生地イト多シ、但シ豆南諸島ハ炎熱ヲ感ス、

(二四五) 火山ヲ問フ、

富士山、三原山(大島)甕峰(八丈島)八岳(甲斐)大寶山、天城山(伊豆)、

(二四六) 河流ノ方向ヲ問フ、

本道ハ北ニ山ヲ負フヲ以テ大河ハ概シテ東山道ニ發源シ其ノ他ノ河流ト雖、

多クハ北方ノ山中ニ發源シテ南流シ、太平洋ニ注グ但、伊勢、志摩ノ水ハ東流シテ伊勢海ニ入り伊賀ノ水ハ西流シテ大阪灣ニ朝ス

(二四七) 人民ノ生業如何、

濃美及關東平野ノ如キ地勢平坦、地味肥沃ノ所ニハ農ヲ業トシ、甲斐、武藏ノ山間ニハ養蠶、紡績ニ從事シ、駿河伊勢ニハ製茶ヲ業トシ房總ノ如キ海岸ニハ漁業ニ從ヒ、東京、名古屋ハ工商ノ要地タリ、

(二四八) 人情ハ如何、

概シテ敏慧ナリ、東北ハ武斷ノ風アリ、東京人ノ任俠、甲斐人ノ剛強ハ其著シキモノ、名古屋以東ハ上方風ニシテ伊勢人ハ最モ、勤儉ノ徳ニ富メリ

(二四九) 本道ノ鐵道ヲ問フ、

東海道鐵道ハ岐阜ヨリ名古屋ニ至リ、熱田、大府、岡崎、豊橋、濱松、静岡、沼津、三島、御殿場(ゴテンバ)國府津(コフツ)大船、横濱、品川ヲ經テ西京ニ通ズ、幹線ヨリ分岐スルモノニ大府ヨリ知多半島ノ龜崎、半田、武豊ニ至ルモノアリ、大船ヨリ鎌倉、豆子(ツシ)横須賀ニ達スルモノアリ、而シテ中央線ハ今、

名古屋ヨリ知多見ニ通テ、追テ信濃、甲斐ヲ過ギテ西京ニ出テントス、豊川鐵道ハ豊橋ヨリ豊川、一ノ宮、新城ヲ經テ大海ニ至ル、豆相鐵道ハ伊豆ノ三島ヨリ大仁(オホヒト)ニ達シ、關西鐵道ハ名古屋ヨリ西、蟹江、彌富桑名、四日市、龜山、柘植(ツグケ上)野ヲ經テ山城ニ入り其ノ支線ノ一ハ柘植ヨリ沂江ニ向ヒ、一ハ龜山ヨリ南一身田ヲ經テ津ニ至リ參宮線ニ連絡ス參宮鐵道ハ津ヨリ起リ、阿漕、松阪、宮川ヲ經テ山田ニ至ル、尾西鐵道ハ關西線ノ彌富ヨリ北、津島、萩原ヲ經テ新一宮ニ至ル、次ニ東京附近ヲ舉ゲンニ、總武鐵道ハ東京、船橋、千葉ヨリ東、佐倉、成東、八日市場、銚子間ヲ連結シ成田鐵道ハ佐倉ヨリ成田、滑川ヲ經テ佐原ニ至リ、房總鐵道ハ千葉ヨリ南、大網、本納、一ノ宮、大原間ヲ結ビ、甲武鐵道ハ東京、新宿、國分寺、立川、八王寺ニ至リ更ニ甲斐ニ向ハントシ青梅鐵道ハ其立川青梅、日向和田間ヲ、川越鐵道ハ其ノ國分寺ヨリ北川越ニ向フ、日本鐵道ハ一線ニ東京、赤羽(アカハチ)浦和、大宮、熊谷ヲ經テ上野高崎ニ向ヒ、一線ハ東京、田端、千住、我孫子(アヒコ)取手、牛久、土浦、友部、水戸勿來ヲ經テ磐城國ニ入り、一線ハ大宮ヨリ分岐シテ久喜、古河ヲ經テ下野

國小山ニ來リ更ニ小山、友部間ヲ連絡ス、而シテ東武鐵道ハ久喜、千住間ヲ結ビ大田鐵道ハ水戸、大田間ヲ結ブ、

東山通

近江誌

(二五〇) 境界ヲ問フ、

近江國ハ北、越前ニ界シ東、美濃伊勢ニ接シ南、伊賀ニ交ハリ西、山城丹波及ヒ若狹ニ隣ル、

(二五一) 地貌ヲ問フ、

地形南ヨリ北ニ向ヒテ長圓形ヲナシ而シテ東北一角ヲ張出ス、

(二五二) 國名ノ由來ヲ問フ、

近江ハ淡海(アハウミ)ノ義ニシテ琵琶湖ヨリ其ノ名ヲ得シナリ、

(二五三) 地勢ヲ問フ、

四周皆山ニシテ南方ニ勢田川ノ落口アルノヨ、即西、山城ノ境ニハ比叡ト笠置トノ山脈アリ、北、北陸道ノ境ニハ中國山脈蟠リ、東、美濃ノ境ニハ

鈴鹿山脈連續ス而シテ此ノ諸山ノ水ハ悉ク琵琶湖ニ注クナリ、

(二五四) 諸山ヲ記セ、

南方ニ三上(ミカミ)山アリ甲賀山アリ、凡テ湖南ノ諸山ハ笠置ヨリ續ケル花崗石質ニシテ黃玉、黒水晶等ノ寶石ヲ出ス、西境ニハ比叡山アリ比良山アリ、北方ニ賤ガ岳、三瀬山、中尾峠諸山アリ、賤ガ岳ハ賤ガ岳七本槍ノ古戰場ナリ、東方ニハ伊吹山ア。艾(モグサ)ニ名高シ又磨針峠アリ、養老山ニ連ル、

(二五五) 諸水ヲ記セ、

近江ノ諸水ハ一タヒ琵琶湖ニ注入シ、勢田川トナリテ山城ニ流出ス注入スル河川ハ南方ニ横山川アリ、西流シテ湖ニ入り西北方ニ阿戸川アリ百々瀬川アリ、湖ノ東北、余吾湖ヨリ發源シ賤ガ岳ノ東南ヲ繞ルヲ余吾川ト云フ其ノ南ヨリ湖ニ入ルヲ姉川トス順次、犬上川、愛智(エチ)川、横關川ノ諸水アリ、

(二五六) 琵琶湖ヲ記セ、

琵琶湖ハ其ノ形ノ琵琶ニ似タルヲ以テ此ノ名アリ、即チ、南方ハ轉手ニシ

テ北方ハ其ノ胴ナリ、胴部ハ渺茫トシテ、波浪高ク、中ニ竹生島アリ辨財
天ヲ安置ス、周圍六十里、實ニ日本第一ノ大湖ナリ、史ニ稱ス孝靈天皇ノ
御代(紀元三百年代)一夜ニ此ノ湖ヲ生シ同時ニ富士山ヲ現出セリト湖中ニ
ハ多クノ魚ヲ産シ周圍ノ平地ハ肥沃ニシテ所謂近江米ヲ産ス、

(二五七) 東近江、西近江トハ如何、
湖東ハ地、稍々廣シ之ヲ東近江ト云ヒ湖西ハ地、稍々狹シ、之ヲ西近江ト
云フ、

(二五八) 郡名ヲ舉ゲヨ、

滋賀(シガ)栗太(クリモト)神崎(カンザキ)阪田、甲賀(カフガ)、犬上(イ
ヌガミ)野洲(ヤス)愛知(エチ)東淺井、蒲生(ガマフ)、伊香(イカ)、高島
(二五九) 市邑ヲ舉ゲヨ、

大津ハ東海道鐵道ニ沿ヒ、湖水ノ西南隅ニ位シ、當國一ノ都會ニシテ人口
二万八千滋賀縣廳ノアル所ナリ、勢田ノ長橋ハ勢田ニアリ、草津ハ東海、
東山驛路ノ追分ナリ、信樂(シガラキ)ハ伊賀ニ近ク、宇治ニ亞ケル茶ノ産
地ナリ、彦根ハ東方ノ湖邊ニアリ人口二万井伊大老ノ居城ノ址アリ、長濱

ハ濱縮緬ノ產地ニシテ彦根ノ北ニアリ、野洲川ノ附近ハ晒布ノ產地ニシテ
其ノ東方ハ蚊帳ノ本場ナリ、

(二六〇) 近江八景トハ如何、

琵琶湖畔ニアリ三井ノ晚鐘、粟津ノ晴嵐、石山ノ秋月、幸崎ノ夜雨、勢多
ノ夕照、比良ノ暮雪、堅田ノ落雁、矢橋ノ歸帆コレナリ、

(二六一) 物産ヲ問フ、
米、茶、烟草、艾、鯉、鮒、縮緬、晒布、蚊帳、信樂燒、

(二六二) 近江人ノ氣質ヲ問フ、

コノ國ノ人ハ一種ノ忍耐ト勇氣トヲ有シ利殖ニ長シ近江商人ノ名、世ニ高
シ、然レモ近江聖人モ亦コノ國ノ人ナリ、

美濃誌

(二六三) 境域ヲ問フ、

東信濃ニ界シ、東南三河ニ接シ南境一帶、尾張ノ彎ヲ受ケ西南伊勢ニ界シ
西ヨリ北ニ至リテ近江越前ニ界シ而シテ東北飛驒ヨリ斗入ス故ニ其ノ形、
破レタル扇面ノ如シ、

(二六四) 地勢ヲ問フ、

東西北ノ三方山河ヲ環ラシ内ハ甚ダ平坦ニシテ所謂濃美平野ノ一部ヲナシ其ノ田ハ上ノ上、所謂美濃米ノ產地ナリ、而シテ全國到ル所トシテ村落ナラザルハナシ、

全國ノ川流甚タ多ク大抵本會川ニ會シテ伊勢海ニ注ク、而シテ河流ハ概テ急ニシテ暴水ノタメニ氾濫ノ害ヲ受クルコト夥シ、

(二六五) 濃尾大地震トハ如何、

明治二十四年濃尾ノ地、大震災アリコノ國ハ其ノ震源トシテ非常ノ慘害ヲ受ケ死者五千人、傷者一万人、潰家十万户モアリキ而シテ其原因ハ地ニナリ、地ニシテ地震トハ地下ノ岩石層ガ移動シタルガ爲メニ非常ノ震動ヲ起スモノナリ、

(二六六) 山河ヲ説明セヨ、

東境ニ惠那山アリ、此ノ際ヨリ信濃ニ至ルマデ山中良材多シ、惠那山ノ北信濃ヨリ來ル水ヲ本會川トス、西ニ向ヒテ馳セ、飛驒ヨリ扇ノ破處ニ入ル飛驒川ヲ合セ、南境ニ沿ヒテ馳ス長良(ナガラ)川ハ東北境ノ一池ヨリ發シ

數流ヲ合セ岐阜ノ北ニ來リ又南北ノ諸水ヲ合セテ本會川ニ入ル、コノ川ノ鮎漁ハ鶺鴒ノ古風ヲ存シ遊覽士多シ、揖斐(イヒ)川ハ西北ヨリ大垣ノ東ニ來リ細流ヲ合セ尾張伊勢ノ間ニ入ル、コノ流域ハ水害、震災ノ最モ甚シカリシ處ナリ、

(二六七) 郡名ヲ擧ゲヨ、

稻葉、羽島、海津、養老、不破、安八(アンパチ)、揖斐(イヒ)本巢(モトス)山縣(ヤマガタ)武儀(ムギ)郡上(クンシヤウ)加茂、可兒(カニ)土岐(トキ)惠那(エナ)

(二六八) 都邑ヲ記セ、

岐阜ハ長良川ノ水域ニアリ人口三万余、岐阜縣廳ココニアリ、岐阜、提灯岐阜團扇、油團(ユトン)等ノ紙製品アリ、コレ長良川ノ上流地方ヨリノ美濃紙ノ供給自由ナルニヨルナラン、岐阜ノ西南ニ大垣アリ其ノ西ニ垂井、關ヶ原アリ、關ヶ原ハ徳川氏ノ古戰場ニシテ不破ノ關ノ原ト云フ意ナリ、蜂屋ハ本會河北ニアル加茂郡ニアリテ柿ノ本場ナリ、

(二六九) 此地方陶業地ノ系統ヲ問フ、

○日本地理問答

木曾山脈ノ花崗石質ハ木曾川ノ南ヨリ三河、尾張ニ連亘シタレバ當國モ三河及ヒ瀬戸ト同シク陶器ヲ多額ニ産出ス美濃焼是レナリ、産出ノ多額ナルコト全國第一ニシテ其ノ質清白、價格低廉ナルモ世、多クハ瀬戸焼ト相混セリ、

(二七〇) 物産ヲ擧ゲヨ、
米、茶、錫、柿、饅、鱈、鮎、紙、團扇、油團、陶器、

飛 彈 誌

(二七一) 境域ヲ問フ、

東、斜ニ信濃ニ接シ、北、越中ニ彎入シ西、斜ニ加賀、越前ニ界シ、南方美濃ニ角入ス、即扇頭ノ破處ナリ、

(二七二) 地勢ヲ問フ、

國中山多クシテ殆ド平地ナク、西ト北トハ中國山脈ニ圍マレ、東、信濃ト界スル所ニ立山火山脈アリテ花崗石ノ山脈ト相交レリ、内地ハ地勢南北ニ分レ北ノ諸水ハ高原川、宮川、白川トナリテ越中ヨリ南ノ諸水ハ飛驒川ノ上流、益田川トナル、而シテ南北ノ分水界ハ位山ナリ、

(二七三) 四境ノ山ヲ記セ、

信越ニ界スル處ニ雙六、錫杖、硫黃、大峠、乘鞍等諸岳アリ、北ニ白木峰金剛岳アリ、加賀ノ境ニ障子山アリ、

(二七四) 郡名ヲ擧ゲヨ、

大野(オホノ)、益田、吉城(ヨシキ)、

(二七五) 都邑ヲ問フ、

高山ハ位山ノ北方ナル高原ノ中央、宮川ノ平谷ニ位スル一小都會ニシテ人口一万四千、山紫水明、小京都ノ稱アリ、近傍ヨリ一位細工、陶器、漆器ヲ出ス、北方ノ河畔ニ一二ノ名邑アリ、

(二七六) 物産ヲ擧ゲヨ、

生糸、銀、鉛、木材、漆、紬、

信 濃 誌

(二七七) 境域ヲ問フ、

北、越後ニ接シ其界東ニ足リテ西ニ乏シ、西ハ越中飛驒美濃ニ連ナリ、南ハ三河遠江ニ距リ東ハ甲斐武藏上野ニ接シ中間餘地ヲ抽ソツ、故ニ其地形

東ニ向フテ畧々、凸字ノ形ヲナセリ、

(二七八) 地勢ヲ問フ、

本邦第一ノ山國ニシテ山河險難、イハユル天府四塞ノ地ナリ即チ東ニハ富士帶火山脈アリ西ニ立山火山脈アリコノ兩山脈ノ間ヲ北流スルモノニハ東ニ千曲(チクマ)川アリ西方ニ犀川アリ、二川ハ又相合シテ北流ス、木曾山脈ハ國ノ南部中央ヨリ三河美濃ニ亘リ、其ノ東側ニ天龍川アリ西側ニ木曾川アリ天龍川ノ東ニ連亘スルハ赤石山脈ナリ木曾、犀兩川ノ谷ノ西ハ即立山火山脈ナリ、而シテ犀川流域ナル長野一帯ノ地方ハ信濃高原ノ最モ廣キ所ニシテ之ヲ善光寺平ト云ヒ田野善ク開ケタリ、

(二七九) 諸山ヲ記セ、

上野ノ境ニ飯窪、讓鐘(ニツカチ)岩松、赤石及乳山、吾妻、湯ノ丸諸山アリ、以テ淺間山ニ連ナル、淺間山ハ山頂常ニ烟ヲ發ス、淺間山ト妙義山トノ間ハ碓氷峠ナリ、昔、日本武尊ノ吾妻ハヤト歎シ給ヒシ處ニシテ是ヨリ東ハ吾妻ノ國ナリ、諏訪湖ノ東ニ藥師、地藏諸山アリ、其ノ北ハ山ヲ澁カ岳トス、岳麓ニ温泉アリ湖ト上田トノ間ニ和田峠、鉢伏山アリ越後ノ境ニ

中峰花立、山姥、鷹打、黒姫、高妻、戸隠諸山アリ、西方鎗ヶ岳ハ海拔一万二千六百尺、御岳、乗鞍等ノ山岳モ一万尺以上アリ御岳ハ行者(ギヤウシヤ)ノ登拜スル所ナリ、木曾山脈中ノ駒ヶ岳ハ海拔七千八百尺ニシテ其ノ北ニ蘆尻峠アリ、南ハ遠江ノ境ニ熊伏山、江儀岳等アリ、赤石山脈中ノ赤石山ハ一万百餘尺アリ、又甲斐ニ近ク荒川岳、地藏岳、前岳アリ、

(二八〇) 諸水ヲ記セ、

千曲川ハ東方ヨリ發シ西北ニ流レ上田、松代ノ南西ヲ過テ北流ス犀川ハ國ノ南方ニ發源シ北流數里、東ニ折レテ川中島、善光寺ノ間ヲ貫キ千曲川ニ會シテ北、越後ニ入ル此ノ二水、細流ヲ受クルコト甚多シ、天龍川ハ諏訪濃ヨリ源ヲ發シテ遠江ニ入ルコノ地方ハ寒氣甚ダシク冬日湖水ノ氷結スルトキハ人馬共ニ其ノ上ヲ通スベシ、木曾川ハ西南ニ發源シ、猶、西南ニ流レテ美湖ニ入ル、姫川ハ西北ニ發シ猶西北シテ越後ニ入ル、

(二八一) 郡名ヲ擧ゲヨ、

南佐久(サク)北佐久、小縣(チヒサガタ)諏訪(スハ)、上伊那(イナ)下伊那西筑摩(チクマ)東筑摩、南安曇(アツミ)北安曇、更級(サラシナ)埴科(ハ

ニシナ) 上高井、下高井、上水内(ミノチ)下水内、

(二八二) 都邑ヲ記セ、

長野市ハ信濃川ノ善光寺平ニアリ人口三萬一千、市内ノ善光寺ニハ參詣ノ道者織ルガ如シ、川中島トハ千曲川ト犀川トノ間ノ名ニシテ武田上杉ノ古戰場ナリ、上田ハ上田紬ノ産地、近傍ノ姨捨山(ヲバステヤマ)ハ月ノ名所ニシテ更級郡ハ蕎麥ニ名高シ、碓氷峠ノ麓ナル輕井澤(カルネザハ)ハ本州市邑中、最モ寒氣ノ烈シキ所ニシテ洋人ノ避暑スルモノ多シ、松代ハ佐久間象山ノ生レシ地、松本ハ國ノ中央松本平ニ位シ人口二萬八千、蠶州紙、生糸、織物ノ市場ナリ、松本平ハ昔、湖水ナリシト云フ、上下ノ諏訪ハ諏訪湖ノ周圍ニアリ製糸業殊ニ盛ニシテ工場多シ、コノ市街ヨリ出ヅル生糸ハ品質最モ齊一ナリ、伊那ハ天龍川ノ畔ニアリコノ谷ハ氣候最モ溫暖ニシテ禾木ノ發生ヨシ、飯田ハ伊那谷ニアリ、遠州ニ通スル要路ニ當リ、紙、傘、漆器ヲ産ス、木曾谷ノ福島ハ美濃街道ノ一商區ニシテ昔、木曾ノ棧橋(カケハシ)ノアリシ地ナリ、

(二八三) 木曾街道ヲ説明セヨ、

美濃ヨリ來ル中仙道ハ木曾谷ヲ上リ、松本ニ至リテ左右ニ分カレ、右ハ諏訪ニ出テ甲斐ノ甲府ヲ經テ笹子峠ヲ超エ八王寺ヨリ東京ニ達ス之ヲ木曾街道トス、

(二八四) 物産ヲ問フ、

生糸(一年産スル所ノ繭大凡三四十萬石、諸國ニ冠ダリ)蕎麥、石油、材木、漆、上田縞、漆器、

上野誌

(二八五) 境域ヲ問フ、

東ハ下野、南ハ武藏西ハ信濃、北ハ越後岩代ヲ以テ界トス、

(二八六) 地貌ヲ問フ、

信濃ト接スル所、一頭ヲ凸出シ東南ニ長尾ヲ掉出シテ尾頭下總ニ觸ル、地形アカエイノ如シ、

(二八七) 地勢ヲ問フ、

上野ハ北部ハ山地ナレドモ南部ハ一帯ニ平地ニシテ關東平野ノ一部ヲナセリ、即北境ナルハ三國山脈、其南方ナルハ那須火山脈或ハ中央火山脈ニシ

○日本地理問答

ヲ那須日光ヨリ連リテ榛名(ハルナ)ニ至レルナリ、而シテ利根川ハ當國ノ北ヨリ發シテ全國ノ水ヲ集メテ南下シユノ平野ヲ潤ホス、

(二八八) 諸山ヲ記セ、

西方、凸出ノ地、淺間山ノ東ニ碓氷峠アリ、西北ニ吾妻、万坐、白根諸山アリ、是ヨリ北、大藏岳、烏帽子岳、駒ヶ岳ニ連ナリ、以テ東北諸山ニ至ル、其清水峠、三國峠ハ越後ニ通スル山道ナリ、邦内東方ノ山ヲ赤城山ト云フ山中瀑布アリ、西南ノ山ヲ妙義山ト云フ、山中ニ石門四アリ上連ナリ下通ス實ニ鬼工ナリ、赤城、榛名、妙義、之ヲ上野ノ三山ト云フ、國ノ境場、東南ヲ除ク外、必ス三國相接スルヲ以テ其ノ山皆三國峠ノ名アリ、

(二八九) 諸水ヲ記セ、

利根川ハ國中ノ最大ナルモノニシテ國ノ極北ニ發源シ南流シテ前橋ヲ過ギ漸ク東シテ下總ニ入ル、片品川ハ東北ニ發シ西流シテ利根ニ會ス、吾妻川ハ西北ニ發源シ東流シテ亦利根ニ入ル、其南ニ烏川、碓氷川アリ、二水ハ東流シテ高崎ニ至リ合シテ一トナリ神流(カンナ)川ニ會シ而シテ後亦利根ニ入ル、神流川ハ即武藏ノ境ナリ、度良瀬川(ワタラセ)ハ下野ノ西境ヨリ

出テ流レテ弓様ヲナシ復下野ニ回り後利根ニ合ス、

(二九〇) 郡名ヲ擧ゲヨ、

勢多(セタ)群馬(グンマ)、多野、北甘樂(カンラ)碓氷、吾妻、利根、山田、新田、邑樂(オブラ)佐波、

(二九一) 都邑ヲ記セ、

前橋市ハ利根川ノ左岸ニアリ、生糸ノ大市場ニシテ人口三万二千、群馬縣廳アリ、高崎ハ中山道ノ要路ニアタリ、人口二万六千アリ、伊勢崎ハ銘仙ニ名高ク、桐生(キリフ)ハ西陣様ノ織物ニ名高シ、富岡ニハ製糸ノ大工場アリ、館林ニハ巨大ノ躑躅アリ、

温泉地トシテハ榛名ノ傍ナル伊香保、信濃境ナル草津、有名ナリ、

(二九二) 中山道街路ヲ説ケ、

中山道ハ近江草津ニオイテ東海道ト分岐スルヲ起端トシ高宮、柏原及美濃ノ太田、落合、信濃ノ本山、長窪、輕井澤、上野ノ高崎新町ヲ經テ武藏ニ入り熊谷浦和ヨリ東京ニ達スル百三十二里ノ街道ナリ、

(二九三) 物産ヲ問フ、

○日本地理問答

生絲(繭ヲ産スルコト一年二十万石)鐵、蠟石、石灰、安質尼、丹礬、麻、
桐生織物、伊勢崎銘仙、

八十六

下野誌

(二九四) 境域ヲ問フ、

西南、均ク上野ニ界シ、東下總、常陸ニ斜界シ、北又岩代磐城ニ斜接ス其
地形甕瓶(カメ)ノ如ク口、南ニ向フ、

(二九五) 地勢ヲ問フ、

上野ト同シク東西北ノ三方ハ山ニ圍マレ南部一帯ハ關東平野ノ一部ヲナス
過半ノ水ハ利根川ニ合スレドモ東部那須地方ノ水ハ那珂川トナリテ常陸ニ
入ル、實ニヤ那須嶽高原ノ那須野ハ地勢水理、自ラ關東平野ニ異ナリ、

(二九六) 那須火山脈トハ如何、

那須火山脈ハ一ニ中央火山脈ト云ヒ本州ノ北端ヨリ奥羽ノ中央ニ連亘シテ
脊梁ヲナシ常國ニテハ北境ノ活火山ナル那須嶽ヨリ日光ニ連リ榛名ニ進メ
ル一條ノ火山脈ニシテ淺間山ニ至リテ富士帶ニ合ス、

(二九七) 諸山ヲ記セ、

西南、足利ノ北、大岩山ヨリ十二ノ山、三峰山、地藏岳、庚申山ヲ經テ日
光山アリ、日光山ノ東照宮ハ徳川家康公ノ廟所ニシテ其ノ結構ノ美麗ハ遍
ク世人ノ熟知スル所ナリ、山上ニ湖アリ中禪寺湖ト云フ、火口湖ノ一ナリ
華嚴瀧ハ其吐口ニシテ直下四十丈幅十五間、此ノ他、猶、飛瀑數所アリ、
足尾銅山ハ日光ノ西南ニアリ、本邦第一ノ銅山ニシテ一年ノ産出量百万貫
ニ上リ世界ニテ第五六ノ位置ヲ占ム那須嶽ハ北境ノ活火山ニテ南方曠原ノ
那須野ニハ殺生石アリ、

(二九八) 諸水ヲ記セ、

國中ノ水、大小十余流アリ東南ニ向フテ流ル其ノ稍々大ナル者南ニ小倉川
黒川、姿川アリ三水合シテ一トナリ南行シテ下總ニ落ツ之ヲ思川ト云フ、
日光山中ヨリ出ヅル水ヲ大谷川(ダイヤ)ト云フ、衣川(キヌガハ)、西北隅
ヨリ來リテ之ヲ合セ南流シテ宇都宮ノ東ヲスキ常陸ニ注グ、又一水、東北
諸水ヲ合シ常陸ヲ串キ東海ニ朝ス之ヲ那珂川トス、

(二九九) 郡名ヲ擧ゲヨ、

足利(アシカガ)安蘇(アソ)上都賀(ツガ)下都賀、河内(カフチ)芳賀(ハガ)

○日本地理問答

八十七

鹽谷(シホヤ)那須、

(三〇〇) 兩毛トハ如何、

上野下野、古ヘ毛ノ國ト稱シ後分テテ上毛下毛トシ又上野下野ト改ム兩毛トハコノ二國ノ稱ナリ、

(三〇一) 都邑ヲ記セ、

宇都宮ハ朽木縣廳ノアル所、人口三万四千余、朽木ハ宇都宮ニ次グ市街ナリ、足利ハ織物ニ名高ク足尾ハ銅ヲ以テ名高シ、鹿沼(カヌマ)ニ麻ノ紡績會社アリ、宇都宮以南ノ諸郡ニハ多ク麻ヲ産シ真岡(マウカ)ハ宇都宮ノ東南ニアタリ同名ノ木綿ヲ出ス、小山ハ兩毛線ト東北線ト交接スル所ナリ、又塩原ハ温泉ヲ以テ名アリ、

(三〇二) 物産ヲ舉ゲヨ、

銅、漆、麻(全國第一ノ多額タリ)足利絹、真岡木綿、日光塗、

磐城誌

(三〇三) 境域ヲ問フ、

磐城國ハ足ノ形ノ如シ腓、東海ニ濱シ腿、常陸下野ヲ受ケ、膝ト脚ト踵ト

共ニ岩代ニ接シ指端羽前ニ觸レ蹠、陸前ヲ履ム、

(三〇四) 地勢平野ヲ問フ、

阿武隈山脈ハ海岸ニ並行シ國中ヲ貫キテ常陸ニ至リ西方、中央火山脈トノ間ニ一大溪谷ヲ成シ其ノ水ハ阿武隈川トナリテ磐城陸前ノ境ニ注グ阿武隈川ノ平野ト北上川ノ平野トヲ與ノ平野ト云フ、

(三〇五) 諸山ヲ問フ、

山ハ甚ダ高キモノナシ阿武隈山脈ノ靈山(リヤウゼン)ハ昔、北畠顯家ガ義良親王ヲ奉シテ據リタル嶮山ニシテ其城址尙存セリ、中央ニ大瀧根山、移嶽アリ、此ノ山脈中ニ石炭ヲ産ス、

(三〇六) 諸水ヲ記セ、

西部ノ諸水ハ集リテ阿武隈川トナリ北流シテ海ニ入ル東南ニ鮫川アリ其ノ北ニ鎌田川アリ南岸ヲ磐城平トス其ノ北ニ細流十餘派アリ木戸川、富岡川高瀬川等稍々大ナリ、

(三〇七) 郡名ヲ舉ゲヨ、

刈田(カリタ)伊具(イグ)亘理(ワタリ)東白川、西白川、石川、田村、石城

○日本地理問答

雙葉、相馬、

(三〇八) 都邑ヲ問フ、

白河ハ南境ニアリ馬ノ市場ナリ、城址ハ今ニ存シテ、戊辰ノ戦争ヲ追懷セシム、白川ノ關趾ハ町ノ東南三里ニアリ、東ニ棚倉アリ、三春地方ハ三春駒ノ產地ナリ、平(タヒラ)及ビ相馬ノ中村ハ常陸ヨリ來レル濱街道ニアリ白石ハ北方ニアリ温麵紙布ヲ出ス、國ノ東南、常陸ト共ニ小灣ヲ抱ク之ヲ平潟ト云フ港上勿來關(ナコソノセキ)ノ址アリ、

(三〇九) 物産ヲ舉ゲヨ、
生糸、馬、

岩代誌

(三一〇) 境域ヲ問フ、

東ハ磐城、南ハ兩野、西ハ越後、北ハ羽前ニ界ス、

(三一) 地形ヲ問フ、

西南餘地ヲ張出シ其ノ頭或ハ出テ或ハ入ル全國地形狗兒ノ坐スルガ如シ面北ニ向ヒ、腰ハ西ニ安ソズ、福島ハ輔(クチワキ)ニシテ若松ハ左肋ノ中央

ニアタル、

(三二) 地勢ヲ問フ、

中央ニハ中央火山脈國中ヲ貫キ、其ノ東ニハ阿武隈川ノ谷アリ西方一部ハ所謂會津平ナリ、

(三三) 諸山ヲ記セ、

國中ノ山、南ニ布引、天上、甲子、大熊、田代、帝釋、赤安アリ西ニ銀山大島嶽、鬼面山、御神樂山アリ北ニ飯豊(イヒデ)赤萌、吾妻、信夫安達太郎諸山アリ、磐梯山(バンダイ)アリ磐梯山ハ休火山ナリシカ明治廿一年ニ大破裂ヲナシ、山北ノ田畑殆ト一万町歩ヲ不毛ニセリ、半田山アリ銀ヲ出ダスヲ以テ名アリ、

(三四) 諸水ヲ記セ、

國中ノ水ハ阿武隈川ヲ以テ最大トス、國ノ東南ニ發水シ、境ニ沿フテ北流シ二本松、福島ヲスギテ磐城ニ入ル、磐梯山ノ南麓アル猪苗代(イナシロハ)ノ湖水ハ一千年前、磐梯山破裂ノ時陷落セシ所ナリ、國ノ東南ヨリ來ル水ヲ鶴沼(ツルヌマ)川ト云フ湖ノ水ト合シテ西北ニ流ル又、國ノ西南ニ

○日本地理同答

小湖アリ小瀬(ラセ)ト云フ、是ヨリ出ル水ヲ只見川ト云フ、曲折シテ北ニ流レ二川ノ水ト會シ西、越後ニ入ル則チ阿賀川(アカノガハ)是レナリ、

(三二五) 郡名ヲ舉ケヨ、

信夫(シノブ)伊達(ダテ)安達(アダチ)安積(アサカ)岩瀬、南會津、北會津耶摩(ヤマ)河沼(カハヌマ)大沼(オホヌマ)、

(三二六) 都邑ヲ記セ、

福島ハ阿武隈河畔ノ桑原ニ位シ、生糸蠶卵紙ノ市郷ナリ、人口一万七千、福島縣ノ所在地ナリ、中央火山脈ノ西、山間ノ一區劃ヲ會津地方ト云フ、若松ハ會津平ノ中心都會ニシテ戊辰ノ役、官軍ノ苦戰シタル所ナリ、會津蠟燭、會津陶器、會津漆器ヲ物産トス若松ノ北、六里山中ニ大塩村アリ此ノ地ニ塩井(シホツボ)アリ

(三二七) 物産ヲ問フ、

金、銀、鉛、芋、麻、木材、漆、會津塗、陶器、鐵器、銅器、

陸前誌

(三二八) 境域ヲ問フ、

南磐城、岩代ニ接シ西、羽前ニ隣リ、北、陸中ニ界シ稍々方形ヲナス而シテ東北、余地ヲ南北ニ抽ンズ、其ノ北方ハ東ニ海波ヲ受ケ其ノ南方ハ半島ヲナシテ西ニ大灣ヲ擁シ、以テ南境ニ連ナル、

(三二九) 地勢ヲ問フ、

中央火山脈、西方ニ連亘スレドモ東ハ太平洋ニノヅミ一帯ノ平野ハ所謂仙臺平野ニシテ田藤萬頃、所謂四十万石、ヨリナリ、陸中ヨリ來レル北上山脈ノ余勢ハ牡鹿半島トナリテ海中ニ突出シ西ニ大灣ヲ擁ス、

(三三〇) 諸山ヲ記セ、

西南隅ニ藏王山(ザウウヤマ)笹谷峠アリ西ニ三峰山、吹越山、(フキコシヤマ)西北隅ニ須金山(スガネヤマ)駒ヶ嶽アリ、而シテ金華山ハ牡鹿半島頭邊ノ一島ナリ、

(三三一) 諸水ヲ記セ、國ノ南方ニ名取川アリ、廣瀨川ト合流シテ東海ニ朝ス、鳴瀨川ハ西方ニ發水シ、南海ニ入ル、北上川ハ陸中ヨリ來リ諸水ヲ合シテ南流シ海ニ近キ處岐レテ二トナリ、一ハ南石卷(イシノマキ)港ニ注ギ一ハ東ニ落ツ、半島ノ北、小流二三アリ皆東流シテ海ニ入ル、

(三三二) 郡名ヲ舉ゲヨ、

柴田、名取、宮城、遠田(トホダ)栗原、登米(トヨマ)桃生(モ、フ)牝鹿(ラジカ)本吉(モトヨシ)黒川、加美(カミ)志田、玉造(タマツクリ)氣仙(ケセン)

(三三三) 都邑ヲ記セヨ、

仙臺市ハ南北ニ兩大河ノ灌域ヲ扣ヘ東北鐵道ノ要路ニアタリ本道第一ノ大都會ニシテ宮城縣廳アリ、第二師團司令部、第二高等學校、控訴院アリ、此ノ地ハ伊達氏三十二萬石ノ舊城地ニシテ林子平ハ此ノ地ノ人ナリ、仙臺平、銅器ノ名産アリ、石巻ハ北上河口ニアリ上流地方ノ物産輸出港ニシテ半島ノ内側ナル萩ノ濱ハ定期船ノ寄港所ナリ、雄勝ハ半島ノ外側ニアリ、其ノ他名取川ニハ埋木(ウモレギ)細工、氣仙ニハ柳行李ヲ出ス、鹽竈モ松島灣内ノ一要港ナリ、仙臺ノ東、名勝多ク宮城野、壺碑、玉川、末ノ松山等アレドモ、名勝トシテハ松島ヲ推ス、松島ハ鹽竈ト共ニ松島灣ニアリ、灣内ニハ八百八島、星ノ如ク散布シ、日本三景ノ隨一ナリ、

(三三四) 金華山邊ノ時候ハイガン、

寒冷ナル親潮ハ牡鹿半島ノ尖端ノアタリニ其ノ勢力ヲ逞クスルヲ以テコノ山ノ内外ハ著シク時候ニ差異アリトイフ、

(三三五) 物産ヲ問フ、

生糸、米埋木、鮪(シビ)海參(イリコ)鮭(サケ)仙臺平、雄勝石(石板又ハ硯石トナスベシ)

陸 中 誌

(三三六) 境域ヲ記セ、

南東、共ニ陸前ニ界シ東ハ北半、海ニ距ル、西ハ羽後ト一線經界ヲ立テ北ハ陸奥ノ方形ヲ受ケテ左右ニ長角ヲ伸出ス全國地形牛首ノ如シ、此ノ國ハ全國中最モ大ナル國ニシテ東西四十里、南北六十里、面積大凡一千方里アリ、

(三三七) 地勢ヲ問フ、

西ニハ中央火山脈連亘シ中央ニハ之ニ並行シテ北上山脈アリ、兩山脈ノ間北上川ノ流域ハ南部地方ニシテ平地多ク耕作開ケ、南部米ヲ産ス、北上山脈ノ東ハ之ヲ外南部(ソトナンブ)ト云フ、外南部ハ花崗石ヲ顯ハセル高原ナリ、西北隅ノ鹿角郡(カツノ)ハ地勢水理共ニ羽後ニ屬ス、

○日本地理問答

(三二八) 諸山ヲ記セ、

西南隅ニ達谷窟(タガヤ)創山、桑原嶽アリ其ノ北、經塚駒ガ岳ヨリ、南部富士ノ名アル岩手山(岩鷲山)(カンシユサン)七時雨山ニ至ル、角地ノ尾去澤(ヲサルザハ)ニハ有名ナル銅山アリ、東ニハ種市(マチイチ)折爪、姫神貝良木(カヒラギ)藪川、早池(サウチ)薬師諸山アリ、而シテ仙人峠ヨリハ良質ナル鐵鑛ヲ多量ニ出ス、

(三二九) 諸水ヲ記セ、

北上川ハ北上山ニ發水シ盛岡ヲ過ギ西、豐澤、和賀、膽吹、衣川諸水ヲ合セ南ニ馳セラ陸前ニ入ル、衣川ハ辨慶ガ立往生ノ昔話ニ名高キ所ニシテ此ノ邊ニ當時ノ古跡多シ、此ノ外、外南部ノ諸水ハ各々太平洋ニ直入ス、

(三三〇) 郡名ヲ擧ゲヨ、

岩手、紫波(シハ)稗貫(ヒユメキ)和賀(ワカ)江刺(エサシ)西磐井、東磐井、膽澤(イザハ)上閉伊、下閉伊(ヘイ)九戸(クノヘ)鹿角(カヅノ)

(三三一) 都邑ヲ記セ、

盛岡ハ北上川流域ニアリテ岩手縣廳アリ、南部縮緬、南部釜ヲ産ス、川ヲ

隔テ、厨川アリ前九年ノ古戰場ナリ、同シ流域ニ花卷、水澤、衣川、平泉ニノ關等アリ、東海濱ニ湊村、宮古、山田、大鎚、釜石等アリ、

(三三二) 明治二十九年ノ三陸海嘯ヲ説ケ、

地震ノ海中ニ起リシガ爲、海水ノ陸地ニ押シ寄スルヲ海嘯(ツナミ)ト云フ二十九年ニオケル三陸ノ海嘯ノ慘害ハ古來未曾有ノモノニシテ到ル處、田園ヲ荒シ家屋ヲ流シ甚シキハ一村全ク浪ノ爲ニサラハレシ所サヘアリ釜石ノ人口六千モ大半ハ死亡スル有様ニシテ死亡ノ總計ハ三萬人ニ達セリト云

(三三三) 物産ヲ問フ、

米、生糸、金、銀、銅、鐵、漆、牛、馬、錫、鮭、南部縮緬、南部釜、南部表、

陸 奥 誌

(三三四) 境域地形ヲ問フ、

陸奥ハ本土ノ極北ニアリ之ヲ東西兩地ニ分ツ、東地小南部東南西三面陸中ニ界シ北、海ニ臨ミテ半島ヲ鉤出ス頭、西ニ向フ、西地ハ津輕地方ニシテ東、陸中、南ハ羽後ニ界シ西北共ニ海ニ枕ミ又余地ヲ衍出ス兩地ノ間南ハ陸中ノ角地ヲ銜ミ北ハ北海ノ大灣ヲ受ケ其ノ間タゞ一綫路ヲ通ルノミ、

○日本地理問答

故ニ全國地形、北ヨリ之ヲ望メバ比ノ字ノ形ニ似タリ、

(三三五) 地勢ヲ問フ、

中央火山脈、中央ヲ貫キテ地勢ヲ東西ニ二分ス、東ナルヲ小南部ト云ヒ、西ナルヲ津輕地方ト云フ、小南部ノ北端ハ田名部(ヲナヅ)半島又北郡半島ト云フ、津輕地方ニハ岩木川ノ平地アリテ津輕米ヲ出ス、

(三三六) 諸山ヲ記セ、

恐山(オソレ)ハ北郡半島ノ端ニアル活火山ナリ岩木山ハ國ノ西南ニアリテ津輕富士ノ稱アリ、八甲田(ヤツコウダ)ハ山國ノ中央ニアリ、其ノ南ニ十和田(トワダ)岳アリ、來滿山、戸來山アリ末ノ松山ハ小南部ノ東南ニアリ山腹ニ波痕ヲ見ル、

(三三七) 諸水ヲ記セ、

十和田湖ハ十和田岳ニアリ、舊噴火山ニシテ周圍十里、鱒ヲ産ス、其ノ水ハ流レテ相阪川トナリ東流シテ海ニ入ル、十三瀉ハ岩木川ノ注口ナル澤湖ニシテ一方海ニ通ゼリ凡テ瀉ト云フハ海岸ノ低地ニ土沙ノ打寄セテ縁ヲナシ遂ニ湖澤ヲナシ、モノヲ云フ、岩木川ハ國ノ西南ニ發水シ北流シテ海ニ

入ル、又國ノ東南ニ馬淵川アリ、

(三三八) 岬崎ヲ擧ゲヨ、

西岸ノ半ニ小岬アリ鳥井崎ト云フ、十三瀉ノ北ニ兩岬アリ小泊崎ト云ヒ龍飛崎(タツビ)ト云フ西地ノ盡頭ナリ、陸奥灣ニ夏泊崎アリ北郡半島ニアリテ東ナルハ尻矢(シリヤ)崎西ナルハ大間崎ナリ、

(三三九) 陸奥内海ヲ説ケ、

陸奥内海ハ陸奥ニアリテ北郡半島津輕半島相向ヒテ此ノ内海ヲナス東西凡十五里南北十里アリ海口ヲ平館海峡ト云ヒ中央ニ突出セル夏泊崎ハ内海ヲ野邊地青森ノ二灣ニ分ツ龍飛崎ハ津輕半島ノ最北角ニアリテ北海道渡島ノ白神崎ト相對シ其距離五里ニ過ギズ日本海ト太平洋トヲ連絡スル所ナリ北郡半島ハ一條ノ地頸ヲ以テ本土ト連ル大間崎ハ其ノ北端ニ尻矢崎ハ其ノ東端ニアリ、

(三四〇) 郡名ヲ擧ゲヨ、

二戸(ニノ)三戸(サンノ)上北(カミキタ)下北東津輕、西津輕、中津輕、南津輕、北津輕、

(三四一) 都邑ヲ問フ、

百

青森市ハ青森灣ニ臨ミ青森縣廳アリ、東京ヲ去ル汽車程一晝夜ナリ、東北鐵道ト北海道トヲ連絡スル要港ニシテ第四旅團此ニアリ弘前(ヒロサキ)市ハ青森ノ西南、岩木川ノ上流ニアリ、第八師團ノ位地ニシテ穀塗ヲ産ス、野邊地ハ同名ノ灣ニノヅミ八戸ハ馬淵川口ニアリ半島ノ大湊ハ軍港ニ適スト云フ、

(三四二) 物産ヲ問フ、
米、硫黃、漆、鱈等海魚、津輕塗、晒蠟、

羽 前 誌

(三四三) 境域ヲ問フ、

東、陸前岩代ニ正接シ、中間一地、盤城ニ觸ル、南西、岩代越後ニ界シテ乙字ノ勢ヲナシ北、羽後ト犬牙相錯ハリ東ニ滿テ西ニ缺キ西方ノ地、僅ニ海ニ抵ル全國地形、靈芝(サイハイタケ)ノ如シ、頭ハ東ニ朝シ、西ニ根ス

(三四四) 地勢ヲ問フ、

東方ニ中央火山脈ヲ負西方ニ日本海ヲ控ヘ其ノ間ヲ貫クハ鳥海火山脈ナリ鳥海火山脈ハ岩木火山脈トモ云ヒテ陸奥ノ岩木山ヨリ來リ終始、中央火脈

ニ平行シ、岩越ノ間ヲ過キ上野ニ至リテ富士帶火山脈ニ合ス、サテ此ノ山脈ノ東ヲ總稱シテ最上地方ト云ヒ、西ヲ莊内地方ト云ヒ、此ノ兩地方ヲ貫流スルモノハ最上川トス、

(三四五) 諸山ヲ問フ、

鳥海山、羽黒山、月山、湯殿山、朝日山、飯豊(イヒデ)山ヲ國中ノ高山トス、

(三四六) 諸水ヲ問フ、

最上川ハ南境ニ發水シ、米澤附近ノ水ヲ集メ、山形、天龍ノ西ヲ過ギテ最上高原ヲ縦貫シ莊内地方ニ出テ、海ニ入ル、我國三急流ノ一ナリ、

(三四七) 郡名ヲ擧ゲヨ、

南村山、北村山、東村山、西村山、最上、東田川、西田川、西置賜(オイタマ)東置賜、南置賜、

(三四八) 都邑ヲ説ケ、

山形市ハ國ノ東部、最上川ノ流域ニアリ山縣縣廳アリ日本第一ノ紅花ノ產地ナリ、其南方ニ上ノ山アリ湯泉地トス、米澤ハ最上川上流ニアリ四邊、

○日本地理問答

平原ニシテ桑樹多ク又林檎モ栽培セリ、此ノ地ハ上杉氏ノ舊城地ニシテ鷹山公ノ治績今尙存シ、米澤織ノ名高シ、鶴ガ岡(一ニ庄内)新庄モ名邑ナリ

(三四九) 物産ヲ擧ゲヨ、

生糸、紅花、薄荷、米澤糸織、大山酒、

羽後誌

(三五〇) 境域ヲ問フ、

北ハ陸奥、東ハ陸中ニ矩接シ南ハ羽前ニ牙錯シテ西南余地ヲ抽出シ而シテ西ハ海ニ面シテ屈曲多シ、形、短柄ノ菜刀ノ如シ及、東ニ向ヒ背、西ニ向フ、儘、腐蝕多シ、

(三五一) 地勢ヲ問フ、

東方ハ陸中ノ鹿角郡ト共ニ中央火山脈ニ限ラレ西ハ日本海ヲヒカヘ、國內ニハ岩木火山脈又ノ名、鳥海火山脈ハ北方岩木山ヨリ來リテ南部、鳥海山ニ至ル、鹿角地方ノ水ハ能代(ノシロ)川トナリ、仙北地方(センホク)ノ水ハ御物(オモノ)川トナル、

(三五二) 諸山ヲ記セ、

北ニ池臺、森山、眞瀬山アリ、東北隅ニ矢立峠アリ、其ノ南ニ森吉山、駒岳、大平山アリ西ニ高尾、保呂羽、鳥海山アリ、阿仁(アニ)銅山ハ阿仁川ノ上流ニアリ院内銀山ハ國ノ南端ニアリ、

(三五三) 諸水ヲ記セ、

能代川ハ東方ニ發水シ諸水ヲ集メ西、日本海ニ入ル支流ニ阿仁川アリ、御物川ハ仙北地方ニ發源シテ北流シ折レテ西北ニ向ヒ秋田ヲ經テ土崎ニ至リテ海ニ入ル、酒田川ハ最上川ノ下流ニシテ酒田ニ至リテ海ニ入ル、八郎潟ハ太平山ノ西北ニアリ、周圍十五里、風景絶佳ニシテ湖上時ニ白氣ヲ吐キ山河ノ影ヲ現スルコトアリト云フ、湖ノ西ハ即、男鹿半島ナリ、又田澤沼ノ水ハ流レテ御物川ニ入ル、象潟(キサガタ)ハ古時名勝ノ地ナリ、

(三五四) 郡名ヲ擧ゲヨ、

南秋田、北秋田、山本、河邊(カハヘ)由利(ユリ)仙北(センホク)平鹿(ヒラガ)雄勝(ヲカチ)飽海(アノミ)

(三五五) 仙北地方トハ如何、

○日本地理問答

中央火山脈ト鳥海火山脈トニ夾マレタル高原ヲ一郡ノ名ニトリ總稱シテ仙北ト云フ、此ノ地方ハ御物川ノ水源地ナリ、

(三五六) 都邑ヲ記セ、

能代ハ能代川ノ口ニアリ良港ニシテ能代塗ノ名産アリ、秋田市ハ御物川ノ右岸ニ立チ秋田縣廳アリ秋田畝織、秋田八丈、秋田米ヲ著名ノ産物トス秋田藩ハ葉莖ノ巨大ナルヲ以テ名アリ、土崎ハ御物川ノ海濱ナル要港ナリ此ノ川ノ上流ノ名邑ハ横手ヲ最大トス、其ノ北方金澤ハ後三年ノ古戰場ナリ酒田ハ最上川口ニアリ、

(三五七) 物産ヲ擧ゲヨ、

米、生糸、銅、銀、鉛、硫黃、石油、木材、蠶、淳代塗、秋田畝織、八丈綿、

東山道概要

(三五八) 境域ヲ問フ、

東山道ハ西、畿内ニ接シ南東海道ヲ受ケ北、北陸道ニ靠リ最北三方海水ヲ帶ビ西南ヨリ東北ニ亘ル、

(三五九) 經緯度ヲ問フ、

東經百二十六度ヨリ百四十二度十三分ニ至リ北緯三十四度四十七分五十一秒ニ起リ四十一度三十分五十一秒ニ尽ク、

(三六〇) 延長幅員面積人口ヲ問フ、

延長二百八十里、幅員五十三里、面積六千八百四十九方里、八道中最大ナルモノナリ、人口ハ九百十万人、

(三六一) 區劃ヲ問フ、

天然ノ地形ニヨリテ十三國トナシ行政上ノ區劃ヲ以テ十一縣トス、

(三六二) 地勢ヲ問フ、

本道ハ奥羽地方ト中山道地方トニ分タル其ノ中山道地方及岩代ハ山脈ヲ以テ東海道北陸道ニ界シ其ノ他ハ海ニ枕メリ、而シテ中山道地方ハ支那山系ト樺太山系トノ錯交セル所ニシテ恰モ東海北陸兩道ノ脊骨ノ如ク殊ニ信飛ノ西、平地ト雖、海面ヲ抜クコト往々一千尺乃至二千尺以上ニ達シ從テ山峰高峻ナリ、又奥羽地方ハ中央火山脈ヲ中軸トシテ太平洋、日本海ノ兩岸ニ傾キ島海火山脈、北上山脈其ノ間ニ連亘スルアリト雖、多少ノ平原アリ

(三六三) 山脈ヲ問フ、

百六

近江、伊勢ニハ鈴鹿山脈アリ、木曾山脈ハ尾張、三河ヨリ木曾、天龍二川ノ間ニ亘リ、赤石山脈ハ信濃ト甲、駿ノ間ニ蟠ル、而シテ中國山脈ハ近江美濃、飛驒ニ、立山火山脈ハ信濃、飛驒ニ、三國山脈ハ上野ノ北境ニ帝釋山脈ハ下野ノ北境ニ、那須火山脈ハ其ノ南ニ亘リ奥羽ニ至レハ中央、鳥海北上、阿武隈ノ諸山脈並行シテ南北ニ連亘ス、

(三六四) 海岸線ハ如何ナル有様ナリヤ、

本道中瀕海ノ地ハ只東北、奥羽ノ地ノミ、而シテ太平洋ニ面スル所ニハ著シキ出入ヲ見サレドモ鋸齒ノ如キ小出入ハ頗ル夥シ、日本海ノ沿岸ハ出入稀ニ海濱ハ平沙ナリ、灣ニ陸奥内海、仙臺灣アリ半島ニ牡男、北郡、津輕男鹿等アリ、

(三六五) 本道ノ氣候ヲ語レ、

本道ノ地形、西南ヨリ東北ニ延長スルヲ以テ經緯度ノ差モ從テ多ク氣候著シク異ナリ、近江美濃ハ稍温和ナルガ如キモ北方ニ進ムニツレテ其ノ寒冷ノ度ヲ増シ東北諸州ニ至テハ其ノ極ニ達セリ、

(三六六) 本道ノ礦坑ノ有名ナルモノヲ擧ゲヨ、

諸礦屬ヲ產出スル地凡三百八十八ヶ所アリ就中著名ナルヲ岩代ノ半田銀坑陸中ノ小阪、尾去澤ノ兩坑、釜石ノ鐵坑、羽後ノ院内銀坑、阿仁銅坑、下野ノ足尾銅坑、上野ノ中小阪鐵坑トス而シテ石炭ハ磐城ヲ第一トシ石材ハ多ク美濃ヨリ出ス、

(三六七) 本道ノ鑛泉ニツキテ語レ、

其ノ數總テ百七十アリ畿内八道中最多數ニ位シ本道中ノ十三國ハ各々皆鑛泉ヲ有ス、中就ク最多ナルハ岩代ノ二十九ヶ所ニシテ之ニ次クハ上野ノ二十二ヶ所信濃ノ二十一ヶ所トス、而シテ其ノ著名ナルハ上野榛名山麓ノ伊香保ニシテ同國ノ草津、磯部、下野ノ日光及塩原之ニ次ク、

(三六八) 本道人士ノ人情ヲ問フ、

人情モ亦南北ニヨリテ多少ノ異同アルハ勿論ナレドモ概シテ云ヘハ質朴ナリ、而シテ近江、美濃ハ稍々上方ノ緻密ヲ帶ヒ信濃上野ノ強剛ニシテ片意地ナルハ山國ノ性質ナルベシ又北國人ノ性質トシテ奥羽人ハ朴直剛強ニシテ稍々沈鬱ノ氣ヲ帶ブ、

(三六九) 奥羽地方人ノ言語ハ如何、

稍々急促ニシテ少シク鼻聲ヲ帶フ、

(三七〇) 本道ノ生業ヲ説ケ、

本道ハ瘠土アリ深山アリ或ハ水利不便ナレバ幅員ニ比シテ拓殖セラレタル
コト少シト雖、近江、美濃、仙臺、南部、津輕、秋田等ノ米ハ有名ナリ、
而シテ蠶業産物ハ各國共ニ皆之ヲ出シ信濃上野福島ノ如キハ最モ盛ナリ又
近江美濃ノ地方ハ製茶ヲ務メ北方ノ諸國ハ多ク礦業ニ從フ、奥羽ノ沿岸地
方ハ漁業ニ從事シ山林ハ木會ヲ第一トシ津輕ノ檜林等モ有名ナリ近江人ハ
行商ニ名アリ其ノ他ハ商業ハ不振ナルモノ、如シ、

(三七一) 本道ノ勝地ヲ擧ゲヨ、

近江琵琶湖ノ八景、美濃養老ノ瀧、木曾山中寢覺ノ床、姨捨山田毎ノ月、
伊香保草津ノ温泉、日光ノ風景、陸前ノ松島男鹿(ヲシカ)半島ノ島巡リハ
人ニ知ラレタル勝地ナリ、

(三七二) 本道ノ鐵道ヲ説ケ、

東海道鐵道ハ山城ヨリ近江ノ馬場ニ來リ草津、彦根、米原(マイバラ)ヲ經

テ美濃ニ入り關ヶ原、垂井(タル井)岐阜ヲ過ギテ東海道ノ尾張ニ入ル、而
シテ馬場ヨリ北ニ一線ヲ出シテ大津ニ至リ、米原ヨリ北ニ一線ヲ出シ長濱
柳ヶ瀬ヲ經テ越前敦賀ニ入ル、關西鐵道ハ近江ノ草津ヨリ分岐シ石部、貴
生川ヲ經テ伊賀ノ柘植(ツゲ)ニ達ス、近江鐵道ハ近江ノ彦根ヨリ高宮、愛
知川、八日市、朝日野、水口ヲ經テ關西線ノ貴生川ニ連接ス、日本鐵道ハ
東京ヨリ上野高崎ヲ經テ前橋ニ來ル、直江津線ハ高崎ヨリ飯塚、磯部、横
川ヲ經、碓氷ノ嶮ヲ越エ信濃輕井澤ニ達シ夫レヨリ御代川、田中、大屋、
阪城、篠ノ井、長野、豊野、田口ヲ經テ越後ニ入り直江津ニ達ス、而シテ
篠ノ井ヨリ西ニ一線ヲ出シ、姨捨ヲ經テ西條ニ至ル、上野鐵道ハ高崎ヨリ
西、宮岡、一ノ宮ヲ經テ下仁田ニ至ル、サテ前橋ニ來リシ日本鐵道ハ東ニ
向ヒテ伊勢崎、大間々、桐生ヲ經、下野ニ入り足利、佐野、朽木ヨリ小山
ニ至リ、東京ヨリ來ル線ニ會ス其ノ中間、佐野鐵道ハ越前、佐野、田沼、
葛生ヲ連結ス、サテ又小山ニオケル日本鐵道ハ一ハ水戸ニ向ヒテ仙臺ニ至
リ、一ハ北方ニ向ヒ下野ノ宇都宮(日光鐵道ハ此ノ地ヨリ日光ニ至ル)那須
黒磯、磐城ノ白河、矢吹、岩代ノ郡山(岩越鐵道ハ今郡山ヨリ若松マデ達

セリ)二本松、福島(奥羽線ハ此ノ地ヨリ、庭阪、板谷、米澤上ノ山ヲ經
ヲ山形ニ達セリ)長岡、岩沼ヲ經テ仙臺ニ達シ水戸ヨリ勿來ノ關ニ來リ磐
城ノ平、原、中村ヲ經、岩沼ヨリ來ル線ニ會シココニ捕籠ノ支線ヲ出シ本
線ハ松島、小牛田新川ヨリ陸中ニ入り、一ノ關、平泉、水澤、花卷、盛岡
ヲ過ギ陸奥ニ入りテハ一ノ戸、三ノ戸、尻内(コ、ヨリ湊マテ支線アリ)沼
崎、野邊地、小湊ヲ經テ青森ニ終ル、奥羽線ハ青森ニ起リ大釋迦、弘前、
碓ヶ關ヲ經テ羽後ニ入りテ鷹ノ巢ニ達シ進ミテ八郎潟附近ニ出テ御物代ノ
流レニ沿ヒテ仙北ニ向ヒ更ニ最上川ノ流レニ沿ヒテ米澤ト結ハントス、而
シテ名古屋ヨリ美濃ノ多治見ニ達シタル中央線ハ木曾川ニ沿ヒテ北進シ更
ニ南、甲斐ニ出テ、東京ニ向ハントスルナリ、

北陸道(ホクロク)

若狹誌

(三七三) 境域ヲ問フ、

西、丹後ニ接シ南、丹波ニ界シ、東、近江越前ニ隣リ北方一帯地水相カム

其地形恰モ敗荷ヲ歎ツカ如シ、

(三七四) 地勢ヲ問フ、

後ニ中國山脈ヲ負ヒ前ニ日本海ヲ控ヘ諸水皆之ニ入ル、西ハ青葉山ヲ以テ
山陰道ト接シ海岸ハ岩礁危立ス、

(三七五) 諸山ヲ記セ、

中央ヨリ南及西ニ多田岳、後瀬(ノチセ)山、青井山アリ三國山アリ西ニ青
葉山アリ、

(三七六) 諸水ヲ記セ、

名田ノ庄川ハ西南ヨリ發水シ多田ト二山トノ間ヲ貫キ小濱ノ西ヨリ海ニ入
ル熊川河ハ東方ヨリ數水ヲ合セテ亦小濱ノ西ニ落ス、

(三七七) 海岸ヲ問フ、

海岸ノ屈曲ノ繁キコト本土ノ日本海岸諸國ニ冠タリ、松ヶ崎ト赤礁崎トハ
小濱灣ヲナシ其ノ西、又海水地中ニ灣入ス其海岸亦長岬ヲナシテ東方ト相
對ス東方半島ノ東、又大岬アリ中間海水漸入シ兩三泌ヲナス岬ト東北境ト
ノ間又大灣ヲナス、而シテ岬ノ本ニ大湖アリ、三湖相連リ三方湖ト云フ、

(三七八) 郡名ヲ舉ゲヨ、

三方、遠敷(ヲニフ)大飯(オホイ)

(三七九) 都邑ヲ説ケ、

小濱ハ若狹灣ノ中央ニ位シ其城壁海水ニ洗ハレ頗風致ニトメリ、若狹塗ヲ産ス、

(三八〇) 物産ヲ問フ、

鯛、鰈、漆器、

越前誌

(三八一) 境域ヲ問フ、

越前ハ加賀ヲ併セラ魚ノ躍ル形ノ如シ、而シテ下半身ヲ以テ越前トス其地西、若狹ニ界スル處ヲ尾端トス而シテ南、近江、美濃及ビ飛彈ノ界ヲ魚腹トシ東北、加賀ノ界ヲ魚ノ身半トス北ヨリ西ニ至ル一帯ノ斜ニ海ニ濱ス之ヲ鬣(セビレ)トナシ背トナス、背ノ盡頭灣港ヲナス、

(三八二) 諸山ヲ記セ、

中央荒島岳アリ西境ニ榮螺岳アリ、敦賀ノ東ニ反(カヘル)山、木ノ目山ア

リ杣山、板取、燧ノ城址アリ加賀ノ境ニ經岳大日岳アリ、

(三八三) 諸水ヲ記セ、

日野川ハ南方ニ發源シ北流シテ東方ヨリ來ル足羽川、九頭龍川ヲ合セテ三國港ニオイテ海ニ入ル、コノ川ノ流域ハ耕作ノ利甚ナカラズ北瀕ハ西北隅ニアリ周圍凡五里、

(三八四) 郡名ヲ舉ゲヨ、

足羽(アスハ)吉田、坂井、大野、南條、今立(イマダチ)丹生(ニフ)敦賀(ツルガ)

(三八五) 都邑ヲ記セ、

敦賀ハ開港場ノ一ニシテ良港ノ名高ク鐵道、南、京阪、名古屋ニ通シ北、北陸鐵道ノ起端トナリ、又浦塩ヘモ定期航路ヲ開通シタルハ將來西比利亞鐵道全通ノ後ハ益々繁昌スヘシト云フ、傍ニ氣比ノ社(ケビ)アリ東ニ金ヶ崎アリ、福井市ハ福井縣廳ノアル所、日野川流域ノ中央ヲ占メ足羽川ニ跨ル絹ノハンカチノ製出盛ナリ、此ノ地ハ昔、北ノ庄ト稱シシ地ニシテ藤島神社ハ新田義貞ヲ祀ル、雲丹ハ福井ノ西ナル海ニ産ス、三國港ハ日野川口

○日本地理問答

ニアリ百貨輻湊シ汽船ノ出入繁シ、大野ヨリハ奉書紬、羽二重ヲ出シ、武生ヨリハ蚊帳、鳥ノ子紙ヲ出ス、

(三八六) 物産ヲ問フ、

綠礬、麻、蚊帳、雲丹、和布(ワカメ)羽二重、奉書紬、紙、

加賀誌

(三八七) 境域ヲ問フ、

西南、越前ニ界シ、魚ノ半身ヲ得、東方、飛彈、越中ノ界ヲ魚腹及ヒ領下トシ、北方、能登ノ堺ヲ口鼻ノ處トス、西北一帯海ニ面ス之ヲ頭トナシ脊トナス、

(三八八) 諸山ヲ説ク、

白山火山脈ハ飛彈、越前ノ境ナル白山ニ起リテ國境ニ蟠リ、越前ノ海岸ヨリ海ヲ越エテ若狹ノ青葉山トナリ山陰道ニ入ル、白山ハ休火山ニシテ常ニ雪ヲ戴クヲ以テコノ名ヲ得タリ、外ニ越中ノ境ニ醫王山、龜岳アリ、金澤ノ南ニ鞍岳アリ、

(三八九) 諸水ヲ記セ、

西南ニ敷地川アリ其ノ東北、三湖アリテ相連ナル、二三ノ小川之ニ注グ、其ノ北ニ梯川アリ河口ヲ安宅トス、手取川(又名尾添川)ハ南方ヨリ諸水ヲ集メ來リ西、海ニ入ル、又其ノ東北ニ才川、淺野川アリ、北方ニ湖アリ河北瀉(一名八田瀉)ト云フ、數水其ノ中ニ滙シ而ル後、海ニ入ル、周圍凡六里、

(三九〇) 郡名ヲ問フ、

江沼(エヌマ)能美(ノミ)石川、河北(カホク)、

(三九一) 都邑ヲ問フ、

金澤市ハ犀川、淺野川ノ間ニ介在スル大都會ニシテ日本第一ノ大名、前田氏ノ舊城地ナリ、石川縣廳ノ所在ニシテ第九師團ノ位地ナリ、兼六公園ハ日本三公園ノ一ナリ、市民、織物、銅器、象眼、陶器等ヲ製作ス、大聖寺ハ越前境ニ近ク其ノ山入りニハ九谷燒ノ產地アリ、近傍ニ山中温泉アリ、小松ハ加賀絹ノ產地ナリ、

(三九二) 物産ヲ問フ、

米、苧、麻、銅、漆、茶、鱈、鱒、九谷燒、絹、銅器、

能登誌

(三九三) 境域ヲ問フ、

南方、加賀越中ニ接シ、其ノ余皆海中ニ突出ス、實ニ北方ノ水國ナリ形、掌ヲ側テ、丸ヲ受クルガ如シ、南境ヲ手頸トシ手背西北海ヲ受ケ、指頭東北ヲ指ス、又東南境ヨリ拇指ヲ伸ヘ掌ト對シテ灣ヲナス中ニ彈丸大ノ地ナリ能登島ト云フ、

(三九四) 諸山ヲ記セ、

國中ニ起伏スル山脈ヲ能登山脈ト稱ス南方ニ寶達山アリ越中ノ境ニ石動山(ユスルギ)アリ北ニ寶立山アリ、

(三九五) 郡名ヲ舉ゲヨ、

羽咋(ハグヒ)鹿島(カシマ)鳳至(フゲシ)珠洲(スヅ)

(三九六) 都邑ヲ説ケ、

掌後ニ一小港アリ福浦ト云ヒ指背ニアルヲ河井ト云フ、指頭ニ珠洲岬アリ指腹ノ地ニ地角二三アリ、而シテ拇指ノ内ニ七尾港アリ、新開港ノ一ニシテ近傍ニ和倉温泉アリ西岸ノ輪島ハ漆器ノ堅牢ナルニ名アリ、

(三九七) 物産ヲ問フ、

漆、茶、鱒、鱒、輪島塗、素麵、

越中誌

(三九八) 境域ヲ問フ、

東ハ越後信濃、西ハ加賀能登ニ正接シ南ハ飛彈ノ彎ヲ受ケ、北ハ海水東西ヨリ斜入ス故ニ其ノ地形、木柵(チキリ)ノ如シ、

(三九九) 地勢ヲ問フ、

後ハ中國山脈ノ末端ヲ負ヒテ飛彈ニ界シ前ハ日本海ニ枕ミ東ハ即立山火山脈ナリ、本土ノ日本海沿岸諸國中耕地最モ開ケタリ、

(四〇〇) 諸山ヲ記セ、

東北境ニ朝日山、蓮華山アリ、東南ニ劍岳、立山、薬師岳アリ、西南飛彈ノ境ニ水無峠アリ正西ニ礪並山ナリ、其ノ西ニ俱利伽羅岳アリ、木曾義仲ノ古戰場ナリ、加賀、能登ニ接スル處三國峠アリ、其ノ北ニ室津山、薄香(ウスカ)峠、石動(ユスルギ)山アリ、越後境ノ親不知ハ立山火山脈ノ北端ナリ、

(四〇一) 諸水ヲ記セ、

射水(イミヅ)川一名莊川ハ飛彈ヨリ發水スル白川ノ下流ナリ、神通川(シ
ンツウ)モ飛彈ヨリ來リ上流ヲ高原川宮川ト云フ、二川ノ流域ハ耕作ノ利
多シ、其ノ他、小矢部川、常願寺川、早月(ハヤツキ)川、片貝川、布施川
黒部、小川、赤川、堺川アリ、

(四〇二) 郡各ヲ擧ゲヨ、

上新川(ニヒカハ)下新川、中新川、婦負(ネヒ)射水(イミヅ)東礪波(トナ
ミ)西礪波、氷見、

(四〇三) 都邑ヲ記セ、

富山市ハ神通河ノ流域ニ位シ富山縣廳アリ市中ニ藥種商多ク四方ニ賣子ヲ
出スコト多シ、高岡市ハ射水川ノ流域ニアリ、銅器及ヒ漆器ヲ産ス、伏木
ハ射水川ノ河口ニアリ新開港ノ一ニシテ多ク米ヲ輸出ス魚津ハ漆器、織物
ニ名アリ、

(四〇四) 物産ヲ問フ、

米、漆、茶、賣藥、銅器、鐵器、

越 後 誌

(四〇五) 境域ヲ問フ、

西、越中ニ正接シ南ハ信濃上野、東ハ岩代ニ接シテ一大凸形ヲナシ東北、
羽前ニ斜界ス而シテ其ノ西北、一帯ハ総テ海ニ濱シ中間弓様ヲナシテ海ニ
張出ス形、蝙蝠ノ翼ヲ展ルガ如シ、

(四〇六) 地勢ヲ問フ、

コノ國ハ本州中最モ縦ニ長キ國ニシテ前ハ日本海コノツミ後ハ山脈連續シ
鳥海火山脈ノ高山ハ岩代境ニ、三國山脈ハ上野境ニ、富士帶ノ妙高諸山ハ
信濃境ニ連ル、彌彥火山脈ハ羽後ノ男鹿半島ヨリ脈ヲ引キタルモノニテ鳥
海火山脈ニ併行シ妙高山ニオイテ富士帶ニ合シ更ニ信濃ノ北部ニ延長シテ
立山火山脈ニ接ス、信濃川ハ更ニ此ノ兩山脈ノ間ヲ流レ、阿賀川ハ鳥海山
脈ヲ横斷ス、地勢上、米山以西ヲ上越後トシ、彌彥山以北ヲ下越後トシ其
ノ中間ヲ中越後トス、

(四〇七) 越後平野トハ如何、

越後平野トハ信濃川ノ流域ナル長岡ノ邊ヨリ下、一帯ノ稱ニシテ阿賀川モ

亦コノ平野ヲ流レ耕作善ク開ケ越後米ノ産出年々三百万石ニ近シト云フ、
(四〇八) 諸山ヲ記セ、

東ニ朝日岳飯豊(イヒデ)山、御神樂岳、栗ヶ岳、守門岳(スモンガマケ)燧
岳アリ南上野ノ境ニ苗場山アリ清水峠、三國峠アリ越中ノ境ニ銀山、橋立
山南方ニ八海山アリ西ニ離レテ焼山、妙高山アリ海岸ニ米山、彌彦山アリ
(四〇九) 諸水ヲ記セ、

信濃川ハ信濃ヨリ來リ魚沼川等ヲ合セ斜ニ貫流シテ越後平野ヲ潤ホシ、分
レテ兩河トナリ又一河トナリ、新潟港ニ入ル千曲川ノ水源ヨリココマデ大
凡一百里、越後ヲ貫流スルコト大抵三十里、河口ニ沙灘アリ、小汽船常ニ
河流ヲ上下ス、コノ川ノ鮭ハ風味第一位ナリ、阿賀川ハ岩代ヨリ來リ越後
平野ヲ貫流シ、東北ヨリ來ル加治川ト共ニ新潟ノ東北ニ落ツ、又西境ニ近
ク姫川アリ信濃ヨリ來リ海ニ入ル、其ノ東、大和川、早川、能生川、名達
川、有馬川、關川アリ關川ハ又荒川ト云ヒ信濃北境ノ湖水ヨリ發源ス其ノ
北ニ青海川アリ、又阿賀川ノ北方ニ荒川、二面川アリ、阿賀川ノ兩岸ニ大
湖アリ、南ヲ鳥屋潟ト云ヒ北ヲ福島灣ト云フ、

(四一〇) 郡名ヲ擧ゲヨ、

東蒲原(カムハラ)、西蒲原、中蒲原、北蒲原、南蒲原、古志(コシ)北魚沼
(ウヲヌマ)中魚沼、三島(サントウ)南魚沼、荻羽(カリハ)東頸城(クヒキ)
中頸城、西頸城、岩船(イハフネ)

(四一一) 都邑ヲ記セ、

新潟市ハ信濃川ノ海口ニ位シ開港場ノ一ナリト雖、信濃川ヨリ流ル、泥沙
ハ海口ニ沙洲ヲ作リテ繫泊ニ不便ナルノミナラズ、冬ハ北海ノ風波烈シク
テ船舶ノ往來ナク貿易未タ盛ナラズ近頃此ノ港ヨリ露領浦蘆斯德ニ航路ヲ
開ケリ、新潟縣廳コ、ニアリ、北方ノ新發田(シバタ)ハ石油ヲ産シ南方ノ
五泉ハ五泉平織ニテ其ノ名高ク、長岡ハ新潟ト日々川汽船ノ往來アリ、
越後縮、越後紬ノ産地ハ此ノ地ノ上流ノ山入リニアリ、高田ハ大雪ト飴ト謙
信ノ古城址ナル春日山トニ名高シ、直江津ハ北海ノ一要津ニテ浦鹽マテ一
晝夜ニテ達スベシト云フ、此ノ外ニ村上、岩沼、沼垂、三條、小千谷、十
日町、寺泊、出雲崎、柏崎、糸魚川等アリ、

(四一二) 此ノ國ノ人ノ氣質ハ如何、

○日本地理問答

進取ノ氣象ニ乏シキ憾ミアルモ一般ニ勤勉ニシテ醇良ナリ、

(四一三) 物産ヲ問フ、
米、石油、漆、茶、馬鈴薯、麻、銅、石炭、鱈、鮭、鱒、鱒、縮、上布、紬、
五泉平、

佐渡誌

(四一四) 位地、地形ヲ問フ、

海中ノ一孤島ニシテ東南、西南稍々伸出シ形、胡蝶ノ斜ニ飛アガ如シ、

(四一五) 地勢ヲ問フ、
佐渡ノ山脈ハ二條ノ平行山脈ニシテ二個ノ半島上ニ貫通シ其ノ接合部ノ處
平地稍々廣シ

(四一六) 諸山ヲ記セ、

北方ナル半島ニ金北山、金剛山アリ、金北山ハ有名ナル金銀山ニシテ黃金
年々ノ産額五六十貫以上ニ達シ本邦第一ノ産出ナリ、南方ナル半島上ニ東
教山アリ、

(四一七) 諸水ヲ記セ、

地峽ノ部、堂丸川、小倉川、新保川等ノ水、東西ヨリ合流シテ南海ニ落ツ
之ヲ國府川ト云フ、北ニ當リテ一湖アリ其ノ口、北海ノ角頭ニ通ス、

(四一八) 岬角ヲ問フ、

北灣ニ矢崎アリ龍王岩アリ南灣ニ城ヶ鼻、澤崎岬アリ、

(四一九) 郡名ヲ問フ、
佐渡、

(四二〇) 都邑ヲ問フ、

相川ハ當國第一ノ都會ニシテ金山ノ爲メニ繁昌スルナリ、南灣ヲ直江ノ入
江(マノノイリエ)ト云ヒ灣頭ナル眞野ニハ承久ノ亂ニ遷幸アリシ順徳天皇
ノ黒木御所アリ北灣ノ湖口ニハ港町、夷港相對ス小木モ亦一要津ナリ、

(四二一) 物産ヲ問フ、
金、銀、鳥賊、牛、

北陸道概要

(四二二) 境域ヲ問フ、

西ハ畿内、山陰道ニ接シ南ハ東山道ニ界シ北ハ日本海ニ濱ス、而シテ能登

○日本地理問答

ハ海中ニ斗出シテ半島ヲナシ佐渡ハ海中ニアリ、

(四二二) 經緯度及延長幅員ヲ問フ、

佐渡ヲ除キ北緯卅五度十八分ヨリ卅八度卅三分ニ至リ東經百卅五度四十三分ニ起リ、百四十度ニ終ル、南北ノ延長百十三里ニシテ幅員十里ナリ、

(四二四) 面積人口ヲ問フ、

佐渡ヲ除キ千五百七十七方里アリ、而シテ佐渡ハ五十六方里アリ、人口ハ凡テ四百万人、

(四二五) 區劃ヲ問フ、

舊來天然ノ地形ニヨリ七國ニ分チ行政上ノ區劃ヲ四縣トス、

(四二六) 地勢ヲ問フ、

西北ハ日本海ニシテ東南ハ東山道ニ界シ地面ノ傾斜ハ北受ケナリ、而シテ東山道ニ接スル山脈ハ鳥海火山脈、立山火山脈、白山火山脈等ニシテ其ノ他能登山脈、彌彥火山脈アリ、平野ハ越後平野ヲ最トス、河流ハ概ネ東山道ニ發水シテ日本海ニ注グ、而シテ本道海岸ノ出入多カラズ、

(四二七) 氣候ヲ問フ、

南東ニ山ヲ負ヒ西北、海ニ面スルヲ以テ冬期ハ大陸ヨリ來ル陰冷ナル西北風此所ニテ凝結スルヲ以テ雨雪甚タ多ク特ニ能登ヲ最トス、然レドモ温暖ナル黒潮支流ハ幾分カ寒氣ヲ中和スルヲ以テ氣候ハ割合ニ烈カラズ、

(四二八) 本道ノ人情ヲ問フ、

各地方獨特ニシテ概括スベカラズト雖、若狹、能登、越中ハ質樸、越後ハ淳樸、加賀ハ温和、越前ハ優長ナリ、

(四二九) 本道ノ生業ヲ問フ、

若狹ハ海産物ニ豐饒ナレハ漁業從テ盛ナリ、越前越後ハ機織ニ巧ミニ、能登ハ舊來、製鹽ノ業盛ニ加賀、越中ハ近時蠶業、稍々行ハレントス要スルニ工業ハ古クヨリ發達シ九谷陶器、輪島漆器、金澤高岡ノ銅器等アリト雖盛大ナリト云フヘカラズ、

(四三〇) 本道ノ鐵道ヲ問フ、

北陸鐵道ハ敦賀ニ起リ南、米原ニ連リ、東北、今庄、武生、鯖江、福井、細呂木ヨリ加賀ニ入り大聖寺、動橋、小松、松任、金澤、津幡ヲ經テ越中ナル高岡、富山ニ達シ進ンテ直江津ニ接續セントス、七尾鐵道ハ津幡ヨリ

羽咋ヲ經テ七尾ニ達ス、中越鐵道ハ越中、城端ヨリ高岡、伏木ニ至ル、北越鐵道ハ直江津ニ起リ南、信濃ニ通シ本線ハ犀潟、柏崎、北條、長岡、見附、三條、加茂、龜田ヲ經テ沼垂ニ達ス、而シテ岩越鐵道ハ若松ヨリ本線ニ接續セントス、

(四三一) 本道所屬ノ島嶼ヲ舉ゲヨ、

佐渡島、能登ノ舩倉(ヘクラ)島、七島及能登島、若狹ノ御神島、越後ノ粟生(アハフ)島等、

北海道

渡島誌

(四三二) 境域ヲ問フ、

渡島ハ北海道ノ極南ニ在リ南、陸奥ト海水ヲ隔ツ東西南三方共ニ大灣形ヲ受ケ北ハ東半、膽振ニ接シ西半、後志ニ接ス、地形入ノ字ノ如シ、

(四三三) 地勢ヲ問フ、

中央火山脈ハ津輕海峽ヲ渡リテ再ヒ渡島ニ現ハレ入ノ字ノ脊梁ヲナス之ヲ

渡島山脈トス入ノ字ノ脚ノ兩邊ハ相對シテ函館灣ヲナセリ、

(四三四) 諸山ヲ記セ、

南ニ大川岳、惠山(エサン)駒岳アリ、西ニ知内(シリナイ)岳、千軒(センケン)岳アリ北境ニ遊樂部山(ユウラツブ)アリ、中部ニ濁川岳アリ、

(四三五) 郡名ヲアケヨ、

函館區、龜田郡、上磯(カミイツ)茅部(カヤベ)松前、檜山(ヒヤマ)爾志(ニシ)

(四三六) 都邑ヲ記セ、

函館ハ函館灣内ニアリ、青森ヨリ海路三十里許リ港内水深クシテ本邦良港ノ一ト稱セラレ五港ノ一ニシテ北海道産物ノ集散地ノ中心トシテ全道中最モ隆盛ノ都會タリ、龜田ノ五稜廓ハ維新最後ノ戰場ニシテ、渠内ノ製氷ハ全國ニ名高シ、七飯(ナナイ)ニ農事試験場アリ、西海岸ニ福山、江差ノ市邑アリ、東海岸ノ森ハ室蘭ニ渡ル要津タリ、

(四三七) 岬角及屬島ヲ問フ、

惠山岬ハ北、繪鞆岬ニ南、尻矢岬ニ對シ均首岬ト矢越岬トハ渡島灣ヲ擁シ

西ニ白神岬アリテ龍飛岬ト相對ス、又西海中ニ大島、小島アリ、
(四三八) 物産ヲ問フ、

硫黄、鯢、昆布、海參、鯢粕、鮑等海産、

後志誌 (シリベシ)誌

(四三九) 境域ヲ問フ、

東膽振ト牙錯シ南、渡島ニ觸レ東北、石狩ニ接シ西北總テ海水ヲ繞ラシ兩
凸形ヲナス北ニアルモノハ大ニシテ南ニアルモノハ小ナリ西海中ニ三角形
ノ島アリ奥尻島ト云フ、

(四四〇) 地勢ヲ問フ、

後志山嶺ハ國中ニ蟠リ、利別川、後志川ノ流域ハ僅少ノ平野ヲナス、西方
白糸崎ト神威崎トハ相對シテ壽都灣ヲナシ北方積丹崎ハ石狩ノ雄冬岬ト相
對シテ小樽灣ヲナス、

(四四一) 諸山ヲ記セ、

南方ニ大田山、太櫓山、蒔場山アリ、中間ニ雷電岳、岩内山アリ北ニ余市
岳アリ積丹半島ニ積丹(シヤコタン)山アリ、

(四四二) 諸水ヲ記セ、

利別(トシベツ)川ハ東境ニ發水シ西流シテ海ニ入り後志川ハ膽振ニ發水シ
又西流シテ壽都(スツツ)灣ニ入ル、

(四四三) 郡區名ヲ問フ、

久遠(クトホ)奥尻(オクシリ)太櫓(フトロ)瀬棚(セタナイ)壽都(スツツ)島
牧(シマコマキ)歌棄(ウタスツ)磯谷(イソヤ)岩内(イハナイ)古宇(フルウ)
小樽(ヲタル)高島、忍路(オシヨロ)余市(ヨイチ)古平(フルヒラ)美國(ヒ
クニ)積丹(シヤコタン)

(四四四) 都邑ヲ問フ、

小樽ハ小樽灣内ニアリ、北海道第二ノ都會ナリ、本土等ヨリ輸入スル貨物
旅客ハ多クコノ港ニヨルヲ以テ市况盛ナリ、コノ港ノ西ニ余市アリ、壽都
ハ西方壽都灣内ニアリ、

(四四五) 物産ヲ問フ、

石炭海産物ハ渡島ニ同シ、

膽振誌

○日本地理問答

(四四六) 境域ヲ問フ、

南、渡島ニ接シ西、後志ニ彎接シ北石狩ニ界シ共ニ曲折ス東、日高ニ接シ
東南海水ヲ受ク、

(四四七) 地勢ヲ問フ、

中央火山脈ヨリ來レル後志山嶽ハ後志膽振ノ間ニ蜿蜒シ大小ノ河流ハ之ヨ
リ發水シテ概ネ南流ス、而シテ南方ノ中間ニ曲岬アリ繪鞆岬ト云フ、渡島
ト相對シテ内海ヲ擁ス之ヲ内浦又ハ噴火灣ト云フ内海周邊ノ山岳ノ屢々噴
火スルニヨリテ此ノ名アリ、

(四四八) 諸山ヲ記セ、

東方ニ樽前山、白老山、紋別岳アリ南部ニ有珠(ウス)岳アリ北、後志ニ近
キ所、後方羊蹄山(シリベシ)(マクカリヌアリ山)アリ、

(四四九) 諸水ヲ記セ、

湖ニ支笏(シコツ)湖アリ千歲(チトセ)川之ニ入ル川ノ上流ニ長都沼アリ、
又中部ニ洞爺(トウヤ)湖アリ、國中ノ川數十流アリ、噴火灣ニ落ツルモノ
ニ勇羅布(ユウラツブ)長萬部(ヲシヤマンベ)長流別(ヲシヤルベツ)稍大ナ

リ、東方ニアルモノ幌別(ホロベツ)敷宇(シキウ)白老(シラオイ)勇拂(ニ
ウフツ)六川(ムツカハ)稍大ナリ、

(四五〇) 郡名ヲアゲヨ、

千歲(チトセ)山越(ヤマクシナイ)虻田(アアタ)室蘭(ムロラン)有珠(ウス)
幌別(ホロベツ)勇拂(ユウフツ)白老(シラオイ)

(四五一) 都邑ヲ記セ、

室蘭ハ繪鞆岬、北方ノ灣中ニアリ北海道及ヒ陸奥ノ海岸ヲ管スヘキ軍港ニ
シテ亦新開港ノ一ナリ、コノ外、追分、苫小牧(トマコマイ)有珠アリ、

(四五二) 物産ヲ問フ、

硫黃、海産(渡島ノニ同シ)

石狩誌

(四五三) 境域ヲ問フ、

北、天塩ニ界シテ一角ヲ伸ヘ東、北見十勝ニ接シ、南、日高、膽振ニ界シ
而シテ西ハ南半後志ニ界シ北半海ヲ受ク形四指ヲ握リテ拇指ヲ張ルガ如シ

(四五四) 地勢ヲ問フ、

○日本地理問答

千島火山脈ハ東南境ヲ限リテ本島ヲ縦貫シ天塩岳ノ山脈ハ國ノ東境ヲ劃シ其ノ支脈ハ國ノ北ヲ界シカクシテ國ノ三方ハ山岳ニ圍繞セラレ西ノ一方ハ海ニ臨ミ石狩川之ヲ灌溉シテ石狩ノ大平野ヲナスコノ平野ハ本道中最モ有望ナル區域ナリ、

(四五五) 諸山ヲ問フ、

南ニ夕張岳アリ東境ニ十勝岳、ヲアヌテシケ岳、石狩嶽、天塩アリ、西北ニ雄冬嶽アリ、

(四五六) 諸水ヲ問フ、

石狩川ハ源ヲ石狩嶽ニ發シ、山間ヲ流レ下リテ上川ノ原野ニ出テ北ヨリ來レル雨龍川及ビ南ヨリノ空知川等ノ衆流ヲ合シ石狩港ニオイテ海ニ入ル、其ノ流路百七十里舟楫ノ通スルコト百里、本邦第一ノ長流ナリ、鮭漁ノ盛ナル我邦第一ナリ、

(四五七) 石狩大平野トハ如何、

石狩川及ビ其ノ支流ノ流域バ之ヲ石狩大平野トシ南北三十七里幅平均五里ニ亘リ、後來有望ノ區域ナリ、

(四五八) 郡區名ヲ擧ゲヨ、

札幌區(サツポロ)札幌郡、石狩郡、厚田(アツタ)濱益(ハマヤシケ)空知(ソラチ)夕張(ユウバリ)雨龍(ウリユウ)樺戸(カバト)上川(カミガハ)

(四五九) 都邑ヲ問フ、

札幌ハ石狩原野ノ西南隅、豊平(トヨヒラ)川ノ岸ニ位シ北海道廳、第七師團司令部農學校、其ノ他諸種ノ製造所アリ近時大ニ人口ヲ増シ鐵道ノ設ケアリテ交通至便ナリ、コノ外、石狩、岩見澤、夕張、幌内、幾春別、歌志内(カシナイ)空知太(ソラチフト)上川等ノ市邑アリ、

(四六〇) 物産ヲ問フ、

石炭、鮭、海産(渡島ノニ同シ)ビール、砂糖、

天 塩 誌

(四六一) 境域ヲ問フ、

西、海ニノゾミ東北、北見ニ界シ南、石狩ノ角地ニ跨リ地形入字ヲナス、

(四六二) 地勢及ビ山川ヲ記セ、

天塩山脈ヲ以テ北見ト脊合ヲナシ南境ニハ其ノ支脈アリ天塩嶽、宗谷(ソ)

ウヤ) 嶽ヲ主ナル山トス、天龍川ハ天塩嶽ヨリ發源シ流程七十八里本道第
二ノ大河ニシテ其ノ流域ハ即天鹽平野ナリ、

(四六三) 都邑ヲ記セ、

天塩ニ長港ナク、増毛(マシク)留萌(ルルモツペ)鬼鹿(オニシカ)筈前等ア
ルノミ、

(四六四) 属島ヲ問フ、

西海ニ二小島アリ燒尻(ヤケシリ)天賣(テウレシリ)ト云フ、

(四六五) 郡名ヲ擧ゲヨ、

増毛(マシク)留萌(ルルモツペ)苫前(トイマヘ)天塩、中川(ナカカハ)上川

(四六六) 物産ヲ問フ、

天塩産布、其ノ他ノ海産、

北見誌

(四六七) 境域ヲ問フ、

北海道ノ極北ニアリ、南ハ西一半、天塩、石狩、十勝ニ界シ、東一半釧路
根室ニ界シ北方一帶海水ヲ受ク、

(四六八) 地勢ヲ問フ、

天塩山脈ヲ以テ西、天塩ト脊合ヲナシ南境一帶ハ千島火山脈連亘ス北方、
宗谷岬ヨリ東端、知床(シレットコ)岬マテハ一大弓状ヲナシ、其ノ直經七十
余里ニシテ越後ト共ニ縦ニ最モ長キ國トス、

(四六九) 海岸ノ有様ヲ問フ、

海岸線ハ長キモ長港ナク冬ハ氷塊ノ爲メニ船ノ便ヲ欠ク、

(四七〇) 諸山ヲ記セ、

南境ニ長牛(ラウシ)山、斜里(シヤリ)嶽、釧路嶽アリ、西ニ常呂(トコロ)
嶽、天塩岬、宗谷岬アリ、

(四七一) 諸水ヲ記セ、

河水ハ大抵短促ナリ、ユーベツ川、常呂川、網走(アバシリ)川ヲ稍大ナリ
トス湖水ニ網走湖、熊取湖、猿間湖アリ、猿間(サルマ)湖最モ大ニシテ周
圍二十里アリ、

(四七二) 郡名ヲアゲヨ、

宗谷(ソウヤ)枝幸(エサシ)利尻(リーシリ)禮文(レアンシリ)網走(アバシ)

リ)常呂(トコロ)斜里(シヤリ)紋別(モンベツ)

(四七三) 市邑ヲ記セ、

宗谷ハ露領樺太ト僅ニ十里ヲ隔ツ、枝幸ニ砂金ノ發見アリテ來集スルモノ多シ、コノ外、稚内、紋別、網走アリ、

(四七四) 屬島ヲ記セ、

利尻、禮文、

(四七五) 物産ヲ記セ、

黄金、海産、

日高誌

(四七六) 境域ヲ問フ、

東、十勝ニ界シ、西南、海ニノツミ西ヨリ北ニ至リテ膽振、石狩ニ界ス地形畧ニ三角ヲナス、

(四七七) 地勢ヲ問フ、

天塩山脈延長シテ日高山脈トナリ日高、十勝間ニ連亘シ其ノ南端ノ突角ハ襟裳岬(エリモ)ナリ、而シテ海岸ニハ船ヲ寄スヘキ地ナシ、

(四七八) 諸山川ヲ記セ、

東境ニ芽室山、神威岳、獵虎岳アリ西境ニ近ク沙流(サル)河アリ、其他細流數多アリ皆南流シテ海ニ入ル、

(四七九) 郡名ヲ記セ、

沙流(サル)新冠(ニヒカツプ)靜内(シツナイ)浦河(ウラガハ)様似(ヤシマニ)幌源(ホロイツミ)三石(ミツイシ)

(四八〇) 市邑ヲ記セ、

沙流ニ源義經ノ祠アリ、義經、高館ヨリ逃レテ此コニ來リ蝦夷ヲ治セリト新冠ニハ御料牧場アリ、

(四八一) 物産ヲ問フ、

海産、

十勝誌

(四八二) 境域ヲ問フ、

東釧路北見ニ界シ、北石狩ニ斜接シ、西日高ニ正接シ東南海ニ枕ム、地形畧々斜角ヲナス、

(四八三) 地勢及山川ヲ記セ、

北ニ千島火山脈連亘シ南ハ海ニ臨ミ中部ハ十勝川ノ流域ニシテ有望ナル平野ナリ、而シテ北ニハ石狩岳、ヲアタテシケ岳、十勝岳アリ、西境ニ等呂岳、芽室山、神威岳、等アリ、又十勝川ハ十勝岳ヨリ發水シ、ヲトアケ川トシベツ川ヲ合セテ中部ノ平野ヲ灌溉シ又浦幌川ヲ合セテ海ニ入ル、流路五十里石狩川、天塩川ト共ニ北海道ノ三大河ト稱セラル、

(四八四) 郡名ヲ記セ、

廣尾(ヒロヲ)當縁(タツアチ)中川(ナカガハ)十勝、河西(カサイ)河東(カトウ)上川(カミカハ)

(四八五) 十勝石トハ如何、

十勝石ハ本名ヲ黒曜石又ハ火山玻璃ト云ヒ、火山石ノ最モ美ナル者ニシテ磨リテ卸、風鎮等ニ用ヒラル、

(四八六) 物産ヲ問フ、

海産、

釧路誌

(四八七) 境域ヲ問フ、

西ハ十勝、北ハ北見、東ハ根室ニ界シ、南ハ海ニ濱シ形、畧々方形ヲナス而シテ東北一隅ヲ欠キ東南余地ヲ抽ンツ、

(四八八) 地勢ヲ問フ、

北ニ千島火山脈アリ南方ニ平野アリ、山ニ雄阿寒岳、雌阿寒岳、釧路岳、硫黄岳アリテ北海道中ノ最寒地ナリ而シテ硫黄岳ヨリ多量ノ硫黄ヲ出ス、

(四八九) 諸水ヲ記セ、

此ノ國湖水甚多ク雌、雄阿寒岳ノ間ニ阿寒湖アリ、水流レテ阿寒川トナル湖邊温泉アリ、釧路湖ハ其ノ東北ニアリ湖中ニ島アリ水ハ流レテ釧路川トナル、其ノ東ニ又摩周(マシウ)湖アリ釧路川ハ阿寒川等諸湖ノ水ヲ合セテ釧路ニ至リテ海ニ入ル、

(四九〇) 郡名ヲ記セ、

厚岸(アツケシ)釧路(クシロ)白糠(シヲヌカ)上川(カミカハ)阿寒、足寄(アソヨロ)

(四九一) 市邑ヲ記セ、

日本地理同書

釧路川口ニ釧路アリ、其ノ東方ニ厚岸灣アリ灣内、厚岸アリ良港ト稱セラル、

(四九二) 物産ヲ記セ、
硫黃、

根室誌

(四九三) 境域ヲ問フ、
北海道本地ノ極東ニアリ西、釧路、北見ニ界シ、東、海ヲ受ケ形、張テ發セサル弓ノ如シ、

(四九四) 地勢ヲ問フ、
北ニ千島火山脈連亘シ東北知床岬ト東南納沙布(ノツシヤフ)岬トハ相對シテ根室灣ヲナシ、中間ニ半島アリ野付(ノツケ)ト云フ海岸ハ低地ニシテ其釧路ト界スル所ハ總テ蘆荻ノ場ナリ、

(四九五) 諸水ヲ問フ、
半島野付ノ北ニ支別(シベツ)川アリ、南ニ西別(ニシベツ)川アリコノ川ノ鮭ハ有名ナリ、又楓蓮(フーレン)湖ハ灣ノ西南隅ニアリニ水西ヨリ來リテ

之ニ入ル、

(四九六) 郡名ヲ擧ゲヨ、

根室(ネモロ)花咲(ハチサキ)野付(ノツケ)標津(シベツ)目梨(メナシ)

(四九七) 市邑ヲ記セ、

根室ハ函札、館幌ニ次ク北海道ノ都會ナリ、良港ナレドモ冬季ノ船ノ通ゼサルハ惜ムベシ花咲ハ半島ニオイテ根室ノ反對ノ側ニアリ又要津ナリ、

(四九八) 物産ヲ問フ、
海産、

千島誌

(四九九) 千島群島ノ位置ヲ問フ、

北緯三十五度五十分根室灣ヨリ起リ北東ニ星羅シテ五十度五十六分、露西亞ノ甘察加ニ亘ル、其ノ間三百有余里、

(五〇〇) 千島ノ島嶼ノ數ヲ問フ、

國後(クナシリ)色丹(シコタン)擇捉(エトロフ)得撫(ウルツブ)新知(シムシル)計吐夷(ケトイ)羅處和(ラシユワ)松輪(マツワ)捨子古丹(シヤシコタ

ン)加亞蓮古丹(カアレノコタン)温彌古丹(ランキコタン)波羅茂里(バラモアリ)占守(シムシユ)門賴度(アライト)等三十二島アルモ無人島多シ、

(五〇一) 我北門ノ地ヲ問フ、

占守島ハ我國ノ東北端ニシテ千島海峽(又クリル海峽)ヲ隔テ、甘察加半島ト相對ス、近時海軍大尉郡司成忠、報効義會ヲ組織シテ此ノ島ニ移住シ、北門ノ鎖鑰ヲ守ラントス、

(五〇二) 千島山脈ヲ問フ、

千島列島ハ火山列島ノ好例ニシテ島中ニ四十余ノ活火山若クハ休眠火山ヲ有シ其ノ形、圓錐形ヲナスモノ多ク山脈ノ向キハ島形ト同ク

(五〇三) 郡名ヲアゲヨ、

國後、擇捉、振別(フウレベツ)紗那(シヤナ)藍取(シベトロ)得撫、新知、占守、色丹、

(五〇四) 市邑ヲ問フ、

人口稀薄、一方里ノ人口四人ニ過ギズ從テ都會ト稱スベキモノナシ、擇捉ノ紗那ニ鑛詰製造所アリ、

(五〇五) 千島ニ著シキモノヲ記セ、

(一)寒氣烈シ(二)臘虎、鯢肭獸群集ス(三)天然ノ露(フキ)長大ナリ(四)多ク硫黃ヲ産ス、

北海道概要

(五〇六) 境域ヲ問フ、

北、樺太(又サガレン島)ト對峙シヲコック海ニ瀕シ東太平洋ニ枕ミ西、日本海ニ面シ、南、東山道ト海峽ヲ隔ツ其ノ形、赤鯉(アカエイ)ノ尾ヲ掉フニ似タリ、大サハ本州ノ三分一アリ、

(五〇七) 地勢ヲ問フ、

山脈十字形ヲナシ其交叉ノ点山勢最、高峻ナリ即北ヨリ南ニ亘ルモノハ天塩山脈、日高山脈ニシテ東ヨリ西ニ連ルモノハ千島火山脈後志山彙渡島山脈コレナリ而シテ山脈ト山脈トノ間ハ廣大ナル原野ヲ挾ミ長大ナル河流之ニ灌溉ス就中、石狩、天塩、十勝ノ三川最モ大ナリ内地ハ到ル處ニ深林大木アリテ人跡到ラズ熊、鹿、豺群ヲナセリ、

(五〇八) 海岸ヲ問フ、

赤罈ノ頭部尾部ニ良港多ク他ハ大抵平直ノ沙濱ナリ、函館灣ハ津輕海峽ヲ隔テ、本土ノ陸奥ト相對スル灣曲ナリ、其ノ東岬、惠山ハ西北ニ噴火灣ヲ擁ス灣口ヨリ襟裳岬マデ、同岬ヨリ納沙布岬マテ海岸ハ共ニ弓形ヲナセリ納沙布岬ト知床岬トノ間ハ根室灣ナリヲコソク海ノ沿岸ハ知床岬ヨリ宗谷岬マテ又弓ノ如ク反リ宗谷岬ハ宗谷海峽ヲ以テ樺太ト相對ス日本海ニ面シテ積丹(シヤコタン)半島アリ其左右ニ小樽灣、壽都灣アリ、

(五〇九) 氣候ヲ問フ、

上川ノ最低溫度ハ零下二十三度ニ至リ東北部諸港ノ如キハ冬季ハ凍港トナレドモ其ノ寒氣ハ決シテ人ノ堪ユベカラサル程ニハアラズ偉度ハ正シク英ノロンドン府ヨリモ稍々南ニ位スルナリ、而レドモ親潮ハ東風ヲシテ寒カラシム、

(五一〇) 經緯度及延長幅員面積人口ヲ問フ、

北緯四十一度二十五分ニ起リ五十度五十六分ニ至リ東經百三十九度五十八分ヨリ百五十六度三十二分ニ達ス東西ノ延長大約百七十里南北ノ幅員率チ百三十里、面積六千九十四方里、人口五十万人、

(五一二) 區劃ヲ問フ、

本道ハ北海道廳ヲ以テ之ヲ總管シ十九個ノ支廳之ヲ分管ス、而シテ地勢上ヨリ之ヲ十一國ニ分テリ、

(五二二) 產物ヲ問フ、

人カ少ナキヲ以テ物產未、多カラサレドモ天然ノ富源甚饒ナリ、即近海ハ歐ノ瑞典諾威、米ノニューホンドラントト共ニ世界三大漁場ト稱セラレ鮮鮭、昆布、鱒、干鮑、煎海鼠等ノ多量ヲ産ス蠶業モ後來有望ニシテ大小豆大小麥、馬鈴薯等ヲ産シ稻モ生育セザルニハアラズ、森林ニハ樅松(トドマツ)蝦夷松、赤楊(ハンノキ)ノ大林多ク又多ク燐寸ノ軸木ヲ出ス、鑛物ハ石炭最モ多量ニシテ夕張、空知、幌內、郁春別、岩內其ノ名高シ、遊樂部ノ銀山、アトサノボリ硫黃山亦有名ナリ、牧畜ハ日高ノ評判高シ、

(五二三) 北海道ノ舊名及ヒ土人ノコトヲ問フ、

北海道ハモト蝦夷島ト稱シ其ノ住民ハ蝦夷人即アイヌナリキアイヌハ矇昧無智ニシテ文字ヲ知ラズ漁獵射獵ヲ以テ生活ヲ營ミ現今其ノ開化セルモノハ移住人ト雜居シ未開ナルモノハ深ク山林ニ遁ル

(五一四) アイヌ人ノ風俗ヲ問フ、

アイヌ人ハ性質甚朴直ニシテ敬神ノ風厚ク疾病災異アレハ常ニ之ヲ祈ル而シテ死者アレハ之ト居ラ異ニシ甚シキハ其ノ家ヲヤクニ至ル男子ハ遊獵ヲ事トシ女子ハ家政ヲ司リ紡織ニ從フ衣服ノ用料ハオヒヤウト稱スル木皮ヲ以テ製セルアツシ織或ハ獸皮ヲ兼用ス食料ハ肉類ヲ主トシ交フルニ百合等ノ野菜及ビ海藻ヲ以テシ殊ニ飲酒、喫烟ヲ嗜ム、

(五一五) 地名添ヘル(ベツ)(ノボリ)(ナイ)ノ意義如何、

此レ等ハアイヌ語ニテベツハ川ノ義、ノボリハ山ノ義、ナイトハ澤ノ義也(五一六) 鐵道線路ヲ記セ、

鐵道ハ膽振國室蘭港ヨリ白老、苫小牧、追分ニ至リ進ミテ石狩國ニ入り岩見澤、砂川、空知太、旭川、ヲ經テ天塩ノ士別ニ至ル此ノ線ハ天塩川ノ流域ニ出テントスルナリ支線ハ追分ヨリ夕張ニ至ル者ト岩見澤ヨリ幾春別、幌内ニ至ルモノト、岩見澤ヨリ札幌、小樽ニ至リ更ニ進ミテ函館ニ至ラントスル者ト砂川ヨリ歌志内ニ至ルモノト旭川ヨリ義瑛上富良野ニ至リ更ニ進ミテ十勝川ノ流域ニ出テ釧路ヨリ根室ニ至ラントスル者等アリ、

山陰道 丹波誌

(五一七) 境域ヲ問フ、

東南山城攝津ノ間ニ角入シ西、播磨、但馬ノ間ニ角入シ、北東亦丹後若狹ノ間ニ角入ス獨リ正東僅ニ近江ニ界ス東西ノ地南北ニ比スレハ稍々長ク形能甲ノ如シ、

(五一八) 地勢ヲ問フ、

コノ國ハ無海國ニシテ嵐山ヲ以テ京都ニ、大江山ヲ以テ丹後ト界ス、國內ノ水理ハ分レテ三トナル一ハ山城方面ニシテ其ノ水ハ保津(ホヅ)川トナリ大堰川トナル一ハ丹後方面ニシテ其ノ水、福知川トナリ由良川トナル一ハ播磨方面ニシテ其ノ水ハ加古川トナル、

(五一九) 諸山ヲ問フ、

丹波ノ境ニ三岳大江山、一名鬼城、赤目、三仙アリ若狹ノ境ニ頭巾岳アリ近江ノ境ニ知井山アリ、

(五二〇) 諸水ヲ記セ、

○日本地理問答

福知川ハ東境ヨリ來リ、處ニ從フテ其ノ名ヲ異ニシ大野川、和知川ト云フ
福知山附近ニテ土師川、和久川ヲ合シ丹波ニ入り由良川又、大川トナル、
殿田川ハ近江ノ境ヨリ來リ、園部川攝津ノ境ヨリ來リ合シテ一トナリ龜岡
ノ北ヲ過キテ山城ニ入ル此ノ水、又、處ニ從フテ其ノ名ヲ異ニシ鳥羽川、
並河、保津川山本川ト云フ大堰川ノ上流ナリ、

(五二一) 郡名ヲアゲヨ、

南桑田、北桑田、船井、天田、何鹿(イカルガ)多紀(タキ)氷上(ヒガミ)

(五二二) 都邑ヲ記セ、

福知山ハ福知川ノ沿岸ニアリテ第十師團ノ位地ナリ、綾部、園部、龜岡、

(舊名龜山)、篠山(ササヤマ)モ名邑ナリ

(五二三) 物産ヲ問フ、

煙草、栗、丹波、但馬(播磨ノ相接スル邊ニ多シ)松茸、牛、紬、

丹後誌

(五二四) 境域ヲ問フ、

東ハ若狹、南ハ丹波、西南ハ但馬ニ接ス而シテ北方一帯地水雄長ヲ爭フ其

他形廣狹若狹ト畧相若ケリ、但左右相反スルニミ、

(五二五) 海岸ヲ問フ、

丹後半島ノ突端、經岬ハ越前ト相對シテ若狹ノ大灣ヲナシ、灣内ニ舞鶴軍
港アリ宮津灣アリ宮津灣ノ北岸ノ小岬南方ニ伸出シタルヲ天ノ橋立トス橋
立ハ我國三景ノ一ニシテ万松、海波ト相映シ風景殊ニ佳ナリ、經岬ノ西ニ
宇川浦、竹野浦、掛津浦アリ以テ但馬ニ接ス、

(五二六) 河流ヲ問フ、

由良川ハ丹波福知川ノ下流ニシテ由良ノ海ニ注グ、野田川ハ宮津灣ニ注グ
コノ外、佐野川、竹野川アリ、

(五二七) 郡名ヲアゲヨ、

加佐(カサ)與謝(ヨサ)中、竹野(タカノ)熊野、

(五二八) 都邑ヲ問フ、

舞鶴ハ昔ノ田邊ノ地ニシテ日本海岸ヲ管スル軍港ナリ、宮津ハ新開港ノ一
ナリ、附近ニ縮緬ヲ産ス由良久美濱モ名邑ナリ、

(五二九) 物産ヲ問フ、

牛、海魚、縮緬、

但馬誌

(五三〇) 境域ヲ問フ、

南、播磨、丹波ノ間ニ角接シ、東一頭地ヲ丹波丹後ノ間ニ出シ西、因幡ニ隣リ、北、海ニノゾム、形、西洋ノ茶碗(チーコップ)ノ如シ、

(五三一) 諸山ヲ記セ、

境上ニ山多ク東南ニ朝來(アサコ)山アリ、其西南ヲ生野(イクノ)トス有名ナル銀山ニシテ金銀ノ産額大約佐渡ニ半バズ、豊岡川ノ下流ニ當リテ三開(ミビラキ)山アリ、但馬富士ノ稱アリテ白山火山脈ノ休火山ナリ、

(五三二) 河流ヲ問フ、

豊岡川ハ生野ノ邊ヨリ發源シテ北流シ極東ヨリ來ル出石(イツシ)川等ノ諸水ヲ合セテ北海ニ注ク又朝來川ト云フ其ノ西ニ市場川、大谷川等ノ小流アリ、

(五三三) 郡名ヲアゲヨ、

城崎(キノサキ)出石(イツシ)養父(ヤブ)朝來(アサコ)美方(ミカタ)

(五三四) 市邑ヲ記セ、

豊岡川ノ沿岸ナル八鹿(ヤラカ)附近ニハ牧牛盛ナリ出石ニハ燒物ヲ産ス豊岡モ有名ナリ、城崎ニ温泉アリ濱阪諸寄ハ海岸ノ一小市ナリ、

(五三五) 玄武洞ヲ記セ、

玄武洞ハ城崎温泉ノ附近ニアリ、黒色ノ柱狀ヲナセル玄武石ハ無數ノ材木ノ如クニ積累シテ實ニ一奇觀ナリ、玄武石ハ十勝石、伊豆石、浮石ト同ク火山質ノ石ナリ、

(五三六) 物産ヲ問フ、

牛、金、銀、柳行李、出石燒、

因幡誌

(五三七) 境域ヲ問フ、

地形方正、其ノ境、北海ニノゾミ東、但馬ニ界シ東南播磨ニ接シ南ハ美作西ハ伯耆ニ境ス而シテ美作ノ境地少ク出入ス、

(五三八) 諸山ヲ記セ、

境上山ヲ繞ラス、東方ニ因幡山、豹ノ山、菅山アリ東北ニ稻葉山アリ往昔

ノ宇陪山ナリ東南ニ池田山アリ南方ニ副山、名木山アリ西方ニ三國山鷲峯
(シウホウ)山アリ、

(五三九) 諸水ヲ記セ、

加露(カロ)川又ノ名千代(チンダイ)川ハ國ノ正南ヨリ北流シ東西數水ヲ合
シテ北海ニ入ル東ニ湯山池、細川池アリ、西ニ湖山池アリ、池水加留川ト
共ニ海ニ入ル、奥澤見池、日光池ハ其ノ間ニアリ、

(五四〇) 郡名ヲアゲヨ、

岩美(イハミ)八頭(ハットツ)氣高(ケタカ)

(五四一) 都邑ヲ説ケ、

鳥取ハ千代川ノホトリニアリ山陰屈指ノ都會ニシテ鳥取縣廳アリ、國ノ西
境ニ鹿野アリ、

(五四二) 物産ヲ問フ、

硯石、白珊瑚、鱧、木綿、

伯耆誌

(五四三) 境域ヲ問フ、

東、因幡ニ接シ東南、美作、備中ニ接シ中間少シク陥リ東西圭角ヲ備後出
雲ノ間ニ入ル北方一帶東ヨリ西ニ至ルマテ海面ニ彎出シ而シテ出雲ニ近キ
處大岬アリ、地、東西ニ長ク南北ニ短シ故ニ全國ノ形函ヲ倒ニスルガ如シ

(五四四) 山岳ヲ問フ、

國境ニ山多シ中央ニ大山(ダイセン)一名大神山アリ中國第一ノ高山ニシテ
富士山ニ半バシ白山脈ノ休火山ナリ、其ノ東方ニ蛭山(ヒルセン)アリ北麓
ニ鍋山、能見山、瓦山アリ船上山ハ後醍醐帝ノ隱岐ヨリ潛幸アリシ地ナリ

(五四五) 諸水ヲ記セ、

東方、海邊ニ東部池アリ北、海ニ通ス、南方ノ諸水相集シテ其ノ西ヨリ海
ニ入ル之ヲ橋津川ト云フ、日野川ハ源ヲ國ノ西南ニ發シ東北ニ向フテ馳セ
大岬ノ東ヨリ海ニ入ル、

(五四六) 郡名ヲ問フ、

東伯、西伯、日野、

(五四七) 都邑ヲ問フ、

米子ハ出雲境ニ近シ境ハ新開港ノ一ニシテ出雲ノ島根半島ト人字形ヲナセ

ル夜見ガ濱ノ北端ニアリ、淀江、八橋、倉吉モ名邑ナリ

(五四八) 物産ヲ問フ

鐵、水晶、苧、麻、白珊瑚、蠟、木綿、

出雲誌

(五四九) 境域ヲ問フ、

東ハ伯耆、南ハ備後、西南ハ石見、三所等シク正接シ西北同シク海ニノツム島根半島ハ夜見ケ濱(ヨミガハマ)ト人字形ヲナシテ内ニ中ノ海ヲ抱ク、

(五五〇) 諸山ヲ記セ、

石見ノ境ニ琴引山アリ三瓶山一名形見山アリ、南ニ船通山(センツウザン)アリ之ハ昔ノ簸ノ川上(ヒノカハカミ)ナリ、北方ニ八重垣山アリ半島ノ地ニ枕木山アリ、

(五五一) 諸水ヲ記セ、

中ノ海ニ大根島アリ、井尻(井ノリ)川、富田川コノ海ニ注グ、中ノ海ト相通シテ大湖アリ宍道湖(シムヂコ)ト云フ、簸川(ヒノカハ)一名大川ハ船通山ニ發源シ北流シ兩派ニ分レテ湖ニ入ル古志川、一名神門(カンド)川ハ西

南隅ニ發シ北流シテ西濱ニ落ツ、

(五五二) 郡名ヲアゲヨ、

八束(ヤツカ)能義(ノギ)仁多(ニタ)大原、簸川、飯石(イヒシ)

(五五三) 都邑ヲ記セ、

松江ハ山陰地方第一ノ都會ニシテ宍道湖、中海ノ間ナル馬潟瀬戸ニ跨リ運漕ノ便ヨリ市況繁昌、島根懸廳此ニアリ、湖中ヨリ鱸ヲ出ス、杵築(キツキ)ニ大社(オホヤシロ)アリ大國主命ヲ祀ル又東方ニ安來アリ、

(五五四) 岬崎ヲ問フ、

西方ニ日御崎アリ北方ニ多子浦アリ東方ニ地藏鼻アリ、

(五五五) 物産ヲアゲヨ、

人參、牛、鐵、苧、麻、十六島海苔(ウツアルイノリ)鱸、蠟、木綿

石見誌

(五五六) 境域ヲ問フ、

西、長門ニ界シ東ニ折レテ周防ニ接シ既ニシテ安藝ノ大灣ヲ受ケ東南一点備後ニ交ハリ東、出雲ニ界シ、北ハ総テ海ニ面ス、其ノ海濱、西ヨリ東ニ

○日本地理問答

至ルマテ弛ミテ又張ル地形東西ニ長ク南北ニ短ク殆、鬪雞ノ頭ニ似タリ、
嘴ハ東ニ向フ、

(五五七) 山岳ヲ記セ、

出雲境ニ三瓶山アリ安藝、周防ノ境ニ鬼ガ城(オニガジャウ)山アリ長門ノ
境ニ徳佐ガ岳アリ其ノ北ニ高津山アリ、

(五五八) 河流ヲ記セ、

高津川(タカツノカハ)ハ上流ヲ和田川ト云ヒ鬼ガ城ヨリ發源シテ北流シ數
水ヲ合セテ海ニ入ル、其ノ東ニ久々茂川、岡崎川、周布川アリ、石見川又
名江川(ゴウノカハ)ハ國ノ南境、備後ヨリ來リ、諸水ヲ合シ西北ニ流レ星
高山ノ東ヲ過ギ海ニ入ル之ヲ中國第一ノ大河トシ水源ヨリ七十余里アレド
モ舟楫ノ便ハ其ノ半バナリ、

(五五九) 郡名ヲアゲヨ、

邇摩(ニマ)安濃(アノ)邑智(オホチ)那賀(ナカ)美濃(ミノ)鹿足(カノアシ)

(五六〇) 都邑ヲ記セ、

津和野(ツワノ)舊名三本松ハ國ノ西南隅ニアリ、附近ニ銀山アリ所謂石見

銀山鼠取ハ粗製ノ砒石ナリ濱田ハ國ノ中央海岸ニアリ新開港ノ一ニシテ石
見半紙及鐵ノ市場ナリ

(五六一) 物産ヲ問フ、

銀、鐵、銅、硫黃、苧、麻、半紙、

隱岐誌

(五六二) 地位ヲ問フ、

隱岐ハ出雲ヨリ二十七湮ヲ距ツル日本海中ノ群島ニシテ大島四及ビ二十一
ノ小島トヨリ成ル、

(五六三) 郡名ヲアゲヨ、

海士(アマ)周吉(スキ)穩地(ヲチ)知夫(チアリ)アリ一島廳之ヲ治ス、

(五六四) 島嶼ノ主ナルヲ記セ、

北ナル最大ノ一島ヲ島後(タウゴ)ト云ヒ西郷港ハ佳港ナリ南ノ一群ヲ島前
(タウゼン)ト云フ、島前ニ大島三アリ、西ナルヲ西島ト云ヒ郷浦アリ東ナ
ルヲ中ノ島ト云ヒ後鳥羽帝ノ陵アリ港ニ知々井港アリ南ナルヲ知夫里島ト
云ヒ後醍醐帝、黒木御門ノ宮址アリ、海底電線ハ出雲ヨリ來ル、

(五六五) 隱岐火山脈トハ如何、

佐渡、能登ヨリ來レハ一條ノ火山脈ハ隱岐島ヲ噴起ス之ヲ隱岐火山脈ト云

(五六六) 物産ヲ問フ、

板材、鮑(アハヒ)海參、錫、

山陰道概要

(五六七) 境域ヲトフ、

東方、畿内、北陸道ニ接シ南方山陽道ト相背キ北方、日本海ニ枕ム、東ヨリ西ニ横ハル、

(五六八) 經緯度ヲ問フ、

隱岐ヲ除キ本土中ニ存セルモノハ北緯三十四度十八分ニ起リテ三十五度四十八分ニ終リ東經百三十一度五十五分ヨリ百三十六度ニ盡ク、

(五六九) 其ノ延長幅員及面積人口ヲ記セ、

隱岐ヲ除キテ其ノ延長八十里余、幅員八里乃至十二里面積一千二百六十七方里人口百八十四萬人、

(五七〇) 區劃ヲ問フ、

古來、山陰、山陽兩道ヲ併セテ中國ト汎稱セリ、地形上ノ區劃ハ八國ニシテ行政上一府三縣トス、

(五七一) 地勢ヲ問フ、

本道ハ東ヨリ西ニ連亘シ南ニ中國山脈ヲ負ヒ北ハ日本海ニノヅムヲ以テ南方ヨリ北方ニ向ヒテ低下シ且、平カナリ、故ニ河流ハ日本海ニ向フ而シテ丹波ノ一國ハ南東隅ニ介在シテ海ニ面セズ、

(五七二) 氣候ハ如何、

南北緯度ノ差僅少ナルガ故、寒暖ノ差、甚シカラズ、南方ノ山脈ハ日本海ノ寒冷ナル海風ヲ遮ギルカ故ニ寒冷ニシテ積雪ノ期永シ、

(五七三) 雨量ハ如何、

北陸道ニ比スレハ雨量稍少シ、コハ山脈ノ方向ノ南北ニ走リテ西北風ヲ正面ニ受ケサルニヨル、

(五七四) 岬角ヲ記セ、

丹後、出雲ノ外ハ海岸ノ屈曲、甚タ少シ、丹後ノ北東ニ成生岬アリ經崎、鷲岬ト相對ス、但馬ニ鬼門岬、猫崎、余部岬アリ出雲ニ地藏鼻、美保關、

多古鼻、十六島鼻(ウツフルイノハナ)追石岬アリ石見ノ海上ハ石見潟ナリ

(五七五) 日本海ノ波浪ノ有様ヲ問フ、

南部ハ海床淺ク平穩ナルモ北部ハ北海ヨリ來ル寒潮ノタメニ怒濤ヲ起シ又西部ハモンsoonノ余波ヲ受ク、

(五七六) 風俗ヲ問フ、

古來交通少ナキヲ以テ民俗概ネ樸素ナレドモ稍々固陋ニ近シ丹波丹後ハ殊ニ從順、出雲ハ巽敬ノ風多ク但馬ハ淳朴、隱岐ハ更ニ淳朴ナリ、

(五七七) 民業ヲ問フ、

花崗石多ク地味瘠セタルヲ以テ山間ノ民ハ探礦ニ從事スルモノ多シ、銀山ハ生野、石見ニアリ鐵山ハ雲石藝備ト稱セラル、沿海ノ民ハ漁網ノ利アルモ比較的ニ収利少シ、而シテ一般ノ産業ハ牧牛ト養蜂トナルベシ、

(五七八) 鐵道線ヲ問フ、

京都鐵道ハ京都ヨリ丹波ニ入り龜岡ヲ經テ園部ニ至リ更ニ進ミテ舞鶴軍港ニ達セントス、阪鶴鐵道ハ大阪ヨリ攝津ヲ經テ丹後ニ入り篠山、柏原ヲ經テ福知山ニ達シ是モ舞鶴ニ至ラントスルナリ播但鐵道ハ播磨ヨリ來テ生野

ニ達ス更ニ朝來川ノ流域ニ至ラントス其ノ他、豫定線ニハ敦賀舞鶴線、阪鶴ト播但トノ連絡線、姫路鳥取、米子線、岡山津山米子線等アリ、

(五七九) 日本海ノ海岸ハイカン、
日本海ノ延長ハ六百五十里ニ出テスシテ大ナル屈曲ナシ、只八郎潟、七尾灣、若狹灣、出雲ノ小屈曲アルノミ、

山陽道

播磨誌

(五八〇) 境域ヲトフ、

東攝津ニ界シ北丹波但馬ニ界シ西北一角因幡ニ接シ西、美作ト出入シ西南備ニ隣リ、南、海ニノゾミ地形方ニシテ長、

(五八一) 地勢ヲ問フ、

北ニハ中國山脈、山城、攝津ヨリ連絡シ其ノ枝脈ハ東西ニ亘リ南ハ播磨灘ニノゾミ諸川悉ク此ノ海ニ注グ、

(五八二) 諸山岳ヲ記セ、

東北隅ニ武士ノ山(ムシ)ニ草山アリ北方ニ瀧谷峯、金倉(カチクラ)山アリ

國ノ半ニ當リテ南ニ書寫(シヨシヤ)山アリ北ニ笠形山雪彦山アリ東南ニ白旗山アリ、備前境ニ船阪峠アリ、美作ノ境ニ杉阪峠アリコノ二峠ハ元弘ノ亂ニ兒島高德ニヨリテ名高シ、

(五八三) 河流ヲ記セ、

攝津ノ境ニ堺川アリ其ノ西ニ明石川アリ加古川ハ丹波ヨリ來リ數水ヲ合シテ高砂ニ至リテ海ニ入ル、流程二十八里市川ハ國ノ正北ヨリ來リ姫路ヲ經テ海ニ入ル楫保川(宍粟川)ハ北境ヨリ發水シテ三方、西谷ノ諸水ヲイレ海ニ入ル有年(ウキ)川又ノ名千草川ハ北境ニ發シ西方諸水ヲ集メテ海ニ入ル

(五八四) 郡名ヲアゲヨ、

明石(アカシ)美囊(ミノ)加東(カトウ)加西(カサイ)加古(カコ)多可(タカ)印南(インナミ)飾磨(シカマ)神崎(カンザキ)楫保(イボ)赤穂(アカホ)佐用(サヨ)宍粟(シサハ)

(五八五) 市邑ヲ記セ、

舞子ノ濱(マヒコ)ハ風景ヲ以テ著レ、明石ハ月ノ名所、明石玉ノ產地ニシテ明石鯛ノ名高シ、高砂(タカサゴ)ノ松、曾根ノ松皆名所ナリ、姫路ハ市

川ノ流域ニアリ第八旅團ノアル所ニシテ革細工ニ名アリ城ハ豊公ノ築キシ所ナリ飾磨津ハ播但鐵道ノ起点ナリ龍野(タツノ)ハ醬油ニ著名ナリ赤穂ハ四十七士ト製鹽トニ名高シ、龍野ノ醬油ハ赤穂ノ鹽ニ賴ルコト多シ、室津ハ一良港ナリ、

(五八六) 屬島ヲ問フ、

西島、家島、男鹿島ヲ大ナリトス、

(五八七) 物産ヲ問フ、

石材、鹽、明石鯛、姫路革、醬油、

美作誌

(五八八) 境域ヲ問フ、

北、因幡ニ界シ、西、頭角ヲ伯耆備前ノ間ニ入ル南備前ニ界シ東、播磨ニ接ス形、巨人ノ武ノ如シ、

(五八九) 地勢ヲ問フ、

山陽道ノ無海國ニシテ中國山脈山北ニ亘リ南ハ久米ノ皿山ノ脈ヲ以テ備前ト界ス、

(五九〇) 山川ヲ記セ、

那岐山(ナキノセン)ハ東北ニアリ山脚南北ニ蟠ル津山川又ノ名東川ハ西北ヨリ津山ノ南ニ至リ南北ノ水ヲ合セテ南行シ東北ヨリ來ル一水ト南境ニ會シテ備前ニ入ル、高田川又ノ名西川ハ西北隅ニ發水シ勝山ノ西ヲ回リ東西ノ水ヲ併セ東南ニハセ備前ニ入ル、

(五九一) 都名ヲアゲヨ、

真庭(マニハ)苦田(トマタ)勝田、英田(アイタ)

(五九二) 市邑ヲ記セ、

津山ハ津山川ノ流域ニアリ足袋、木綿ヲ産ス、院ノ庄ハ備後三郎ガ櫻樹ニ題詩セシ所、久世、高田モ亦一小市ナリ、

(五九三) 物産ヲ問フ、

茶、雲齋織、

備前誌

(五九四) 境域ヲ問フ、

西、備中ニ界シ南ハ海ニ枕ミ東播磨ニ接シ北ハ美作ニ界ス、地北ニ狭ク南

ニ寛シ蓮房ノ狀ニ似タリ、

(五九五) 地勢ヲ問フ、

河水二道、美作ヨリ來リ全國ヲ三分ス播磨境ト東大川トノ間ハ其ノ一ナリ東西大川ノ間ハ其ノ二ナリ西大川ト備中境トハ其ノ三ナリ而シテ前面ナル兒島半島ハ元、海中ノ一島ナリシカ土砂海峽ヲ埋メ備中トノ間ニ地峽ヲナシ、ナリト、

(五九六) 河流ヲ記セ、

西ノ大川(又ノ名旭川、岡山川)ハ美作、高田川ノ下流ニシテ國ノ西ヲ流ル長サ三十七里東ノ大川ハ又ノ名ヲ吉井川ト云ヒ美作、津山川ノ下流ニシテ國ノ東ヲ流レ河口ハ兒島ノ盡頭ニ向フ長三十一里コノ川ノ東岸ニ熊山アリ(五九七) 郡名ヲ擧ゲヨ、

御津(ミツ)和氣、赤磐(アカイハ)上道(ウヤウドウ)邑久(オク)兒島、

(五九八) 都邑ヲ記セ、

岡山市ハ西大川ノ流域ニ位シ陸ニ汽船アリ、海ニ汽船アリ中國第二ノ都會ニシテ岡山縣廳アリ後樂園ハ日本三公園ノ一ナリ、伊部(イノベ)ハ備前燒

○日本地理問答

長船(ヲサフキ)ハ刀劔ノ產地ナリ、虫明、牛窓ハ東大川以東ノ港ニシテ下津井、藤戸ハ兒島ニアリ、

(五九九) 物産ヲアゲヨ、

烟草、蠟石、綠礬、牛、躰、疊表、伊部燒、長船刀、

備 中 誌

(六〇〇) 境域ヲ問フ、

コノ國ハ鳥賊ノ狀ノ如シ頭ヲ北、美作伯耆ノ間ニ插ミ左右ヲ備前備後ニ接シ腰、海ニノゾミ足、海中ニ曲出ス而シテコノ曲出ノ地ハ備前ニ屬ス、

(六〇一) 諸山岳ヲ記セ、

到ル處山アリ又平地アリ北隅ニ劍山、花見山アリ其ノ南方ニ新野山アリ又青瀧、赤瀧諸山アリ、高梁ノ東北ニ井山忍山アリ西方ニ彌彦山アリ、

(六〇二) 河流ヲ記セ、

高梁(タカハシ)川又ノ名甲部川(カフベ)ハ北ニ發水シ數流ヲ會シテ國ノ中身ヲ貫キ備後ヨリ來レル成羽川、西方ニ發源シテ東南ニ流ル、小田川トヲ合セテ海ニ入ル、長サ二十八里、

(六〇三) 郡名ヲアゲヨ、

都窪(ツクボ)川上、上房(ウヤウボウ)阿哲(アテツ)淺口(アサクチ)後月(シツキ)小田、吉備(キビ)

(六〇四) 都邑ヲ記セ、

高梁、倉敷、玉島、笠岡ハ名邑ナリ、

(六〇五) 島嶼ヲ問フ、

海中ニ數島アリ尤モ西ナルヲ水島ト云ヒコノ國ノ海上ヲ水島灘トイフ、

(六〇六) 高松ノ地ヲ問フ、

豊臣毛利對陣ノ地ナル高松ハ吉備郡高松村ナリ、

(六〇七) 物産ヲ問フ、

銅、鐵、綠礬、牛、疊表、紙、

備 後 誌

(六〇八) 境域ヲ問フ、

國ノ形、鷲島ノ頭ノ如ク、項背ヲ東、備中ニ接シ頭ヲ東北伯耆ニ界シ喉ト喉トヲ出雲石見安藝ニ接ス而シテ南、海ニノゾム所ヲ頸トス、

(六〇九) 山川ヲ問フ、

北境ニ美古登山一名烏帽子山アリ中部ノ御神山(オンカミヤマ)ハ水理ヲ南
北ニ分ツ東北部ノ水ハ備中ニ入り、蘆田(アシダ)川ハ西境ニ發水シ、東流
シ南ニ折レテ海ニ入ル三次川ハ西北諸水ト安藝ノ吉田川ヲ合セ石見ニ入リ
ヲ江ノ川トナル、

(六一〇) 郡名ヲ問フ、

御調(ミツキ)世羅(セラ)深安(フカヤス)沼隈(ヌマクマ)蘆品(アシナ)神石
(マンセキ)甲奴(カヌ)雙三(フタミ)比婆(ヒバ)

(六一一) 都邑ヲ記セ、

尾道市ハ前ニ向島(ムカヒシマ)ヲ控ヘテ良港ノ名高シ鞆ハ保命酒ニ名高ク
福山ハ多ク綿ヲ出ス而シテ絲崎ハ新開港ノ一ニシテ三原三次(ミヨシ)モ名
邑ナリ、

(六一二) 鳥嶼ヲ記セ、

向島、因ノ島、等其ノ數多シ、

(六一三) 物産ヲ問フ、

鐵、麻、鹽、蠶表、保命酒、

(六一四) 備後表ノ產地ヲ問フ、

備後表ハ福島正則カ獎勵シテ開キシ所ニシテモト鞆、尾道ニ産セシガ今ハ
三備地方ニハ皆之ヲ産ス、

安藝誌

(六一五) 境域ヲトフ、

西、周防ニ接シ北、大弓ヲ開キテ石見、備後ニ交リ東、鈍角ヲ備後ノ西南
ニ接ス南方一帶海ニノゾミ東出テ西入ル地形嚮體ノ如シ、

(六一六) 山川ヲ問フ、

東ニ鷹巢山アリ西ニ鬼カ城山アリ太田川ハコノ附近ヨリ發源シテ東南流々
廣島灣ニ入ル河口ハ三角稜ヲナス長サ二十三里大竹川ハ周防境ニアリ沼田
(ヌタ)川ハ東方ニ發水シ備後境ニオイテ海ニ入ル西條川ハ國ノ中央ニアリ
吉田川ハ西北ニ發シテ東流シ備後ニ入リテ三次川ニ合ス、

(六一七) 郡名ヲアゲヨ、

安藝、佐伯(サヘキ)安佐(アサ)山縣(ヤマガタ)高田、賀茂、豊田、

(六一八) 都邑ヲ記セ、

廣島市ハ中國第一ノ都會ニシテ廣島縣廳、控訴院、第五師團司令部、等アリ征清ノ役ニハ大本營ヲ進メラレタルコト殆ト一年ニ及ベリ、近海ヨリ多ク牡蠣ヲ出ス、南方ノ港ヲ宇品(ウツナ)トス吳ハ廣島灣ノ東頭突角ノ邊ニアリコノ軍港ノ鎮守府ハ近海及ヒ四國ノ外海ヲ鎮セリ、江田島ニ海軍兵學校アリ嚴島ニ嚴島神社アリ結構壯麗ヲ極メ日本三景ノ一ナリ、其ノ他竹原、忠海、吉田、可部、廿日市ハ各邑ナリ、

(六一九) 島嶼ヲ記セ、

島ニ生口島、大崎島、蒲刈(カマガリ)島、倉橋島、江田島、能美(ノウミ)島嚴島ヲ初メトシ小島數多アリ倉橋島ト陸地トノ海峽ヲ音戸ノ瀬戸ト云フ平松國ノ開キシ所ナリ、

(六二〇) 物産ヲ問フ、

鐵、麻、綿、牛、牡蠣、木綿、廣島藥罐、

周防 誌

(六二一) 境域ヲ問フ、

形、破レタル鰐殼(アハヒノカヒ)ニ似タリ東、海ト安藝トニ界シ、北、石見ニ接シ西北、長門ニ接ス南方一帶屈曲多シ之ヲ殼ノ敗處トス、

(六二二) 河流ヲ問フ、

西北ニ水合流シテ來リ委曲シテ岩國ノ東ニ落ッ之ヲ岩國川又錦川トイフ、長サ二十四里其ノ錦帶橋ハ天下ノ美觀タリ、佐波川ハ北方ヨリ來リ三田尻ノ海ニ注ク其ノ他數水アリ、

(六二三) 郡名ヲ問フ、

大島、玖珂(クガ)熊毛(クマゲ)都濃(ツノ)佐波(サバ)吉敷(ヨシキ)

(六二四) 都邑ヲ問フ、

山口ハ國ノ西方ニアリ山口縣廳、山口高等學校アリ、岩國ハ錦帶橋、半紙木綿縮ニヨリテ名高シ、三田尻ノ製塩ハ赤穂ニ次クコノ他、柳井津(ヤナイツ)室津、室積、上ノ關、中ノ關等アリ、

(六二五) 島嶼ヲ問フ、

此ノ國ノ海上ヲ周防洋ト云ヒ洋ニ突出シタル半島ヲ柳井津半島トス半島ニ接シテ大島、平群(ヘグリ)島其他數島アリ、

○日本地理同答

長門誌

(六二六) 境域ヲ問フ、

東石見ニ接シ東北周防ニ接シ其ノ他皆海ヲ環ス北ヨリ西ニ至リテ岬灣相錯
ハリ指屈スルニ勝ヘズ水理ハ半ハ山陰道ニ屬シ半ハ山陽道ニ屬セリ

(六二七) 山川ヲ問フ、

山ハ東境ニ德佐(トクサ)ガ岳アリ西ニ栗野山、大岳アリ、川ハ北流スルモ
ノニ阿武川又ノ名松本川アリ南流スルモノニ厚東川、又名廣瀬川、厚狹川
アリ、

(六二八) 郡名ヲアゲヨ、

厚狹(アサ)豊浦(トヨラ)美禰(ミネ)大津(オホツ)阿武(アブ)

(六二九) 都邑ヲ問フ、

赤間關市ハ下ノ關又馬關トモ云ヒ、海陸ノ運輸自在ニシテ内海ノ咽喉ナリ
早瀬瀬戸ヲ隔テ、門司(モシ)トハ僅ニ五町余アルノミニテ新開港ノ一ナリ
壇ノ浦ハ平家滅亡ノ地、萩(ハキ)ハ吉田松蔭、木村益次郎木戸孝允等ノ出
デシ地ナリ、

(六三〇) 海島ヲ問フ、

瀬戸ノ外ナル海ヲ響灘(ヒビキナダ)ト云ヒ風浪ヤヤ荒シ、島嶼ハ彦島、六
連(ムツレ)島、見島等ノ小島數多アリ、

(六三一) 物産ヲ問フ、

蠟石、硯石、鐵、石炭、鯨、烏賊、鱒、鮑、蠟、

山陽道概要

(六三二) 疆域ヲトフ、

北ハ山陰道ト相表裏シ東畿内ト相接シ南ハ一帯瀬戸内海ニ蒞ミ四國及九州
ト相對シ北西ノ一隅日本海ニ瀕ス、

(六三三) 經緯度ヲトフ、

東經百三十一度五分ヨリ百三十五度十八分ニ至リ北緯三十三度四十八分ニ
起リ三十五度二十分ニ盡ク、

(六三四) 延長、幅員、面積人口ヲ問フ、

東西ノ延長、百〇七里、南北ノ幅員二十六里余、面積一千五百七十方里、
人口四百廿四万、

(六三五) 區劃ヲトフ、

地理上ノ區劃ハ八ヶ國邦政上ノハ四縣ナリ、

(六三六) 地勢ヲトフ、

北方ニハ一連ノ中國山脈ヲ負ヒ其ノ支脈ハ諸州ニ延テ數多ノ山嶺起伏シ、南西ノ二方ハ瀬戸内海ニ面スルガ故ニ北部ハ總テ高クシテ南部ニ至ルニ從ヒテ地勢漸ク低下シ海岸及ビ沿川ノ地ハ概シテ平坦ニシテ肥沃ナリ河流ハ江ノ川ヲ除クノ外ハ北方ノ連山ニ發水シテ瀬戸内海ニ注ク然レドモ一般ニ短小ナリ沿岸ノ屈曲甚多ク又長ク良港亦多キヲ以テ水運便ニ漁獵盛ナリ、

(六三七) 地質ヲトフ、

花崗石多クシテ一般ニ瘠地ナレドモ播磨、備前等ハ平野多ク、花崗石少クシテ善ク米穀、果蔬ヲ産ス、

(六三八) 氣候ハイカン、

概シテ温暖ナリ、殊ニ瀬戸内海ニ面スル地方ハ冬期雪ヲ見ルコト、秋冬ノ交、強風ノ患少シ、而シテ又雨量僅少ナリ、

(六三九) 瀬戸内海ニ雨量ノ少ナキ理由イカン、

日本海及ヒ太平洋ノ海風ヨリ來ル風ハ多量ノ水蒸氣ヲ含ムト雖、一ハ中國山脈ニヨリテ、一ハ四國山脈ニヨリテ之ヲ奪ハルルヲ以テコノ兩山脈ニ夾マレタル内海沿岸地方ハ雨少シ、

(六四〇) 内海ニ製塩ノ盛ナル理イカン、

内海沿岸地方ハ總テ温暖ナルノミナラズ又雨量少ナシ、故ニ海水ノ塩分ハ濃厚ニシテ塩田ノ乾クコト容易ナリ、コレ赤穂、三山尻、阪出ヲ初メコノ地方ニコノ業ノ盛ナル所以ナリ、

(六四一) 本道ノ礦物ヲトフ、

礦物ノ種類多ケレドモ長門ノ石炭、安藝備後ノ鐵、美作備中ノ銅、播磨、備前ノ蠟石ヲ主ナルモノトス、

(六四二) 瀬戸内海ノ區域ヲトフ、

内海ハ山陽、四國、九州ノ間ニ介在シ東ハ明石海峡ヲ以テ大阪灣ニ連リ鳴門海峡ヲ以テ紀伊海峡ニ亘ル、コレ其ノ東口ナリ、南口ハ速吸海峡ヲ以テ豊後海盆ニ通ズ而シテ西口ハ速瀬瀬戸ヲ以テ日本海ニ通ツ其ノ形、瓢ノ口ヲ東ニシテ横フルガ如シ、

(六四三) 瀬戸内ノ海洋ヲアゲヨ、

播磨ノ海ヲ播磨灘トイヒ備中備後ノ海上ヲ水島洋ト云ヒ、周防、豊前、豊後ノ海上ヲ周防洋ト云フ而シテ四國ノ側ニアリテ伊豫ノ海上ニ燧洋ト硫黄洋トアリ、海中數百ノ島嶼アリ是ノ如ク列ナリ、實ニ一大園池ニシテ世界ノ樂園タリ、

(六四四) 人情ヲトフ、

温順ナルヲ一般トス防長人ハ殊ニ伶俐ナリト云フ、京阪地方ニ接スルハ華麗ヲコノミ、山地ノモノ、順樸ナルハ勿論ナリ、

(六四五) 人民ノ生業ヲトフ、

農業ヲ營ムモノ最モ多ク、商業之ニ亞ギ漁網ノ利ヲ追フモノ製鹽業ニ從事スルモノ亦多シ、北部ニハ採礦ニ從事シ牧畜モ盛ニシテ中國牛トハ播磨、備前等ノ産ナリ、

(六四六) 交通ノ便ハイカン、

瀬戸内海ハ何レノ處トシテ船舶ノ碇泊シ得ベカラサルナク河流モ舟楫ノ便ナルモノ多シ、鐵道ニハ山陽鐵道アリテ神戸ニアリテ官線ニ連絡シ西、舞

子、明石、姫路、龍野、三石、岡山、倉敷、玉島、笠岡、福山、松永、尾道、糸崎、三原、廣島、宮島、岩國、柳井津、徳山、三田尻、小野田、厚狭ヲ經テ馬關ニ至ル、支線ニハ廣島、宇品線アリ其ノ他、播但鐵道ハ飾磨港ヨリ姫路ヲ經テ生野ニ至リ中國鐵道ハ岡山ヨリ作州津山ニ至ル、

南海道

紀伊誌

(六四七) 境域ヲトフ、

紀伊ハ全國一大圭角ヲナシテ南海ニ斗出シ北方亦大和ノ大圭角ヲ受ケ西北和泉ニ接シ東北一頭ヲ伊勢ニ容ル西半廣ク東半狭ク形、△字ニ似タリ、

(六四八) 地勢ヲイヘ、

△字ノ内面ハ紀伊山脈ニシテ大和ノ南部ニ連リ外面ハ一帯ニ海ヲ受ク中央ニ突角アリ潮ノ岬ト云フ波濤ノ險惡ナルハ黒潮ノ之ニ激スルニヨル、紀伊山脈ノ突角ハ紀淡海峽ヲ隔テ、淡路ト相對ス之ヲ加太ノ岬(カダノミサキ)ト云ヒ軍事上要害ノ地タリ、海濱灣港多ク俗之ヲ九十九浦ト云フ、

(六四九) 諸山岳ヲ記セ、

河内ノ境ニ紀伊見峠(キイミ)アリ和泉ノ境ニ大久保峠、森來(子ゴロ)山ア

リ、山ニ根來寺アリ紀川ノ南ニ大津峠、梨木峠、高野山(コウヤサン)アリ高野山ニ弘法大師開基ノ金剛峯寺(コンゴウブツ)アリ山中ニハ杉、高野槇ノ大木多シ、又海ニ沿フテ藤白峠方寸峠(ハウツ)鹿脊(シシガセ)山愛徳(アイトク)山、汐見峠、大阪峠、妻夫坂、岩上峠アリ熊野地方ニ至リテハ山中ヨリ材木及ビ鍛冶炭ヲ出ス那智山ニ那智瀧アリ、高サ八十四丈、本邦第一ノ大瀧ナリ、

(六五〇) 河流ヲ記セ、

紀ノ川ハ大和、吉野川ノ下流ニシテ西流シテ海ニ入ル、有田川ハ紀ノ川ニ並行シテ海ニ入ル其ノ兩岸ハ紀州密柑ノ産地ナリ、コノ川ノ南ニ日高川、富田川、安宅川アリ熊野川ハ大和十津川ノ下流ニシテ音無瀧川、北山川ヲ合シ熊野浦ニ注グ長サ三十五里、南北ノ往來線ナリ河田和川、市木川、志原川、井土(井ツチ)川ハ皆東流シテ海ニ入ル、

(六五一) 郡名ヲアゲヨ、

海草(カイソウ)那賀、伊都(イト)有田、日高、西牟婁(ムロ)東牟婁、北牟婁、南牟婁、

(六五二) 都邑ヲ記セ、

和歌山市ハ紀ノ川ノ河口ニアリ和歌山縣廳ノ所在ニシテ四方ノ交通自在、紀州ねるハ此ノ地ヨリ出ヅ、南方ノ海濱ニ和歌浦ノ名勝アリ粉川(コガハ)ハ紛川寺ト酢トニヨリテ名高シ、黒江ハ黒江梳ノ産地ナリ、有田川ノ南ニ湯淺アリ、熊野川ノ右岸ニ本宮、那智、新宮アリ、大島ノ大島港ハ良港ノ名アリ、又雜賀(サイガ)ハ海草郡ニアリ、

(六五三) 熊野地方及ビ熊野三社熊野浦トハ如何、

田邊ノ邊ヨリ東方一帯ヲ熊野地方ト稱ス熊野地方ノ本宮、那智、及ビ新宮ニ各著名ノ大社アリ之ヲ熊野三社ト稱ス、熊野浦ハ一ニ紀州洋ト稱シ紀伊ノ南東海ナリ風濤荒ク航海危険ナリ、

(六五四) 物産ヲトフ、

密柑、木材、熊野備長(ピンチャウ)(炭ノ名)鯨(熊野浦ニテ)紋羽織、ねる漆器、氷豆腐、酢、

(六五五) 紀州ノ漆器ノ多額ハ産スル理イカン、

本縣ノ漆器ノ全國第一ノ多額ヲ産スルハ木材ト吉野漆ノ供給容易ナルトニヨル、

淡路誌

(六五六) 位地ヲ記セ、

當國ハ靴形ヲナセル島國ニシテ前、播磨、攝津ヲ指シ、底ハ河内和泉ニ遙對シ、踵後、紀伊ニ迫リ口ハ阿波讃岐ニ向フ、

(六五七) 海峽ヲ記セ、

北端ノ岩屋ハ明石海峽ニヨリテ播磨ニ對シ、東ハ由良海峽ニヨリテ紀伊ト相對ス而シテ西方ノハ即鳴門海峽ナリ鳴門ハ潮流ノ荒キヲ以テ名高シ、

(六五八) 山脈ヲ記セ、

山脈ニ南北ヲ縦貫スル者ト東西ニ横貫スル者トアリ、先山鶴羽山アリ、

(六五九) 郡名及ビ都邑ヲ記セ、

郡ニ津名、三原ノ二郡アリ由良ニ砲臺アリ福良(フクラ)ハ淡路燒ノ產地ナリ洲本ハ當國一ノ名邑ナリ、

(六六〇) 物産ヲトツ、

石材、陶器、夏蜜柑、

阿波誌

(六六一) 境域ヲイヘ、

北讃岐ニ界シ西、伊豫、土佐ニ斜接シ南ハ海波ヲ繞ラス、四國ヲ以テ蝙蝠ノ羽ヲ張リタル形ナリトセハ阿波ハ其ノ東翼ノ中部ナリ、

(六六二) 地勢ヲトフ、

四國山脈ノ二分脈ニヨリテ擁セラレ其ノ北ナルモノハ讃岐境ヲナシ、其ノ南ナルモノハ土佐ノ境ヲナシ東面ハ海ニノゾム、

(六六三) 山岳ヲ記セ、

北境ニ大川山、雲邊寺山アリ西境ニ五傍示山(ゴボウシ)アリ南部ニ祖谷山、劍山アリ中部ニ焼山寺山アリ東部ニ大瀧寺山、中津峯アリ、

(六六四) 河流ヲ記セ、

吉野川ハ四國三郎ト稱シ水源ハ伊豫土佐ノ兩國ニ跨リ別子銅山ヲ夾ム阿波ニ入りテ合シテ一トナリ大森、地藏寺、川口ノ諸水ヲ集メ東流スルヲ四十余里、沿岸ハ藍ノ產地ナリ、南ニ那賀川、海部川アリ、

(六六五) 郡名ヲ記セ、

名東(ミヤウトウ)勝浦(カツウラ)那賀、海部(カイブ)名西(ミヤウサイ)板

野、阿波、麻植(ヲエ)美馬(ミマ)三好(ミヨシ)

(六六六) 都邑ヲ記セ、

徳島市ハ四國第一ノ大都會ニシテ吉野川ノ海口ニアリ徳島縣廳ノ所在ニシテ阿波縮ノ名産アリ撫養(ムヤ)ハ淡路ニ渡ル要津齋田(サイタ)ハ製塩ニ名アリ、コノ他ニ小松島、富岡、橋浦等アリ、

(六六七) 物産ヲ問フ、

藍、烟草、甘蔗、塩、鳴門鯛、阿波縮、

讚岐誌

(六六八) 境域ヲトフ、

南阿波ニ正界シ西南、伊豫ニ抵リ其ノ他三面、大彎ヲ張テ海ニノゾム而シテ海濱岬角甚タ多シ地形敗荷ノ半ノ如シ、

(六六九) 地勢ヲ問フ、

前面ハ瀬戸内海ニ臨ミ、海岸ノ出入甚シ岬灣多シ而シテ海上ニハ大小ノ島嶼星列ス俗之ヲ八百八島ト云ヒ其大ナルモノヲ小豆島(セウド)豊島、其他(シアク)七島トス、サテ國ノ後面ハ四國中脈ナリ、

(六七〇) 諸山岳ヲ記セ、

飯野山ハ讚岐富士ノ名アリ象頭(ゾウツツ)山ニ琴平神社アリ五劍山ハ又八粟山ト云ヒ山頂劍ヲ植ウルガ如シ象頭山、五劍山阿蘇火山脈ニ屬ス、

(六七一) 郡名ヲ問フ、

大川、木田、香川、小豆(セウド)綾歌(アヤウタ)仲多度(ナカタダ)三豊(ミトヨ)

(六七二) 都邑ヲ記セ、

高松市ハ海岸ノ中央ニ位シ香川縣廳アリ栗林公園ハ日本三公園ノ一ナリ丸龜ハ其ノ西ニアリ、第十一師團ノ位地ナリ多度津ハ四國ノ良港ナリ阪出ハ塩ヲ産シ引田ハ製糖地屋島ハ源平ノ古戰場、琴平ハ琴平社ノアル所ニシテ志度、觀音寺モ名邑ナリ、

(六七三) 物産ヲ問フ、

甘蔗、塩、海魚、保多綿、

伊豫誌

(六七四) 境域ヲトフ、

東南一帶、土佐ノ灣ヲ受ケ東北僅ニ阿波讃岐ニ接ス北ヨリ西ニ至リテ総テ海ヲ繞ラス而シテ脚角交々出ツ、

(六七五) 地勢ヲ問フ、

後ニ四國山脈ヲ負ヒ高繩半島ノ内海ニ突出シ尖端、大隅鼻ハ讃岐ノ箱崎ト陸灘ヲナシ、九州ヲ指サスガ如キ細長キ半島ノ端ハ佐田岬ト云ヒテ佐賀關海峽ヲナス、

(六七六) 山岳ヲ記セ、

石槌(イシツチ)山ハ土佐境ニ峙チ四國第一ノ高山ニシテ富士ニ半バズ別子(ベツシ)銅山ハ山脈ノ阿波ニ岐レントスル邊ニアリ市ノ川鑛山ニアンチモニ一ヲ産ス伊豫白蠟(シロメ)コレナリ、其ノ他、瓶ヶ森山、鬼ガ城山、等其ノ數多シ、

(六七七) 河流ヲ記セ、

北流スルモノニ加茂川アリ、西流スルモノニ重信川、肱川アリ

(六七八) 郡名ヲアゲヨ、

(宇摩(ウマ)新居(ニヰ)周桑(スリハ)越智(ヲチ)温泉(ウンセン)伊豫、上浮

(穴(カミウケナ)喜多(キタ)東宇和、西宇和、南宇和、北宇和、

(六七九) 都邑ヲ記セ、

松山市ハ愛媛(エヒメ)縣廳ノ所在ニシテ松山縞ノ產地タリコノ地ヨリ土佐境ニヨリタル地ヨリ伊豫籐ヲ産ス西方一里半ニ三津ガ濱ヲ控ヘ東方十數町ニ道後(ダウゴ)温泉アリ、此ノ他、今治(イマバリ)ハ高繩半島ニアリ南隅ニ宇和島アリ織物ト紙トヲ産ス其ノ他、西條、長濱、大洲、八幡濱等モ名邑ナリ、

(六八〇) 屬島ヲ記セ、

大島、大三島、伯方(ハカタ)島、弓削(ユケ)島、興居(コイ)島ハ主ナルモノナリ、

(六八一) 物産ヲアゲヨ、

銅、蒼鉛、(モリブデン)アンチモニ、甘藷、甘蔗、鹽、海魚、紙、

土佐誌

(六八二) 境域ヲトフ、

土佐國ハ形、鎌ノ頭ノ如ク背ヲ西北、伊豫ニ接シ背後ヲ東北阿波ニ接ス而

シテ及ト莖ト共ニ南海ニ向フ、

(六八三) 地勢ヲ問フ、

四國山脈以南ノ海岸一帯ヲ占メ諸方ノ道路險惡ニシテ良港ナク土地概テ瘠セタリ、前ナル海ヲ土佐沖ト云ヒ風浪荒ク颶風時ニ來リ交通ノ便アシ、

(六八四) 山岳ヲ記セ、

東南隅ニ野根山アリ、其ノ北ニ鐘龍森山天狗森山アリ、中部ニ檜山、國見川雪光山アリ伊豫境ノ白髮(シラガ)山矢筈山ニ横倉山ニ連ル、

(六八五) 河流ヲ記セ、

奈波利(ナハリ)井尾喜、安藝、物部ハ西南ヲサシテ海ニ赴ク鏡川ハ北ヨリシ高知ヲ回リテ内海ニ入ル、吉野川ハ東流シテ阿波ニ入ル仁淀(ニヨド)川ハ伊豫ヨリ發源シ横倉山ノ下ヲ過ギ國中ヲ横截シテ海ニ入ル之ヲ國中第一ノ大河トス昔之ヲ贊淀川又神河トイヘリ長サ二十六里、渡川又ノ名四万十(ワタリ)川ハ高岡郡ノ西隅山間ニ發シ西南ニ繞リ伊豫吉野川ノ下流ヲ入レ海ニ入ル、

(六八六) 郡名ヲアゲヨ、

土佐、幡多(ハタ)高岡、吾川(アガハ)長岡、香美(カガミ)安藝、

(六八七) 都邑ヲ記セ、

高知市ハ國ノ中央ニアリ山ヲ負ヒ浦戸灣ヲ控ヘ氣候溫和ナリ、高知縣廳アリ、須崎ハ高知ニ次ケル商業繁昌ノ地ニシテコノ周圍ヨリ土佐半紙ヲ出ス川口、奈半利、浦戸、中等皆名邑ナリ、西南海濱ハ土佐節、土佐珊瑚、土佐駒ノ產地ナリ、

(六八八) 岬角ヲ記セ、

室戸崎、東南隅ヨリ伸出ス一ニ之ヲ東寺ノ鼻ト云フ西南ノ蹉陀岬(足摺岬)ト相對シ一大灣、土佐沖ヲ擁ス、コハ往昔地震ノタメニ陥落セシ處ナリ、其ノ他二淀川ノ南ニ龍ヶ崎アリ又南ニ與津崎アリ、

(六八九) 物産ヲ記セ、

木材、甘蔗、鯉節、眞珠、珊瑚、紙、樟腦、

南海道概要

(六九〇) 境域ヲトフ、

本道ハ全國ノ南西ニアリ紀伊ト淡路四國ノ二島及其ノ他ノ群島トヨリ成リ

獨リ紀伊ハ東ハ畿内及東海道ニ接シテ一區ヲナシ淡路ハ内海中ノ一島、四國ハ東ハ紀伊、北ハ山陽、西ハ九州ト皆海ヲ隔テ、相對ス而シテ南ハ太平洋ニ面ス、

(六九一) 經緯度ヲ問フ、

東經百三十二度十三分ヨリ百三十六度三十八分ニ至リ北緯三十二度四十二分五十一秒ニ起リ三十四度二十四分ニ至ル、

(六九二) 延長幅員面積人口ヲ問フ、

紀伊及淡路ヲ除キ、東西ノ延長約六十八里、南北ノ幅員約五十里、面積一千五百九十七方里人口三百七十八萬、

(六九三) 區劃ヲ問フ、

地形ニヨリテ六國ニ分チ行政上ヨリ六縣ニ分管セラレ、

(六九四) 地勢ヲ問フ、

四國山脈ハ全道ヲ一貫ス即伊豫土佐ノ境ヲナシツ、脈ハ分レテ二トナリ北方ナルハ讃岐山脈トナリ鳴門ニ没シ淡路ニ現レ由良ニ没シ又現ハレテ紀泉山脈トナル其ノ南ナルモノハ阿土山脈トナリ海ヲ渡リテ紀伊山脈トナリ伊

勢志摩ヲ過キ海ヲ渡リテ三河遠江ニ現レ赤石山脈トナル、而シテ阿蘇火山脈ハ内海ノ沿岸ニ現ハレテ興居(コゴ)島温泉山飯野山トナルコト中國山脈ノ白山火山脈ニ於ケルカ如シ、概シテ云ヘハ山岳ノ高度互ニ甚シキ差異ナク高原ノ状態ヲナシ、河流ハ四方ニ出テ長流ナシ多少ノ平地ハ河流ノ沿岸ニアリ海岸ハ屈曲ニ富メドモ良港少シ、

(六九五) 氣候ヲ問フ、

山陽道ニ比スレバ更ニ温暖ニシテ暖國性ノ植物多シ、四國山脈ハ太平洋ノ風ヲ受ケテ雨ヲ結ハシムルガ故ニ土佐ハ本邦中最モ雨多ク國ノ一ニシテ内海岸ハ雨量少シ、

(六九六) 人情ハイカン、

一般ニ寛柔ナリト稱セラル、土佐ハ武健ノ風アリ伊豫ハ温厚ナレドモ頑陋ノ嫌アリ、勿論交通ノ繁キ地方ハ伶俐ナリ、

(六九七) 交通ノ便イカン、

南海鐵道ハ和泉ヨリ紀伊和歌山ニ達シ紀和鐵道ハ大和五條ヨリ來リ橋本、粉川、打田、船戸ヲ經テ和歌山ニ達ス徳島鐵道ハ徳島ヨリ吉野川ノ流域ニ

沿ヒ府中、鴨島、川崎ヲ經テ船戶ニ達ス、讚岐鐵道ハ高松ヨリ端岡、國分
阪出、丸龜、多度津、善通寺ヲ經テ琴平ニ達ス、伊豫鐵道ハ伊豫高濱ヨリ
三津ヶ濱、松山、立花ヲ經テ横河原ニ至リ支線ニ松山、道後線、松山、郡
中線、立花、森松線アリ、海運ハ紀伊ノ西海岸ト内海岸トニ多クシテ其ノ
他ハ少シ、

(六九八) 本州東南海岸ノ有様ヲ記セ、

本州ノ北端ニ兩岬アリテ陸奥内海ヲナシ仙台ニ同名ノ灣アリ安房ノ尖端ヨ
リ土佐ノ蹉陀岬ニ至ル間ハ屈曲頗多ク、房総半島、東京灣、三浦半島、相
摸灘、伊豆半島、駿河灣アリ御前崎ト大王崎トハ遠州洋ヲ挟ミ、内ニ渥美
半島、三河灣、知多半島、伊勢海アリ又熊野沖ヲ經テ潮岬ニ至リ之ヨリ北
折スレバ瀬戸内海アリテ無數ノ岬灣ヲ有セリ、

(六九九) 四國ノ海岸ヲトフ、

室戸岬ト蹉陀岬トハ土佐灣ヲ擁シ東ニハ紀伊海峽アリ北ニ箱岬ト大隅鼻ト
ハ濠洋ヲナシ其ノ西ニ硫黄洋アリ佐田岬ヲ南ニ出ツレハ宇和島灣アリ、

西海道

豊前誌

(七〇〇) 境域ヲ問フ、

西、鈍角ヲ筑前ニ接ヘ南東一帶弓ヲ豊後ニ向ケ其ノ内地勢一張一馳ス東北
一帶海ニ瀕シ極北ニ至リテ岬角ヲ抽ンツ、形半開ノ花ヲ側ツガ如シ花片相
掬シテ東北ニ向フ、

(七〇一) 地勢ヲ問フ、

西方及ヒ南方ハ九州山脈及ヒ其ノ支脈ヲ以テ圍マレ諸水ハ此ノ山脈ヨリ發
源シテ中津灣ニ入ル海岸ニ低地アリ、

(七〇二) 山岳ヲ記セ、

筑前ニ界スル處、茶臼山、大王山、池ガ田尾、英彦(エヒコ)山アリ、英彦
山ニ彦山權現アリ、南部ニ八面山、鹿鳳山アリ、

(七〇三) 河流ヲ記セ、

山國川又中津川ト云ヒ彦山ヨリ發水シ中津灣ニ注ク上流ノ山國谷又ノ名ヲ
耶馬溪ト云ヒ奇景ヲ以テ名アリ、東ニ厩館川アリ、

(七〇四) 郡名ヲアゲヨ、

企救(キク)田川、京都(ミヤコ)筑上(ツイカミ)下毛(シモケ)宇佐、

(七〇五) 都邑ヲ記セ、

門司ハ新開港ノ一ニシテ馬關ト相對ス小倉ハ第十二師團ノ位地ニシテ小倉織ノ本場ナリ、中津ハ名邑ニシテ宇佐ニ八幡宮アリ、

(七〇六) 物産ヲアゲヨ、

石炭、鯛、鯨、和布、小倉織、

豊後誌

(七〇七) 境域ヲ問フ、

北、豊前ノ弓形ヲ受ケ西方、北半ハ筑前筑後ヲ衝キ南半ハ肥後ノ一隅ヲ受ケ南ハ日向ニ界シ東方海陸出入名狀スベカラズ地形、國東(クニザキ)半島ヲ頭トシテ雀ノ子ガ羽ヲ廣ゲタルガ如シ、

(七〇八) 地勢ヲ問フ、

小雀ノ頭部ヨリ背部ヲ通シテ山岳起、伏シ水理ヲ東西ニ二分スコノ山脈ハ筑紫山脈ニシテ南ナルハ九州南部山脈ナリ、

(七〇九) 山岳ヲ記セ、

國東半島ニ文珠山両子山アリ其ノ南ニ由布岳鶴見山アリ西方ニ三國山、

萬年山アリ中部ニ平家山、扇カ鼻山御岳黒岳、大舟山アリ南境ニ祖母(ウ

バ)ガ岳、桑原山、朝日山アリ、

(七一〇) 河流ヲ記セ、

筑後川ハコノ國ノ西部ニ發源シテ西流ス大分灣ニ注グモノニ大分川大野川アリ大野川ハ大分川ト共ニ豊後ノ大半ヲ灌漑シ其河谷甚廣ク肥後ニ通スル路ヲ開ク、

(七一一) 岬灣ヲ問フ、

東北ニ向ヒテ國東半島(又豊後半島)突出シ其ノ東ヲ大分灣ト稱シ灣ノ南ノ盡頭ヲ地藏崎(佐賀ノ關)ト云ヒ四國ノ佐田岬ト相對シテ佐賀ノ關海峡ヲナス之ト相並ヒテ蒲戸崎、鶴望(ツルミ)崎アリ其他小岬多シ、

(七一二) 郡名ヲアゲヨ、

西國東(クニザキ)東國東、速見(ハヤミ)大分(オホイタ)北海部(アマベ)南海部、大野、直入(ナホリ)玖珠(クス)日田(ヒタ)

(七一三) 日田ノ庄トハイカン、

雀ノ左翼ナル日田郡ノ地方ノ汎稱アリ、

(七一四) 都邑ヲ記セ、

大分町ハ大分川ノ海口ニ位シ大分灣ニ蒞ム舊稱府内、大分縣廳アリ、鍋釜ノ鑄物ヲ産ス別府ハ温泉ニ名高シ、杵築、出石、鶴崎、臼杵、佐伯、豆山ハ名邑ナリ、

(七一五) 物産ヲ問フ、

雜穀(特ニ國東其ノ他ノ大豆ヲ良質トス)綠礬、金、銀、錫、樟腦、疊表、

日向誌

(七一六) 境域ヲ記セ、

北、豊後ニ界シ西肥後大隅ニ接シテ南肩ヲ聳シ其ノ頭稍々薩摩ニ觸ル南、海ヲヒカヘ筈形ヲナシ東方一帶大洋ニ面ス、

(七一七) 地勢ヲ記セ、

北境ニハ可愛岳(エノダケ)ノ脈連亘シ西境一帶ハ南部山脈ニシテ河流ハ皆之ニ發源シ東流シテ日向洋ニ向フ海岸ニ多少ノ低地アリ南一角、大隅ト志布志灣ヲナス、

(七二八) 諸山岳ヲ記セ、

北ニ行膝(ムカバキ)山、可愛岳アリ、可愛岳ハ西郷隆盛ノ圍ヲ脱セシ所ナリ、西ニ國見山、江代山(ゴウシロ)市房山、石堂山白髮山アリ市房山ハ九州第一ノ高山ナリ、霧島山ハ東西二座ノ活火山ニシテ東岳ハ天孫ノ降臨シ給ヒシ高千穂日向ノ峯ナリト云ヒ絶頂ニ天ノ逆鋒(アメノサカホコ)アリ、西岳ハ又韓國岳ト云フ中部ニ法華山アリ又南方ニ小松山、山鈴アリ、

(七一九) 河流ヲ記セ、

五箇瀬(モカセ)川ハ肥後ノ東境ニ發源シ諸山ノ間ヲ貫流シテ海ニ入ル北ニ祝子(ホウリ)川、北川アリ、南ニ美々津川、高鍋川、一ノ瀬川アリ大淀川ハ國ノ南方、西北ヨリ來ル猿瀬川ト南ヨリ來ル繩瀬川トノ下流ニシテ其ノ流路ハ東西ノ通路ヲ開ク、其ノ南ニ弘木田川アリ、

(七二〇) 郡名ヲ記セ、

宮崎、南那珂、北諸縣、モロガタ、西諸縣、東諸縣、兒湯、コユ、東臼杵、西臼杵、

(七二一) 都邑ヲ記セ、

○日本地理問答